

Annual report of the Yamanashi Prefectural Museum

令和3年度 山梨県立博物館年報

令和3年度  
**山梨県立博物館年報**  
Annual report of the Yamanashi Prefectural Museum



## はじめに

令和3年度は昨年度に続き、社会を震撼させ続ける感染症との関わり方を模索しながら、いかに博物館としての使命を全うするか問い続けた年となりました。

企画展は武田信玄の53年にわたる生涯をまとめた、開館15周年記念特別展「生誕500年 武田信玄の生涯」から幕を開けました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度延期となっていた初夏のシンボル展「生誕200年 若尾逸平」、及び夏期企画展「特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～」についても、感染症拡大防止対策を十分におこなったうえで、今年度開催することが叶いました。これで皆様からのご期待に沿うことができると安堵したものの、「特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～」については、新型コロナウイルス感染症が夏期に大きな猛威を奮ったことから、会期中での公開中止という苦渋の決断をせざるを得ませんでした。しかしながら、秋期企画展「日蓮上人と法華文化」は新潟県立歴史博物館と連携したうえで、日蓮生誕800年、佐渡入国750年という記念すべき年を祝う展覧会となったほか、冬期に開催となったシンボル展「曾我物語図屏風」については、関連イベントが軒並み中止とはなったものの、最後まで完走することができました。

調査研究活動では、日本学術振興会科学研究費による課題に引き続き取り組みとともに、県費による総合・共同研究を継続して推進いたしました。また、この未曾有の事態について未来に記録を残すべく、新型コロナウイルス感染症関連の資料についても、精力的な収集活動をおこなっております。

不安定な社会情勢が収まる気配を見せないなかではありますが、少しずつでも前に進み続けなくてはなりません。こうした情勢下であるからこそ、地域の博物館としていかにあるべきか、館員一同工夫を凝らし、一層努めてまいります。今後とも、皆様の変らぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

山梨県立博物館

館長 守屋 正彦

# 目次

## はじめに

### 第Ⅰ編 山梨県立博物館の目指すところ

#### 第1章 県立博物館の評価制度 ……1

- (1) 県立博物館の使命 ……1
- (2) 県立博物館の評価制度 ……1

#### 第2章 通信簿ツアーの実施 ……6

- (1) 通信簿ツアーの内容 ……6
- (2) 通信簿ツアーの結果 ……8

### 第Ⅱ編 事業・諸活動

#### 第1章 運営・ミュージアムサービス ……22

- (1) 運営・ミュージアムサービスの方針 ……22
- (2) 令和3年度利用者状況一覧 ……22

#### 第2章 調査・研究 ……26

- (1) 外部資金による調査・研究 ……26
- (2) 県費による調査・研究 ……28
- (3) 個別調査・研究 ……30
- (4) 調査・研究成果の公表 ……32

#### 第3章 資料の収集・保管・活用 ……35

- (1) 資料収集の方針 ……35
- (2) 資料の収集 ……36
- (3) 資料の整理・目録（データ）化 ……38
- (4) 資料の修復・管理 ……38
- (5) 資料の活用 ……39

#### 第4章 展示 ……40

- (1) 常設展示 ……40
- (2) 企画展・シンボル展 ……48
- (3) 展覧会関係刊行物 ……69

#### 第5章 企画交流事業 ……70

- (1) 生涯学習サービス事業 ……70
- (2) 博学連携 ……73
- (3) 博物館同士のネットワーク ……79
- (4) 広報 ……79

#### 第6章 施設の整備・管理 ……80

- (1) 安全快適な施設づくり ……80
- (2) 施設開放 ……80

#### 第7章 情報の発信と公開 ……81

- (1) 資料閲覧室の利用状況 ……81
- (2) 博物館総合情報システム ……82
- (3) 博物館ホームページ ……82

#### 第8章 県民参画 ……84

- (1) NPOとの連携 ……84
- (2) 博物館協力会（ボランティア）との連携 ……85

#### 第9章 組織・人員 ……87

- (1) 職員の資質向上 ……87
- (2) 附属機関 ……87

#### 第10章 外部支援と連携 ……89

- (1) 外部支援 ……89
- (2) 外部との連携 ……89
- (3) 山梨近代人物館・世界遺産センターの  
展示等への協力 ……89

#### 第11章 新型コロナウイルス感染症と博物館活動 ……91

- (1) 感染症対策日誌 ……92
- (2) 施設の整備と来館者対応 ……92
- (3) 情報発信と収蔵資料の活用・資料収集 ……93
- (4) 展示・公開 ……93
- (5) 博学連携 ……94
- (6) 県民参画（NPO・協力会） ……95
- (7) イベント ……96
- (8) その他 ……96

### 第Ⅲ編 各種資料

#### 1 組織・職員等名簿 ……97

#### 2 令和3年度予算額 ……99

#### 3 年間日誌 ……99

## 凡例

- ・各事業の経緯・方針・関連法規等については『平成17年度 山梨県立博物館年報』を参照されたい。
- ・各種委員等の名簿における勤務先・役職等については、全て令和3年度におけるものである。
- ・原則として、各種名簿の順序は順不同である。
- ・敬称は略している。
- ・「県立博物館」と表記されているものは、全て山梨県立博物館のことを指す。

（表紙）常設展示「城下町の賑わい」ジオラマの人形

# 第 I 編 山梨県立博物館の目指すところ

## 第 1 章 県立博物館の評価制度

### (1) 県立博物館の使命

#### 使命 1

■山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わり歴史」を学ぶ場を目指します。

山梨県の歴史の特色は豊かで多様な自然に育まれた人々の個性あふれる暮らしの歴史である、とまとめられます。だからこそ「山梨の自然と人との関わり歴史」を学ぶことは、現在よりもより未来へ開く扉の鍵を探ることにつながるのです。

山梨県立博物館ではその一例として、本県の特色ある生業や富士山への向き合い方、武田氏の動向等々について総合的に資料の収集・調査・研究を行います。そして、その最新の成果を「山梨県の精神の拠り所」として絶えず利用者の皆様に問いかけ、共に考え続けます。

#### 使命 2

■山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。

山梨県は、周囲の高い山々によって閉じられた地域という印象を持たれています。ですが、四方を高い山々に囲まれた地域だからこそ、山梨の先人達は昔から活発な「交流」を求めてきました。

こうした歴史にふさわしく、山梨県立博物館は、県内各地の様々な文化施設、史跡・自然をはじめ、県内外の多くの皆様と活発に交流を行います。「交流」のセンターとして、当館を起点に県内各地へと多くの人々の誘導を図り、本県の活性化に絶えず努めます。

#### 使命 3

■山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。

山梨県立博物館は、最新の調査・研究成果を展示やイベント内容等に反映させ、絶えず新しい情報の発信に努めます。

また、社会情勢の変化や、利用者の知的関心、学習意欲の高まりに対応して、歴史・文化の視点に立った新たな価値観や未来像を、展示等をとおして考えてもらう場となることを目指します。

特に、山梨県の県立博物館として、農林業・伝統産業・観光や水資源・過疎化等、現在の山梨が抱える様々な課題を乗り越えていくために、県民の皆様とともに未来の山梨のあり方を考え、連携を進めます。

これらをとおして、山梨県立博物館は、その事業・活動等が広く県民の皆様とともに成長して、全国の目標となるような博物館を目指します。

### (2) 県立博物館の評価制度の策定等

県立博物館の活動が独善に陥ることなく、社会に開かれた活動を行っていくためには、県立博物館の活動を適切に評価し、その結果を運営改善に結びつけていく体制づくりが必要である。

そこで、県立博物館が開館した平成17年度から平成19年度にかけて、県民の代表から構成される第三者委員会「みんなでつくる博物館協議会」（以下「みんつく」、第II編第9章参照）において評価制度の検討を行い、運営委員会にも諮った上で、平成19年に開館5周年目までの評価制度（以下「第1期評価制度」という）を策定、さらに平成24年に開館6周年目から10周年目までの評価制度（以下「第2期評価制度」という）を策定した。

第2期評価制度では、県立博物館の事業・活動等が現状で停滞することなく、将来に向け、利用者ニーズや調査・研究の進展に応じて成長していくことをめざし、第1期評価制度で掲げた使命1・使命2という県立博物館の使命に使命3を新たに加えた。

第 3 期評価制度（開館11周年度めから15周年度目まで）では、平成30年度から令和元年度にかけて、開館15周年目までの評価制度（以下「第 3 期評価制度」という）について「みんなつぐ」で検討を行った。第 2 期評価制度を踏襲しつつ、課題とされた「展示と調査研究」「情報発信」「博学連携」という 3 つの重点項目を設けた。

第 4 期評価制度（開館16周年度目から開館20周年度目まで）は、令和 2 年度から検討を実施し、はじめに利用者評価の一部変更について検討した。これにより、評価体系自体は第 3 期の評価体系を引き継ぐものの、利用者評価については直接意見聴取会の実施と「通信簿ツアー」の質問項目精査と回数を削減することで承認を得た。これを受け、令和 3 年度より「通信簿ツアー」の質問数はおおよそ半分に削減した。削除した質問は、これまでの実施により回答傾向が定まっている項目と、利用者の意見を反映しづらい設備などに関わる項目を中心とした。実施日程についても、年 2 回から年 1 回に削減した。11月の県民の日を中心とした複数日に渡り、来館者400人を目安として実施した。さらに、利用者職員が直接意見交換を行うことで博物館の課題の解決策を探る「意見交換会」も同年12月に実施した。参加者は一般公募により、当日は職員を含め15名で実施した。

また、令和 3 年度には、第 3 期評価制度に基づき平成28年度から令和 2 年度までの運営実績の検証を行い、その結果を掲載した『山梨県立博物館総合評価報告書—開館15周年度目までにおける評価結果—』を刊行した。

■ 令和 3 年度から令和 7 年度までの評価項目

※評価方法 A は数値評価、評価方法 B は自己診断、評価方法 C は通信簿ツアーをそれぞれ指す。  
 ※評価 A、B、C をふまえて、平成28年度に運営委員会において総合評価を実施し、総合評価報告書を刊行した。

使命 1	使命 2	使命 3
使命 1 に対応した活動目標	使命 2 に対応した活動目標	使命 3 に対応した活動目標
活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目

山梨県立博物館の使命	使命 1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」を目指します。	使命 2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命 3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。
(1) 運営（ミュージアムマネジメント）及びミュージアムサービスについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県立博物館が整備されて良かったと思われ、思われる博物館づくりを目指して、当館が提供するあらゆるサービスの利用者数の増加に努めます。具体的には開館 6 周年目から開館10周年目までに1,050,000人の総利用者数を目標とします。</li> <li>山梨県立博物館がどのような使命を持って整備されたのかを分かりやすく明示し、職員・利用者ともに共通の理解を得られるように努めます。</li> <li>博物館の使命がどの程度達成できたのかを館内外に明らかにするために、利用者の視点に立った活動目標を設定し、その実現に向けて最善の努力をします。</li> <li>博物館が提供するあらゆるサービスについて多くの利用者に御満足いただけるよう、絶えず改善し続ける博物館づくりに館に携わる全ての人々が一丸となって努めます。そのために、常に博物館全体の活動について自己点検を行い、また利用者の側からの評価の声を受け入れ、その結果を公開します。</li> <li>NPOとの協働などをとおして、広く県民が参画できる事業活動を推進し、県立博物館及び山梨県への親しみや関心が深められるように努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総利用者数（評価方法 A）</li> <li>館員及び利用者を対象として、博物館使命がどの程度認知されているかの調査（評価方法 C）</li> <li>利用者の視点に立った目標を設定しているか？（評価方法 B）</li> <li>目標の達成状況については、自己及び他者評価を行い、その結果を公開しているか？（評価方法 B・C）</li> <li>県民参画事業の参加者数（評価方法 A）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学術研究機関としての博物館の魅力を高めるために、外部資金の導入などによって積極的に調査・研究を行い、その成果を論文や研究発表などをとおして、広く社会に還元します。また、その実現に向けて県内外の人々との共同調査・研究を積極的に推進します。</li> <li>博物館職員による論文執筆や講演・報告などの研究実績が定期的に蓄積されているか？（評価方法 A）</li> <li>科学研究費ほか外部資金の導入などをとおして、共同調査・研究が行われているか？（評価方法 B）</li> <li>県民参画による調査・研究が行われているか？（評価方法 B）</li> </ul>
(2) 調査・研究について	<ul style="list-style-type: none"> <li>「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」をテーマとした調査・研究を精力的に実施し続けます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査・研究の最新成果を展示や諸講座等の機会をとおして積極的に公開し、利用者の知的好奇心を満足できるように努めます。</li> <li>研究紀要や調査報告書類の作成・発行を行っているか？（評価方法 B）</li> <li>館主催諸講座の開催数（評価方法 A）</li> <li>館職員の館外担当講座数(出前授業も含む)(評価方法 A)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館職員による論文執筆や講演・報告などの研究実績が定期的に蓄積されているか？（評価方法 A）</li> <li>科学研究費ほか外部資金の導入などをとおして、共同調査・研究が行われているか？（評価方法 B）</li> <li>県民参画による調査・研究が行われているか？（評価方法 B）</li> </ul>
(3) 資料の収集、保存及び活用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料保存機関としての博物館という魅力を高めるために、「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」を明らかにする上で必要な資料の収集・保存に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収集及び保管・調査資料の利用体制の充実をはかります。これら資料の目録化（データベース化）を進め、館内外の人々にとって共に積極的な活用が可能となるように努めます。</li> <li>全収集点数の内、目録化（データベース化）がなされた資料点数の割合（評価方法 A）</li> <li>資料の総利用件数（一次資料やマイクロフィルムなど二次資料も含んだ閲覧件数、館外資料貸出件数など）（評価方法 A）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収集した資料の活用を図り、展示やホームページなどをとおして、新たな資料情報を積極的に公開します。</li> <li>新たに展示やホームページに公開した資料点数（評価方法 A）</li> </ul>



山梨県立博物館の使命	使命 1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりを歴史を学ぶこと」を目指します。	使命 2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命 3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。
(4) 展示について	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示をとおして魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりを歴史」像を積極的に多くの人々に向けて発信し続けます。具体的目標としては、開館6周年目から開館10周年目までに502,000人の利用者数を目指します。</li> <li>常設展示の利用者数（評価方法A）</li> <li>企画展示利用者数（評価方法A）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育の現場との連携を深め、子ども達が楽しみながら山梨の歴史や文化を学ぶことのできる展示を作り続けます。具体的には開館6周年目から開館10周年目までに41,000人の学校利用者数を目指します。</li> <li>博物館への学校利用件数及び参加者数（評価方法A）</li> <li>展示をわかりやすく解説するワークシートなどを作成しているか？（評価方法CまたはB）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者のニーズや調査・研究の進展に対応して、企画展の開催や、年間をとおした常設展示の展示替えを行います。</li> <li>常設展示の印象に関わるアンケート調査（評価方法CまたはB）</li> <li>企画内容や展示手法の満足度に関するアンケート調査（評価方法CまたはB）</li> <li>常設展示における年間の展示資料点数（どれだけ展示替えを行っているのか？）（評価方法A）</li> <li>常設展示の来館者数増加に向けた取り組み（評価方法B）</li> </ul>
(5) 企画交流活動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内外に対し、「山梨の自然と人との関わりを歴史」像の浸透に資する効果的な企画交流活動の立案・実行に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育の現場と密接に交流し、博学連携の強化に努めます。</li> <li>県内各地の文化施設・史跡・自然と密接に連携し、多くの利用者を県内各地へと誘導する企画交流活動の立案・実行に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者のニーズに応じて、企画交流活動の内容の見直しや新規の立案に努めます。</li> <li>大学や図書館、研究団体など、新たな施設・団体との連携の強化に努めます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間における企画交流活動数及びその参加者数（評価方法A）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>博学連携に関わる取り組み（評価方法B）</li> <li>出前授業等の件数及び参加者数（評価方法A）</li> <li>貸出用キットの利用件数（評価方法A）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画交流活動に関わる取り組み（評価方法B）</li> <li>各種連携事業を実施するにあたりどのような工夫を行っているか？（例えば、大学・図書館との連携やミュージアム甲斐ネットワークなど）（評価方法B）</li> <li>地域インデックスの活用策を企画・実行したか？（評価方法B）</li> </ul>
(6) 施設の整備・管理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、人にとっても安全かつ快適な施設・整備の管理に努めます。</li> <li>魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりを歴史」を知ることが出来る貴重な資料を永く後世に伝えていくために、資料にとって安全かつ快適な施設・設備の管理に努めます。</li> <li>地震・火災等の緊急事態に対して、職員の研修をはじめとした対応を行っているか？（評価方法B）</li> <li>緊急の傷病者への対応に関して、職員の研修をはじめとした対応を行っているか？（評価方法B）</li> <li>バリアフリー対策を行っているか？（評価方法B）</li> <li>資料保存について措置を講じているか？（評価方法B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者への施設開放（例えば生涯学習室の貸し出しなど）を積極的に行うことで、県民に親しまれる博物館づくりを推進し、開館6周年目から開館10周年目までに69,750人の利用者数を目指します。</li> <li>利用者に対する施設開放件数及び利用者数（例えば、生涯学習室の貸し出しなど）（評価方法A）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者のニーズに応じ、未来に向けた新たな博物館のあり方について検討します。</li> <li>国宝・重要文化財を展示する公開承認施設に指定されているか？（評価方法B）</li> <li>展示施設の新規整備やその活用が図られているか？（例えば、体験型展示の充実など）（評価方法B）</li> </ul>
(7) 情報の発信と公開について	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が「山梨の自然と人との関わりを歴史を学ぶ」ことについて支援することに努め、レファランスをとおし開館6周年目から開館10周年目までに3,000人が知的好奇心を満足できるように努めます。</li> <li>レファランス対応件数（評価方法A）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県立博物館の活動全般について、県内外の人々に対して積極的にPR活動をするように努め、例えばHPをとおした場合は開館6周年目から開館10周年目までに400,000件のアクセス数を目指します。</li> <li>HPアクセス数（評価方法A）</li> <li>HPの更新や利用者ニーズに応じた内容の検討を行っているか？（評価方法B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットを使用した博物館通信の送信や館外におけるPRなど、新たな広報活動の取り組みに努めます。</li> <li>どのような情報をどのような媒体で情報発信しているのか一覧表がなされているか？（評価方法B）</li> </ul>
(8) 市民参画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPOやボランティアなどとの協力を得た事業活動を実施し、共同事業では開館6周年目から開館10周年目までに4,500人と交流できるように努めます。</li> <li>NPOや協会の（ボランティア）との協働事業開催件数及び参加者数（評価方法A）</li> <li>協会（ボランティア）の登録者数（評価方法A）</li> <li>協会（ボランティア）ではどのような活動を実施したのか一覧表がなされているか？（評価方法B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の視点から博物館の評価を行い、その成果を博物館の成長や運営改善に向けて反映するよう努めます。</li> <li>利用者による博物館評価を実施し、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法BまたはC）</li> </ul>	
(9) 組織・人員について	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。</li> <li>職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか？（評価方法B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。</li> <li>第三者機関（運営委員会、みんなで作る博物館協議会、資料情報委員会など）の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。</li> <li>第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。</li> <li>職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか？（評価方法B）</li> <li>第三者機関（運営委員会、みんなで作る博物館協議会、資料情報委員会など）の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法B）</li> </ul>
(10) 外部支援と連携について	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的に質の高い博物館活動に資するよう、外部支援体制の導入に努めるとともに、地域連携を図ります。</li> <li>館の運営のために外部支援体制の導入に努めたか？（評価方法B）</li> <li>山梨県内外における歴史・民俗系博物館等との連携を図っているか？（評価方法B）</li> <li>文化財レスキューなど、県立博物館が地域社会を支援する体制の整備に努めたか？（評価方法B）</li> </ul>		

重点項目の具体的評価内容と評価方法

◎…最優先課題

○…努力目標

①. 展示と調査研究

評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主展覧会やシンボル展は、開催の前後5年間に、学会発表、学会誌、紀要などにおいて、内容と関連する調査研究成果（資料紹介等を含む）の研究成果の公表が行われたか◎</li> <li>・会場における文字解説では、平易な文章表現を用いるよう心掛けられていたか◎</li> <li>・展覧会は、博物館の基本テーマに沿い、かつ時代に沿った視点を持った内容の提供に努めたか○</li> </ul>
評価方法	いずれも主として評価方法B（自己評価）

②. 情報発信

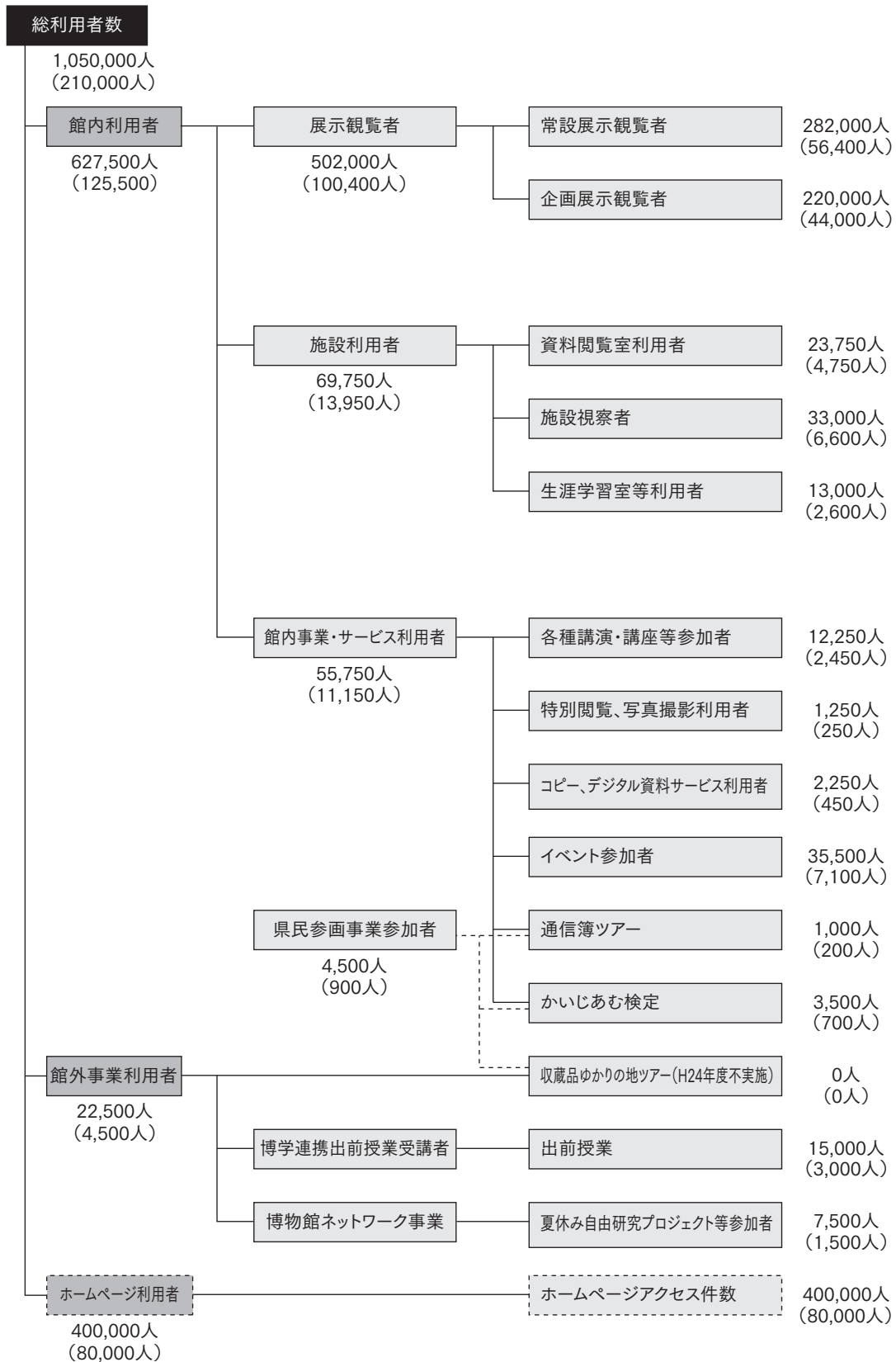
評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示替えや企画展、館内イベントの情報は告知されているか◎</li> <li>・新聞、雑誌、講座、講演会において、一般向けに研究成果の発信が行われたか◎</li> <li>・各展覧会における情報発信の方法や発信先は適切であったか。また、来館者がSNS等で発信したくなる環境づくりにも努めたか○</li> </ul>
評価方法	いずれも主として評価方法B（自己評価）

③. 博学連携

評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前授業や学校見学では、学校教育の授業の枠組みに囚われすぎず、地域にまつわる話 題に触れ、山梨の歴史・文化の魅力を伝え、興味をひき出そうと努めているか◎</li> <li>・出前授業、学校見学等を利用した児童生徒や教員の感想（出前授業の内容について）○</li> </ul>
評価方法	いずれも主として評価方法B（自己評価）

■山梨県立博物館 令和3年度から令和7年度までの各活動分野における数値評価の目標値

○「総利用者数」とは、当館の施設、提供するサービスを利用した者および当館の事業活動に参加した全ての利用者の統計である。



※1 数字…令和3年度（開館16周年度）から令和7年度（開館20周年度）までの目標値

※2 ( )内の数字…令和3年度から令和7年度までの5年間における単年度の目標値



## 第 2 章 通信簿ツアーの実施

### (1) 通信簿ツアーの内容

#### ■令和 3 年度における通信簿ツアーの特徴

令和 3 年 10 月 10 日（日）～ 10 月 14 日（木）の期間に、県民参画事業（第 II 編第 8 章参照）の一環として「通信簿ツアー」を実施した。これは利用者とともに県立博物館を評価する（県立博物館の「通信簿」を付ける）という利用者参加型の評価方法である（本事業の概要は平成 18 年度県立博物館年報第 I 編第 2 章参照）。

令和 3 年度の通信簿は、次のような内容とした。参加者人数についても次に記す。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により休館を余儀なくされ、予定されていた夏期企画展の開催期間が短縮されたため館内イベント等が中止になった。そこで、通信簿ツアーの日程も例年のように夏期に 1 日、異なる時期に 1 日の計 2 日実施ではなく、一定期間実施日を設けることで幅広い年齢層の来館者に意見を伺えると考え、10 月 2 日（土）の秋期企画展開催後に通信簿ツアーを実施した。
- ・質問内容が多すぎるという参加者からの声を踏まえ、平成 24 年度からは、はい・いいえ方式の設問を導入して記載の簡素化を図っている。
- ・休止中の館内レストランや SNS に関する設問を追加している。
- ・あわせて、はい・いいえ方式による回答の理由などを把握するために記述式の設問も残し、多様な利用者からの声をすい上げる仕組みとした。
- ・通信簿ツアーの参加者（参加同意者）数は 250 名であった。

#### ■通信簿ツアー評価項目

A 山梨県立博物館（かいじあむ）に到着するまでの、道のりで、わかりづらいところがありましたか？

電車の最寄り駅電車 バス乗り場・路線 看板 目印になる建物 県道からの入口 その他

B 受付（総合案内）や案内スタッフの対応や誘導はいかがでしたか？

館内サービスについてうかがいます。

C 館内サービスについてうかがいます。

1. 障がい者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？充実化、追加した方がよいサービスがあればお聞かせください。
2. 外国人の方に対応したサービス（サイン、キャプション、パンフレット、音声ガイドなど）は充分だと思えますか？充実化・追加した方がよいサービスがあればご記入ください。
3. 小さなお子さんや親子の来館者に対応したサービスは充実していると思いますか？こんなサービスがあるとうれしい！！というものがあればお聞かせください。

D 展示室についてうかがいます。常設展

1. 常設展示室内では、2 ヶ月ごとに資料の展示替えを行っています。過去の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したバナーやパネルがエントランスおよび展示室の入口に表示されていますが、気づきましたか？
2. 常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、順路があったほうが見やすいという方のために、展示室内の地図がパネルやパンフレットに表示されています。展示室内をめぐる際、迷われてお困りになることはありましたか？
3. 展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすさとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさ、内容など、読みやすかったですか？
4. 室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、壁や床面の映像や、それと連動したジオラマの演出などユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。
5. 展示品の解説は充実していますか？展示理解の手助けとなる解説や補助グッズ（クイズシートなど）についてのご

意見やご提案があればお聞かせください。

6. 常設展で、山梨のこんな資料がみたい！あるいはこんな展示があるといいな！というものがあればお聞かせください。
  7. 常設展示室の横にあるにぎやかな展示場は、江戸時代の甲府城下町の散策をゲームで楽しんだりできる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12ヶ所の「現場」があります。お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。
  8. 体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？
  9. 体験型展示では、毎週日曜日の11時より、体験イベント「あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用されたことがある方、楽しい体験はできましたか？ご感想があればお聞かせください。
- D 展示室についてうかがいます。企画展**
10. 今回の企画展はいかがでしたか？よろしければ、どんなところに興味を持った（努力が必要と感じた）のか、感想も聞かせてください。
  11. 山梨県立博物館だからこそやってほしい・見たいと思う企画展のテーマがあれば教えてください。
- E 調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。資料閲覧室は博物館の図書館で古文書の閲覧やデジタル画像を見ることもできます。**
1. 資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？感想がありましたら、お聞かせください。
  2. 古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス）など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？
  3. 本年度は1回、館内での「古文書相談日」が開かれています。もし、お宅に古文書があれば相談してみたいですか？古文書以外にも相談してみたい内容がありましたら、お聞かせください。
  4. 博物館周辺や県内各所の観光スポットを調べたいときや、常設展・企画展の展示を見てどこかの地域に実際行ってみたくらいと思ったとき、「地域インデックス」のコーナーは役に立つと思いますか？よろしければ、その理由や、このコーナーについてのご感想もお聞かせください。
- F ショップや休憩室、お庭についてうかがいます。**
1. レジの対応はいかがでしょうか？
  2. ショップでは、オリジナルグッズ（マスキングテープや手ぬぐい、絵葉書など）収蔵品ゆかりのグッズ、展示会の図録・リーフレットを販売しています。品揃えはいかがでしょうか。他にどのような商品があると良いと思いますか？
  3. 県博とNPOで製作した、まちミュージアムガイドブックも販売しています。博物館と県内市町村をつなぐ「歴史ウォーキング」に興味がありますか？
  4. 現在、軽食・喫茶コーナーは営業しておりませんが、不定期で敷地内において、パン屋さん、カフェなどの移動販売が行われています。  
利用した方はご感想をお聞かせください。試してみた方は、ご感想をお聞かせください。
  5. オープンテラス（休憩室の外）やお庭で食事をとることができるのをご存じですか？利用したことがある方はご感想をお聞かせください。
  6. 建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。体験学習室前でお庭の季節の情報を掲示しているほか、毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しています。よろしければ、お庭についてのご感想をお聞かせください。
- G 博物館ではイベントや普及プログラムが行われていることを知っていますか？**
1. 館長トーク・古文書講座・子ども工房・スルーガイド・寺子屋ひろばなどのイベントプログラムが行われていることを知っていますか？
- H 博物館で働く人たちと交流できましたか？**
1. 展示交流員（男性は赤いジャケットを、女性はグレーのチェックの上着を着ています）の説明はわかりやすかったですか？よろしければ、スタッフについてのご意見もお聞かせください。
  2. 館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のベストを着てイベントなどを職員と一緒に実施しています。  
よろしければ、スタッフについてのご意見もお聞かせください。
- I 博物館に行く前に、情報は入手できましたか？**
1. 県立博物館のホームページを見た方にお聞きします。知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？また、ホームページではどのような情報を知りたいと思いますか？
  2. 博物館では公式ツイッター（kaiseum\_ypm）でさまざまな博物館情報を発信しています。ご存じでしたか？ご存じの方は、その感想もお聞かせください。
  3. 山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページが公開されています（<http://www.museum-kai.net/>）、利用したことがありますか？
- J 最後に、これもぜひお聞きしたいところです。**

1. 1年間、何回でも博物館を利用することのできる定期観覧券や美術館・文学館・考古博物館との4館共通パスポート（ミュージアム甲斐in券）があることを知っていましたか？  
知っている      知らなかった
2. 以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか？どんな点がよくなったのか、または悪くなったのか、ご意見もあればお聞かせください。  
スタッフの案内・誘導      館内の誘導サイン      展示内容      解説文の見やすさ・わかりやすさ  
博物館HPやTwitter  
ショップの品揃え      広報・情報発信      安全対策      その他
3. 博物館にきたことでもっと山梨県を知りたい、観光してみたいと思いましたか？気持ちに一番近いものに○をつけてください。  
山梨を知りたい・観光したい気持ちが高まった  
積極的に観光したいとまでは思わないが、歴史や文化に興味があった  
観光したいとは思わなかったし、興味もわかかなかった
4. もう一度、この館に来たいですか？  
また来たい      もう来たくない

## (2) 通信簿ツアーの結果

### ■通信簿ツアー評価結果

	回答者情報	回答数	評価者No.
	年代		
	小学生	0	
	中学生	0	
	10代	6	
	20代	10	
	30代	14	
	40代	18	
	50代	39	
	60代	52	
	70代	79	
	80代	6	
	90代	0	
	無回答	26	
	性別		
	男性	126	
	女性	93	
	無回答	31	
	来館回数		
	初めて（1回）	78	
	2～5回	77	
	6～11回	30	
	11回～	31	
	無回答	34	
	住所		
	県内	142	
	甲府	18	
	峡東（笛吹・山梨・甲州）	31	
	中北（甲斐・南アルプス・中央・北杜・韮崎）	29	
	峡南（身延・市川三郷・南部）	11	
	東部（大月・上野原）	2	

	富士北麓（富士吉田・富士河口湖）	15	
	県外	78	
	関東（東京都）	17	
	関東（神奈川）	14	
	関東（埼玉）	7	
	関東（千葉）	3	
	関東（群馬）	2	
	関東（茨城）	1	
	北海道・東北	0	
	中部（長野・静岡・愛知・新潟・富山）	26	
	近畿（大阪・岡山）	3	
	中国・四国・九州	0	
	海外	0	
	無回答	41	
	<b>交通手段</b>		
	電車	4	
	バス	10	
	自家用車	200	
	タクシー	0	
	徒歩	7	
	自転車	1	
	バイク	1	
	無回答	27	
	<b>来館目的</b>		
	常設展	44	
	企画展	149	
	イベント	11	
	観光	28	
	学習、調査	14	
	その他（修学旅行）	4	
	同伴者		
	1人	53	
	家族	139	
	友人	19	
	団体	7	
	その他	4	
	無回答	28	
	<b>質問内容・意見</b>		
A	山梨県立博物館（かいじあむ）に到着するまでの、道の中で、わかりづらいところがありましたか？		
	電車の最寄り駅	0	
	バス乗り場	0	
	看板	12	
	目印になる建物	5	
	県道からの入口	14	
	その他	0	
	<b>【ご意見】</b>		
	・車だとわかりやすいが、他の手段だとわかりにくい。		16
	・石和温泉駅から徒歩で来ましたが、案内所で説明を受けていなければダメでした。		33

	・バス停から博物館入口までの案内がない。エントランスという案内があったが、入口であるか判断しづらい。		44
	・ナビで来たら裏側についた。		48・248
	・身延山の帰り、企画展を知り、立ち寄った。		58
	・慣れているのでありません。前に来館しているので問題なし。		65・233
	・最後の県道から入るところ、看板が奥まっっており、小さくてわかりにくい。		77
	・カーナビで問題なし。カーナビでわかりやすい。		118・167・237・109
	・石和温泉温泉駅から自転車できた。結構道に迷っていた。		151
	・近くなので何も無い。		157・218
	・入り口を見落としてしまい、戻ってきました。		179
	・駐車場から建物までわかりづらい。		193
	・Google mapだと案内されませんでした。		231
<b>B</b>	<b>受付（総合案内）や案内スタッフの対応や誘導はいかがでしたか？</b>		
	よい	172	
	ふつう	42	
	あまりよくない	0	
	<b>【ご意見】</b>		
	・ていねいに教えてくれました。ていねいでした。		8・18・28・106・122・192
	・チケット販売の方は、大変親切でした。		58
	・感じはよかったです。スタッフが複数近くにいるのに一人に対応していたので、待たされました。		75
	・すばらしい。口頭での解説など他にない対応でした。		91
	・とてもわかりやすかったです。親切にわかりやすく（順序等）説明していただきありがたいです。		101・107・159
	・受付から連れ立って案内してくれるのがよかったです。		135
	・困ったときにそれとなく聞いて、案内してくれ、大変ありがたかった。		179
	・交流員の知識が少ない。交流員が寝ていた。		193
	・学芸員が説明してくれなかったのが残念だった。		194
	・声が小さくて何を言っているのかわからなかった。		195
	・ベビーカーが必要か声をかけてくれた。		198
	・毎回よい感じです。		224
<b>C</b>	<b>館内サービスについていかがいます。</b>		
<b>C01</b>	<b>障がい者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？充実化、追加した方がよいサービスがあればお聞かせください。</b>		
	<b>【ご意見】</b>		
	・床が暗いのが気になる。		7
	・休憩する場所がほしい。抹茶とか。		10
	・書く場所が少ないと思います。テーブルやベンチが少ない。施設内に回答するスペースを設けてもいいのでは。		12・13・118・182
	・段差が少なくてよい。		15
	・映像は椅子があると疲れにくいかも。		18
	・室内が暗すぎる。展示物の案内板が見づらい。直接でなく、ななめにしてほしい。		21
	・職員の誘導がよかった。		58
	・ルートがよくわからない。		63
	・説明文をもっと大きくしてほしい。説明の文字が小さい。		65・180
	・職員の誘導・案内の充実。		71・117・192
	・館内の案内表示。		75
	・職員の方が展示物の説明をしてくれてよかったです。説明して下さりわかりやすかった。		95・109

	・サービスはよい。充実している。		105・174・209
	・常設展の音声はもしかしたら聴覚障害の人の混乱につながるかも。		111
	・障害者手帳発行中でしたが、声かけしてくださり、本当に感謝です。		144
	・説明してくださる方がいるとよい。日曜以外、常時ボランティア。		147
	・ヘルプマークに気づいていただきありがとうございます。		149
	・点字の追加。		152・215
	・展示スペースが広くてよい。		169
	・高齢で行き届いた言葉がけがあり、大変よかった。		179
	・トイレの場所がわかりづらい。誘導板など。		193
C02	外国人の方に対応したサービス（サイン、キャプション、パンフレット、音声ガイドなど）は充分だと思えますか？充実化・追加した方がよいサービスがあればご記入ください。		
	【ご意見】		
	・音声ガイド		10・89・111・175・194・220・226・232
	・案内表示（道も含む）		10
	・気がつかなかった。展示品の説明では文字が小さい。外国の方は音声が良い。		58
	・外国語パンフレット		65
	・外国の方と会ったことがないのでわかりません。		101
	・充分じゃなかった。資料解説は外国語がなかった。		151
	・職員の案内・誘導		161
C03	小さなお子さんや親子の来館者に対応したサービスは充実していると思えますか？こんなサービスがあるとうれしい！！というものがあればお聞かせください。		
	【ご意見】		
	・子ども向けイベント		2・65・102
	・子どもがあきたときに時間をつぶせるところがほしい。		2
	・小さい子どもには常設展の昔の生活を見せた方がよい。特に小学生に。		58
	・この冊子のクイズが楽しめた。		73
	・この冊子を作るのにかなりの費用がかかったと思えますが、アンケートにここまで費用をかけるのはしかたがないものかと思いました。		81
	・職員の案内・誘導。今日もしていただいていると思えますが。		102・163
	・小さいお子さんには、少しくらいと感じました。		109
	・漢字へのふりがなを増やすとよいと思えます。		127
	・シールや小さな模型などの配布。		144
	・授乳室がどこにあるのかわからない。		151
	・ある程度の説明がほしい。		175
	・外・庭で遊べる場所		193・198
	・もう少し謎解きとか、植物遊びとかがあってもよい。子どもがいると展示をほとんど見られない。15分だけでも展示室のとなりとかで預かりサービスがあるとよい。これができたら、最先端博物館だ。		198
	・照明暗いと思う。		236
D	展示室についてうかがいます。常設展		
D01	常設展示室内では、2ヶ月ごとに資料の展示替えを行っています。過去の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したバナーやパネルがエントランスおよび展示室の入口に表示されていますが、気づきましたか？		
	気づいた		53
	気づかなかった		56
D02	常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、順路があったほうが見やすいという方のために、展示室内の地図がパネルやパンフレットに表示されています。展示室内をめぐる際、迷われてお困りになることはありませんか？		
	迷って困った		4



	迷わなかった	92	
	迷って探すのも楽しかった	19	
	<b>【ご意見】</b>		
	・迷ったが、困りはしなかった。		2
	・順番に見ないとわからない内容ではなかったので、よかったです。		48
	・順路は足元にしてほしい。順路は足元に蛍光矢印がよい。		58・118
	・とてもわかりやすく、展示されていたと思います。		101
	・今日は小学生が来館していたせいか、通行止めがありました。一回目で見切れないので、少しずつ見ていっているのですが、また来ます。		122
	・学生の方がいらっしゃったので、順路関係なく歩きました。		138
	・外国語パンフレット		163
D03	展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすさとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさ、内容など、読みやすかったですか？		
	文字の大きさ 適当	103	
	文字の大きさ 小さい	32	
	文字の大きさ 大きすぎる	0	
	内容 適当	102	
	内容 難しい	8	
	内容 もっと詳しく	6	
	<b>【ご意見】</b>		
	・案内がちらちらしすぎて、めまいがして立ち止まらなければならなかった。		21
	・中が暗いので少し明るくしてほしい。文字が読めません。文字の案内表示・解説文の明かりが暗くてわかりにくい。もう少し部屋を明るくした方が文字が読みやすい。		23・73・ 89・127・ 216
	・一部光が反射して見にくい。		42
	・説明が少し細かい文字で見づらいと感じました。文字が小さく、文字がはっきり見ることができればよかった。説明文の文字が小さかった。読みづらかった。パネルを大きめに、文字を大きめに。		49・88・ 176・209・ 237
	・画像（DVD）を取り入れてほしい。		58
	・鯉沢町は、富士川町に直してほしい。		63
	・低い位置につけられた解説が見づらかった。		85
	・わかりやすいと思います。		101
	・一時期適当だった。		105
	・大変ですが、概要と説明があると、私にはうれしいです。興味を引かれたものは、少し詳しく知りたいです。		122
	・暗いところは、大きい文字だと読める。		123
	・タイトルが目をはき、タイトルの展示の仕方もオシャレで大きくてわかりやすかったです。		231
D04	室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、壁や床面の映像や、それと連動したジオラマの演出などユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。		
	楽しめた	66	
	楽しくない	3	
	気づかなかった	19	
	<b>【ご意見】</b>		
	・休止は仕方がないと思うが残念。		20
	・むかし、来たときは引き出しの中を見て楽しかった。		26
	・昔の家のジオラマについて職員が丁寧に説明してくれてよかった。		28
	・スクリーンの映像による授業を見ました。興味深かったです。		49
	・この場所にたどりつくまでは疲れましたけど、ジオラマはよかった。昔を思い出した。		58
	・ジオラマ素晴らしい！		85
	・ジオラマははじめて見たときは楽しかった。二回目は一回目に気づかないことにも目がむいて楽しかった。		122
	・コロナのため楽しくない。		183

	・文字を見るだけだとわからないところもあったので、理解が深まった。		188
	・じっくり拝観！		204
	・床の映像により、周りを再度みることができ楽しかったです。		231
D05	展示品の解説は充実していますか？展示理解の手助けとなる解説や補助グッズ（クイズシートなど）についてのご意見やご提案があればお聞かせください。		
	解説 充実していた	52	
	解説 足りなかった	5	
	補助グッズ 充実していた	22	
	補助グッズ もっと増やしてほしい	7	
	補助グッズ 気づかなかった	9	
	【ご意見】		
	・文字を読むのは疲れるので、音声・画像を使って説明があればと思う。プロジェクター、DVDなど工夫して。費用はかかるけど、東京/上野の国立博物館では説明用の装置を貸し出してくれる。		58
	・感染対策頑張っているな、と思いました。		101
	・商品価値のないものは売らないで。		105
	・道祖神、お地蔵さんのいわれ、いろいろな種類の。(人の心のいましめになる)		135
	・庭にもシートクイズを作してほしい。		198
D06	常設展で、山梨のこんな資料がみたい！あるいはこんな展示があるといいな！というものがあればお聞かせください。		
	【ご意見】		
	・ワインの歴史		8
	・富士山について、詳しい展示がほしい。		18・194
	・山梨県の山について		20
	・自然科学的なもの、甲府盆地のでき方とか。		48
	・今の時代のリニアとか、新しいことに取り組み加えてあれば、と思った。		58
	・仏		68
	・全県にわたる資料が見たい。(甲府が中心だったので)		75
	・信玄関連の展示をもう少し増やしてほしい。ジオラマとか作してほしい。		85
	・山梨全体も必要ですが、小さな地区の歴史や生活を教えていただければ、その地にも足が向くかもしれません。		122
	・昔の心霊的な話。オムツ塚、おいちぶんち、大和駅の大木のたたり等。		135
	・武田家の歴史		143
	・近現代、明治～平成、温泉		154
	・考古館（考古博物館）と協力して大々的な縄文展を開催してほしい。		169
	・何回か来ていますが、常設展には初めて入ってみました。すばらしい！の一言です。次回、孫を連れて見せたいものが沢山あるので「来たい！」と思います。		175
	・自然史的要素。郷土の自然。生き物、地質についてまとまったものを知りたい。		183
	・果実栽培の歴史		192
	・ほうとうの歴史		194
	・山梨へ貢献した先人たちを全員展示と貢献を展示すべき。		219
D07	常設展示室の横にあるにぎやかな展示場は、江戸時代の甲府城下町の散策をゲームで楽しんだりできる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12ヶ所の「現場」があります。お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。		
	楽しめた	33	
	楽しめなかった	6	
	【ご意見】		
	・中止中。体験できなくて残念。入れなかった。		2・20・195
	・体験コーナーに係の人がいなかった。		58
	・山梨の昔話の語りが聞けるようになるといいと思う。		61
	・常設展の案内をしてくださった方もていねいでよかったです。		172

D08	体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？		
	気づいた（知っていた）	30	
	気づかなかった（知らなかった）	40	
	【ご意見】		
	・写真撮影すべてをOKにしてもよいと思います。		127
D09	体験型展示では、毎週日曜日の11時より、体験イベント「あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用されたことがある方、楽しい体験はできましたか？ご感想があればお聞かせください。		
	楽しめた	10	
	楽しめなかった	2	
	参加したことがない	36	
	【ご感想】		
	・初めて来館したために体験なし。		58
	展示室についてうかがいます。企画展		
D10	今回の企画展はいかがですか？よろしければ、どんなところに興味を持った、または努力が必要と感じたのかも聞かせてください。		
	大満足	25	
	満足	88	
	今ひとつ	17	
	不満	0	
	【ご意見】		
	・解説文が見えにくかった。説明・案内の部分で文字が明るさとの関係で大きく大きい字にする と見やすいと思いました。近づいても読めなかった。		11・179
	・日蓮さんの生涯がわかりやすかった。		12
	・文字が多かった。		17
	・出展している寺院の場所、現在の情報を知りたかった。		21
	・明るくしてほしい。暗くてよくわからない。少し暗すぎて、静かなので、途中で眠くなって しまった。（興味があるにもかかわらず）資料の関係もあるが、場内が暗くわかりにくかつ た。年寄りには暗い。照明にバラツキがあり見えにくい。照度、照射位置、各所ごと検討を。		22・81・ 90・106・ 152
	・素人でもわかるように簡単な（用語がわからない）説明をつけてほしい。文章の読み下しを つけてほしい。		42・141
	・絵般の説明があったほうがよい。		42
	・細字法華経、法華経の書？印刷のようにきれい。曼荼羅が800年位の時を感じさせない。		64
	・とても重要な資料があってとてもよかった。		65
	・巻物など書いてある名用の説明がほしかった。		66
	・日蓮聖人の足取りが時間軸になってなく、展示の年月が前後していきにくいところがあ った。掛け軸などの解説文がもう少しあってもよいと思います。ライティングが悪くよく 見えない所もあり、光のあて方を少し工夫してください。		77
	・ボリュームは素晴らしいが、順序やカテゴリ分けがわかりづらい。古文書の読み下しなどもあ ってほしい。全体的に暗く、像の表情が見づらかった。		78
	・今日は時間がないので、後日ゆっくり見に来ます。		108
	・もともと日蓮には詳しくないから難しく感じた。		111
	・日蓮宗の流れは、なんとなくわかりました。弟子たちの名前がたくさんありましたが、いつ の時代の方なのか、頭に入りませんでした。覚悟してきましたが、やはり文章が多く最後は つらかったです。まんだらは、同じような説明になってしまうんでしょうね。		122
	・顔料とか技法（？）とか何を使用して作ったのかなど材質を細かく知りたい。		136
	・解説版が下においてあったので、読みづらかった。あと30センチくらい上において欲しかった。		140
	・国宝を見られてよかった。		145
	・巻物の絵が見づらいところがあった。		153
	・まあまあ。もっと身延山と山梨の人々のつながりというか、広く見てみたかった。		182
	・歴史をいま勉強しているところなのでよかった。		188
	・日蓮聖人の苦と輝		204
	・変体仮名に興味がありました。		211

	・「弘決外典抄」具平親王の名前にひかれ、よく残っていたと感心しました。北之坊のものやいろいろ見られ、よかったです。		214
	・もう少し説明がほしかった。人物の説明や居た場所などの地図など。		215
D11	山梨県立博物館だからこそやってほしい・見たいと思う企画展のテーマがあれば教えてください。		
	<b>【ご意見】</b>		
	・信玄。信虎・武田信玄・勝頼		2・178
	・富士吉田（郡内）地域の歴史や偉人のまとめ		12
	・戦国時代の動き		12
	・山梨県と縄文土器		12
	・富士山にまつわる文化、富士山に関連するもの。		13・103
	・途中でおわってしまい、ゴジラ展をもう一度お願いします。		23
	・今はない。常設展の中で、「根津、小林一三」の年表があったが、もう少しして。下段の文字は見る事ができた。また、コメ作りなど人形で昔の生活を展示してあったのはわかりやすくよかった。		58
	・山梨県の芸能人やマンガ家など。		65
	・リカちゃんをもう一度たのみます。		86
	・京都・奈良にある仏像等の展示があれば見てみたい。		87
	・甲州街道の歴史展（宿場町）		89
	・武田勝頼公		94
	・山梨の人が興味を示す歴史、武田信玄以外に。		108
	・リマスター・アートの企画展		111
	・風土、風習、方言（文学館かな）など知りたいです。		122
	・今回の第二弾		131
	・県の工芸品のこととか（伝統工芸品や文化的遺産を知りたい）		136
	・食品店（物産）		140
	・地域の遊び、外での行事、自然のいとなみを身近にすることが大切だと思います。自然の中で生きる私たちが肌で感じてほしい。年寄り、経験ある人に耳をかたむける機会がほしい。		179
	・民俗、(甲府・郡内)		180
	・道祖神について、県内各地に残る鰻絵		184
	・信玄堤の全体像（関係や理由など）その後の効果、守られた結果など教えて欲しい。		215
E	調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。資料閲覧室は博物館の図書館で古文書の閲覧やデジタル画像を見ることもできます。		
E01	資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？感想がありましたら、お聞かせください。		
	入った		30
	入らなかった		72
	気づかなかった		10
	<b>【ご感想】</b>		
	・気軽に入れる工夫や活用法がわかるとよいかも。		46
	・次回入ってみる。		58
	・日本住血吸虫の生態解明から駆除までの話がとてもよくわかった。		85
	・とても勉強になった。		101
	・本や資料の寄付は受け付けていませんか？実家に整理したいものがあります。		122
	・次の機会に調べたいことがあるので、余裕をもって訪問したいと思う。前、写真等をもって来ましたが、「専門の人がいないので」と言われました。		179
E02	古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス）など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？		
	わかりやすい		10
	わかりにくい		8
	使ったことがない		58
E03	本年度は1回、館内での「古文書相談日」が開かれています。もし、お宅に古文書があれば相談してみたいですか？古文書以外にも相談してみたい内容がありましたら、お聞かせください。		

	相談してみたい	10	
	相談する必要はない	5	
	古文書を持っていない	53	
	<b>【希望する相談内容】</b>		
	・古地図、特に街道に関するもの見たいと思っています。今の道とどのように重なっているのか、甲州街道は、どこを通っていたのか、知りたいです。		122
	・古文書以外ですが、刀剣、唐物が知りたい。移転、移動でてきたものをきちんと知りたい。山門、石質の産出場所、地名等の地形や環境で山梨の本当の姿を知りたい。		179
E04	博物館周辺や県内各所の観光スポットを調べたいときや、常設展・企画展の展示を見てどこかの地域に実際行ってみたいと思ったとき、「地域インデックス」のコーナーは役に立つと思いますか？よろしければ、その理由や、このコーナーについてのご感想もお聞かせください。		
	役立つと思う	49	
	役に立たないと思う	4	
	<b>【ご感想】</b>		
	・他県の情報もあり、よいと思います。		12
	・役立つと思うけど、今はスマホで検索する。とくに何かあるのかな。		58
	・その時期、花見等を調べたいとき（思い立ったとき）あればよいと思う。		66
	・わからない。		101
	・どの地域のものかわかる地図をはっきりさせてほしい。観光客にはわかりやすいかも。		122
	・パンフ置き場だけはだめだと思う。		183
F	ショップや休憩室、お庭についてうかがいます。		
F01	レジの対応はいかがでしょう？		
	よい	25	
	ふつう	27	
	わるい	2	
	利用しなかった	46	
F02	ショップでは、オリジナルグッズ（マスキングテープや手ぬぐい、絵葉書など）收藏品ゆかりのグッズ、展覧会の図録・リーフレットを販売しています。品揃えはいかがでしょう？他にどのような商品があると良いと思いますか？		
	品揃えがよい	25	
	品揃えよいとは言えない	8	
	利用しなかった	45	
	<b>【ご意見】</b>		
	・こんなものかな、という印象。お土産やグッズは他ではない博物館らしい好奇心をくすぐるようなものがあってもよいと思う。		78
	・いろいろあって興味深かったのですが、購入とまではいかなかったです。		122
F03	県博とNPOで制作した、まちミュージックブックも販売しています。博物館と県内市町村をつなぐ「歴史ウォーキング」に興味がありますか？		
	興味がある	51	
	興味はない	24	
	<b>【ご意見】</b>		
	・興味はありますが、県外のためなかなか来られない。		58
F04	現在、軽食・喫茶コーナーは営業しておりませんが、不定期で敷地内において、パン屋さん、カフェなどの移動販売が行われています。利用した方はご感想をお聞かせください。試してみた方は、ご感想をお聞かせください。		
	利用したことがある。	19	
	利用したことはない	73	
	<b>【ご感想】</b>		
	・仲の良いキッチンカーがよく来ていたので、また出店してもらいたい。キッチンカーを入れて欲しい。		26・169
	・展示品を見てまわったら、腹がすいた。軽食が食べたかった。		58
	・県立の美術館や文学館のように常時ご飯が食べられるところがほしい。		136
	・かなり前にレストランを使用。今回も楽しみにしていましたが、残念。		138

	・なんだか高そう。江戸とかむかしの屋台みたいなのがならんでいたら、いいと思う。		198
	・とても品揃えがよかった。		207
F05	オープンテラス（休憩室の外）やお庭で食事をとることができるのをご存じですか？利用したことがある方はご感想をお聞かせください。		
	知っている	21	
	知らなかった	77	
	【ご感想】		
	・次回来たとき、コーヒーでも飲むことにする。		58
	・次回は利用したい。		61
	・密になりそうで使っていない。		101
	・今度、お弁当にきます。		122
	・とてもきれいにされていて、気持ちがよかったです。		139
	・雨だった。		234
F06	建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。体験学習室前でお庭の季節の情報を掲示しているほか、毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しています。よろしければ、お庭についてのご感想をお聞かせください。		
	【ご感想】		
	・きれいでよい。よいと思う。とても広くてきれい。		2・102・207
	・お庭の存在を知らなかった。		13
	・気持ちよさそう。		17
	・雰囲気がとてもよい。		18
	・エントランス近くの所の竹がすてきです。		19
	・咲く花の見ごろの展示に気づき見ていたところ、職員が気づき、土曜日の見る会をしていると声をかけてくださり、庭を見て帰った。初めて散歩できた。		20
	・コロナがおさまって、またイベントなどできるといいな。		26
	・展示品の見学で疲れました。次回、来館する機会があったときに庭を見してみる。		58
	・一度だけ見てみました。たくさん種類があって、四季それぞれ楽しいだろうなと思いました。手入れをされている方々、ご苦労様です。		122
	・管理が大変だと思った。		134
	・博物館のイメージ。県内の美術館、大村美術館、生家の庭に興味があります。竹林、竹庭はこの自慢はみとめます。竹材等で人間の生長とは同じではないが、竹の特徴、強さを利用した用具等、たくさんあり。人間をいままで支えてきた、これからも支えてくれるものに人々の目を向けていく必要あり。知恵の作業を。		179
	・建物のデザインもよく、素敵に思います。		192
	・お庭の手入れがよくできていて感心しました。気分も良くなります。		213
	・季節毎に一人で散歩いたします。		214
	・景観が大変よいです。		219
G	博物館ではイベントや普及プログラムが行われていることを知っていますか？		
G01	館長トーク・古文書講座・子ども工房・スルーガイド・寺子屋ひろばなどのイベントプログラムが行われていることを知っていますか？		
	知っている	52	
	知らなかった	54	
H	博物館で働く人たちと交流できましたか？		
H01	展示交流員（男性は赤いジャケットを、女性はグレーのチェックの上着を着ています）の説明はわかりやすかったですか？よろしければ、スタッフについてのご意見もお聞かせください。		
	わかりやすかった	43	
	わかりにくかった	8	
	説明を受けられなかった	27	
	説明は不要	6	
	【ご意見】		
	・山梨空襲の説明がよかった。		2
	・常設スペースで男性の方の説明がわかりやすくて良かったです。		9



	・今回は説明は不要。		12
	・順路を迷っていたとき、教えていただいた。ジオラマの説明をしていただいた。		49
	・二人連れの女性の話し声が気になった。場合によっては注意していただくことも必要では？		51
	・説明はわかりやすかったし、丁寧だった。また、順路が少しわかりにくかったが、交流員の方が案内してくれた。		58
	・住んでいる地域がだいたいわかった。		64
	・自発的に話しかけてくださってよかったです。		95
	・マスク越しに話さなければいけないので、大変だと思いますが、声が聞きづらい。声が小さくて聞こえづらい。		97・193
	・帽子とかベストとか揃えては。		118
	・作品をていねいに固定し、照明の仕方を工夫していることがわかりました。沢山のスタッフが説明してくれてありがたかった。		179
	・とてもわかりやすかったです。甲斐犬のお話面白く思いました。		192
	・寝ていた。イスに座っている人。		195
H02	館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のベストを着てイベントなどを職員と一緒に実施しています。よろしければ、スタッフについてのご意見もお聞かせください。		
	<b>【ご意見】</b>		
	・しんせつでした。やさしく接してくれてよかった。		10・188
	・注意していませんでした。赤色のベストの人はやさしかった。		58
	・黙っているのを何をしている人かわかりにくい。		89
	・私もやりたいです。スカウトしてください。		147
	・説明してほしかった。		175
	・わからなかった。どこにいるのか？		195・214
I	博物館に行く前に、情報は入手できましたか？		
I01	県立博物館のホームページを見た方にお聞きします。知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？また、ホームページではどのような情報を知りたいと思いますか？		
	役に立った（知りたい情報があった）		46
	役に立たなかった		3
	ホームページは見えていない		49
	<b>【ご意見】</b>		
	・スマホのホームページがほしい。		10
	・あるかもしれませんが、山梨の歴史Q&A。		12
	・スマホとPCでみた。概要を知ることができてよかった。		58
	・ホームページが少し見づらい。今の内容がトップにくるとよい。		111
	・交通のお知らせはわかりにくかった。		141
	・市の広報		157
	・新聞などで入手。		182
I02	博物館では公式ツイッター（kaiseum_ypm）でさまざまな博物館情報を発信しています。ご存じでしたか？ご存じの方は、その感想もお聞かせください。		
	見たことがある		19
	見たことはない		78
	<b>【ご意見】</b>		
	・いつも楽しみにしています。今日もツイッターみて、久々に博物館に来てみようと思って出かけました。		26
	・今回の来館前に少しみた。よかったと思う。		58
	・lineなど使っていない。		164
I03	山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページが公開されていますが（ <a href="http://www.museum-kai.net/">http://www.museum-kai.net/</a> ）、利用したことがありますか？		
	利用したことがある		9
	利用したことはない		86
	<b>【ご意見】</b>		

	・HPでは気が付かなかった。		58
J	最後に、これもぜひお聞きしたいところです。		
J01	1年間、何回でも博物館を利用することのできる定期観覧券や美術館・文学館・考古博物館との4館共通パスポート（ミュージアム甲斐in券）があることを知っていましたか？		
	知っている	54	
	知らなかった	83	
J02	以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか？どんな点がよくなったのか、または悪くなったのか、ご意見もあればお聞かせください。		
	スタッフの案内・誘導	41	
	館内の誘導サイン	14	
	展示内容	21	
	解説文の見やすさ・わかりやすさ	11	
	博物館HPやTwitter	4	
	ショップの品揃え	3	
	広報・情報発信	4	
	安全対策	11	
	その他（職員が多い。来館したことがない。富士川舟運の所、床がガラスの所、高所恐怖症なので怖かった。ぜんぜんこなかったからわからない。）	4	
	<b>【ご意見】</b>		
	・変わらず、よいと思います。		122
	・コロナでマイナス。		169
	・かいじあむの広告デザインがすき。		198
	・パネルの文字が小さくて見づらい。高齢者には。		201
J03	博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いましたが？気持ちに一番近いものに○をつけてください。		
	山梨を知りたい・観光したい気持ちが高まった	55	
	積極的に観光したいとは思わないが、歴史や文化に興味があった	22	
	観光したいとは思わなかったし、興味もわかなかった	0	
J04	もう一度、この館に来たいですか？		
	また来たい	120	
	もう来たくない	1	
	<b>【ご意見】</b>		
	・興味を持てるものがあれば来たい。いい企画があれば来たい。企画展示による。		78・92・198
	・火曜日やってほしい。		137
	・博物館のしかけ人になってほしい。地域や社会とねむっているものをおこしてほしい。人間生活を豊かにしてほしい。		179

※「評価者No.」は通信簿の提出者それぞれに機械的に付与した番号であり、同一番号は同一人物の回答によるものを示す。

※「ご意見」欄は、重複意見は集約して掲載した。

## ■評価結果の分析

令和3年度の通信簿ツアーは、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、夏期に博物館休館の措置をとったため、秋期に一定期間の実施日（10月10日～10月14日）を設けて実施した。通信簿の内容についても精査をし、昨年度より設問数を減らして実施した。博物館までの交通手段は圧倒的に自家用車の割合が多く、回答者全体の89.7%を占めた。リピーター来館者の割合については、回答者全体の63.8%であった。特に来館回数6回以上の割合が回答者全体の28.3%であった。したがって、自由記述欄への記入にも具体的な意見が見られたり、新型コロナウイルス感染症に対しての対応策前後を比較してご意見をいただいたりと、参加者の博物館に対する期待の高さがうかがわれた。

平成18年度以来続けてきた通信簿ツアーは、寄せられた利用者の声に必要な限り対応をし、より親しみやすい博物館づくりの参考としてきた。

この結果、(B)「受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたか？」という設問に対して、「よい」回答率が68.8%、「ふつう」回答率が16.8%であった。この指標については、例年高い回答率を得ているが、昨年度同様、「よくない」回答率については0%であった。記述欄には、親切な案内や説明、丁寧な対応を受けたとする記述が数多く見られた。反面、「よくない」と答えた来館者はいなかったが、自由記述欄には、「受付で待たされた」、「声が小さくてわからなかった」との意見もいただいた。

館内サービスについての項目では、(C01)「障がい者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？」という設問に対して、職員の誘導・案内に対して評価をいただいている反面、館内の暗さ、展示物や案内板の見づらさを指摘するご意見をいただいた。また、館内に休憩できるスペースや椅子を設置して欲しいとの要望が多く見られた。新型コロナウイルス感染症対策なので仕方がないという一定のご理解をいただきつつも、距離を保ちつつもう少し椅子を置いてほしいという要望もあり、今後、企画展会期時など多数の来館者が見込まれる際には、検討課題のひとつといえる。(C02)「小さなお子さんや親子の来館者に対応したサービスは充実していると思いますか？」という設問に対して、子ども向けイベント、案内・説明、外庭の活用についてのご意見や要望をいただいた。

次に、展示についてである。(D01)常設展が2ヶ月ごとに展示替えを行っていることについて、おすすめ資料を紹介したバナーやパネルに「気づいた」回答率が21.2%、「気づかなかった」回答率が22.4%であった。テーマ性をもたせた展示替えは、資料保存の観点のみならず、数多く博物館に来館していただく方に対して、博物館が力を入れてきた活動であるが、2ヶ月ごとの展示替えを多くの来館者に周知できているかという点と充分だとはいいにくい結果である。今後も展示替えに関する継続的な広報の強化に努めることで、博物館の魅力につなげていきたい。また、開館以来続けてきたキャプション等の文字の大きさの課題(D03)についても改善が進んでおり、成果に表れているものの、「文字が小さい」「照明不足で暗くて見えにくい」など、引き続き改善を進めていく必要性が示された。その他としては、コロナ対策で引き出し式展示やタッチパネル式の映像、体験コーナー等が休止となっていることを残念がる意見やジオラマ展示を高評価する意見が寄せられた。(D06)

企画展については、通信簿ツアー中に「日蓮聖人と法華文化」が開催されていた。全体的な評価として、(D11)企画展を楽しめたかの設問での「大満足」「満足」回答率は45.2%（令和2年度34.8%）と昨年度に比べ高い評価となった。具体的な記述として、「日蓮さんの生涯がわかりやすかった」、「重要な資料があってよかった」、「国宝が見られてよかった」とのご意見があった。

資料閲覧室の利用については、昨年度は事前予約制をとっていたが、今年度は自由に閲覧利用ができるようになった。結果的には、「入った」と回答したのは30名（12%）と少数であり、「入らなかった」、「気づかなかった」と回答したのは82名（32.8%）であった。具体的な記述には、「次の機会に」「気軽に入れる工夫や活用法がわかるとよい」との意見もあり、今後、利用方法についてさらなる周知を図っていく必

要がある。

展示以外の施設については、館内レストランの再開を望む声が続き寄せられている。不定期に行っている移動販売についても要望が寄せられている。食事ができるスペースや休憩場所等を含め利用者の声に応えることができるよう今後の課題としたい。

(F06)「お庭についてのご感想をお聞かせください」の記述欄には、「手入れがよくされている」、「きれい」、「四季それぞれに楽しい」との高評価をいただいた。

最後に総合的な設問として、(J02)「博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか」について聞いてみたところ、よくなっている点として、「スタッフの案内・誘導」、「解説文の見やすさ・わかりやすさ」を挙げる来館者が多かった。また、(J04)「もう一度、この館に来たいですか?」の設問には、全回答者の99.2%にあたる来館者が、「また来たい」と答えている。

以上、令和3年度の通信簿ツアーでは、これまでに改善を進めてきた事項の成果の蓄積が感じられるとともに、継続的な課題についても再確認することができた。また、リピーター来館者が多かったことから、新型コロナウイルス感染症に対する対応策前後を比較して好意的な意見をいただいたり、具体的な改善策を示したりする意見や要望が多く見られた。具体的な記述に関しては、利用者の県立博物館に対する期待の反映であると認識し、実施可能な内容は活動に反映させるとともに、運営や資料保存、その他の観点から実施不可能な内容については、その理由も含めて周知を図り、博物館活動に対する利用者の理解につなげていきたい。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のための措置や感染拡大に伴う臨時特別協力要請等が発令されたこともあり、当館も休館を余儀なくされる期間が生じた。再開後もイベントの中止や変更などが続き、利用者には不便な思いをさせてしまうこととなった。今後は、新しい生活様式を踏まえたうえで、幅広い様々な利用者を想定し改善策を講じていく必要がある。少数ではあるが、苦情につながりかねない意見が見られたことは大いに反省すべき点である。可能な限りの利用者とのコミュニケーションを重視し、今後も県立博物館の使命と機能を果たしていきたい。そして、小さな課題も軽視せず、職員間で共有しながら改善に取り組んでいきたい。

### (3) 意見交換会の内容

令和3年12月12日(日)に、生涯学習室にて実施した。テーマを「県立博物館のここが惜しい!」とし、県立博物館の展示や活動における改善点を探る機会とした。参加者は、事前応募の4名とつなぐNPOの2名、博物館職員9名の計15名であった。

当日は展示室を見学したり、「通信簿ツアー」の集計結果を参考にしたりしながら、参加者それぞれが考える県立博物館の魅力や改善アイデアについて話し合った。利用者側から見た県立博物館の魅力は、豊富な資料や個性ある展示空間、庭、建築などの恵まれたハード面やバラエティ豊かな研究にある。また、その長所を活かすための展示活動と普及活動の充実が望まれていることが確認できた。

具体的な改善案もいくつか提案された。例えば展示では、照度設定によるキャプションの読みづらさを改善するため、文字サイズを大きくして解説を読みやすくしてはどうか、との意見があった。さらに、資料ではなく通路にスポット照明を用いることで、資料保護と展示室内の歩きにくさの改善を両立できるのではないか、との意見もいただいた。また、サービスにおいては、館内における職員(学芸員・交流員など)と利用者との「交流」の充実や、館外各団体・施設との連携強化が提案され、図らずも、利用者の要望と県立博物館が取り入れてきた交流員制度や、目指してきた「ハブ博物館構想」との一致をみた。

意見交換会で得られた改善案を直接的・間接的に運営に活かすとともに、利用者の眼で見た県立博物館の魅力職員で共有し、長所として磨いていきたい。

## 第Ⅱ編 事業・諸活動

### 第1章 運営・ミュージアムサービス

#### (1) 運営・ミュージアムサービスの方針

県立博物館は、

- ・「調査研究」(第Ⅱ編)第2章参照 以下、章のみ)
- ・「資料の収集・保管・活用」(第3章)
- ・「展示」(第4章)
- ・「企画・交流事業、県民参画」(第5章・第8章)

を柱とした事業・活動をとおして、県立博物館の使命の実現を目指している。23頁に掲げる「県立博物館事業体系図」のとおり、それぞれの事業・活動は密接に関連し合いながら、館の活動総体を高めていく。

県立博物館が提供するこれら諸サービスは、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に学べ、何度来ても楽しめる博物館となることを基本方針とする。

そのためには常に、利用者が満足できる魅力あふれる事業・活動を企画・実行すること、快適に利用できる施設として整備すること(第6章)、あわせて、情報化社会に対応した情報システムの充実・強化を図ること(第7章)が必要である。

また、博物館の各種事業は、専門的かつ高度な知識や技術が必要となることから、これらの知識を着実に蓄積することのできる創造性の高い組織作りを行う。同時に、ネットワークを生かし、外部支援も導入しながら開かれた博物館運営を行い、県民や利用者のニーズの変化に応えられるよう努めていく(第9章・第10章)。

#### (2) 令和3年度利用者状況一覧

県立博物館の事業・活動は、調査・研究、資料の収集・保管・活用・展示、企画交流事業、施設の整備・管理、情報の発信と公開、県民参画など多岐にわたり、その成果をミュージアムサービスとして県民に還元しているところである。

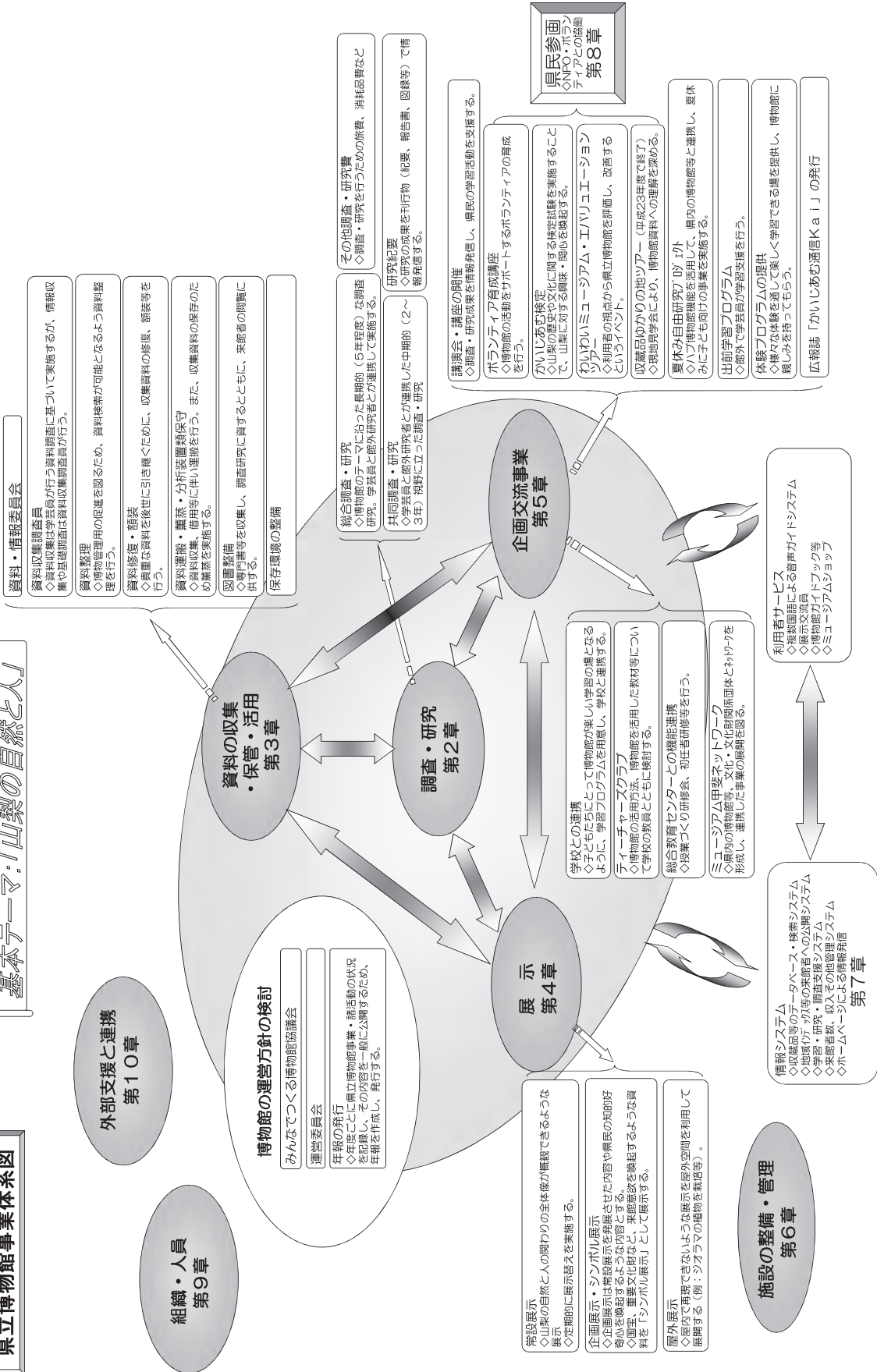
これらミュージアムサービスについて、数値実績として表現できるものについて一覧化したものが24頁の「令和3年度 県立博物館利用者状況」である。県立博物館では、提供する諸サービスの総計を「総利用者数」として捉え、今後、総利用者数の増加を目指し、多くの人々に満足してもらえるミュージアムサービスを提供していく。

- ※1 博物館の利用者とは、博物館の施設や提供する諸サービスを利用した者および博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。なお、一部の項目については、重複して統計に表れる性質がある。
- ※2 一覧に示す利用者数は令和3年度分(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)の実績である。なお( )内の数値は平成17年度分から令和3年度分まで、また、《 》の数値は平成23年度分から令和3年度までの実績数値を加えたものである。
- ※3 県民参画事業のうち、「交流拠点形成事業」及び「わいわいミュージアム」は平成18年度で終了した。代わりに平成19年度からは、「かいじあむ検定」、「通信簿ツアー」が新規に実施された(第8章)。このため、平成17~26年度までの実績を示すにあたり、「かいじあむ検定」の場合は平成18年度までの「交流拠点形成事業」の実績を、「通信簿ツアー」の場合は平成18年度までの「わいわいミュージアム」の実績でそれぞれ集計した。また、「収蔵品ゆかりの地ツアー」は、平成23年度で終了した。



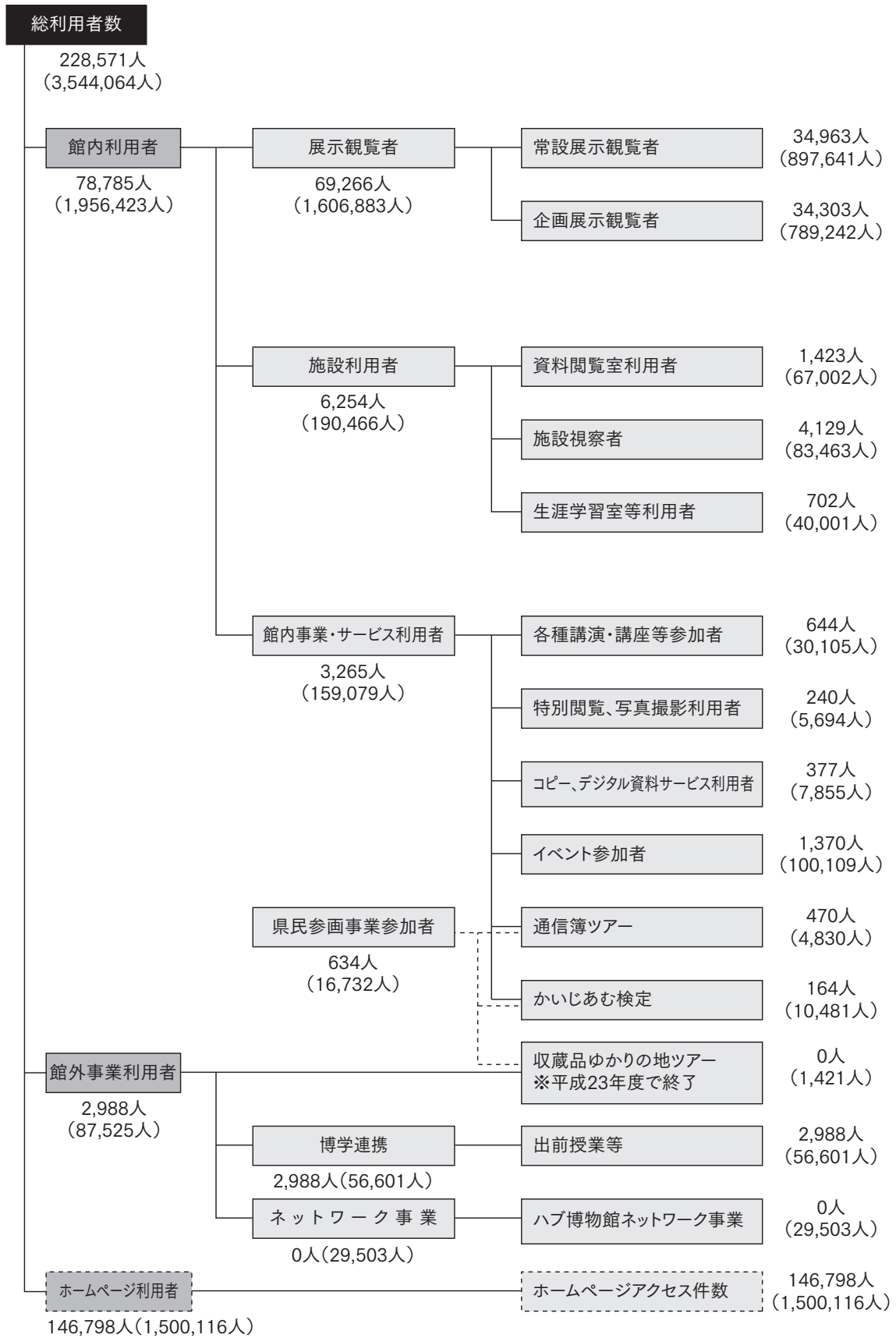
県立博物館事業体系図

基本テーマ:「山梨の自然と人」





■ 令和3年度 県立博物館利用者状況



※ ( ) 内の数値は平成17年度分から令和3年度分までの実績数値の総計である。

■開館年度（平成17年度）から令和3年度までの年度別統計

総利用者	館内利用者 (a + b + c)										館外利用者										
	展示利用者 (a)			施設利用者 (b)			館内事業・サービス利用者 (c)				イベント参加者	ウェブページ閲覧	ハブ博物館ネットワーク事業（夏休み自由研究プロジェクト）	出前授業（夏休み自由研究プロジェクト）	博士連携	県民参画事業	収集品ゆかりの地ツアー	ムジ			
	常設展示（券券数）	企画展示（券券数）	資料閲覧室利用者	施設利用者	設置	生涯学習室等利用者	講座・特別開講・講演会等利用者	エビデンス/デジタル/資料/写真撮影等	エビデンス/デジタル/資料/写真撮影等	エビデンス/デジタル/資料/写真撮影等											
17年度	143,415	114,412	98,578	66,274	32,304	10,889	6,085	1,190	3,614	4,945	1,321	92	209	2,911	180	232	433	282	151	0	28,570
18年度	221,107	149,254	124,182	92,277	31,905	16,043	7,957	3,674	4,412	9,029	2,604	263	479	5,213	345	125	1,451	195	156	1,100	70,402
19年度	208,261	126,055	105,596	66,291	39,305	13,908	7,306	3,486	3,116	6,551	1,515	219	496	3,861	240	220	4,833	166	1,317	3,350	72,373
20年度	169,893	97,551	73,419	49,634	23,785	12,461	4,754	4,262	3,445	11,671	1,649	265	549	8,613	143	452	2,781	180	1,076	1,525	69,561
21年度	233,815	145,172	119,288	59,508	59,780	13,034	4,399	6,640	1,995	12,850	3,553	330	488	7,029	231	1,219	5,194	274	3,871	1,049	83,449
22年度	231,369	145,518	112,363	56,505	55,858	17,855	4,060	11,718	2,077	15,300	2,937	83	444	11,121	188	527	3,728	141	2,670	917	82,123
23年度	200,843	112,026	90,090	49,858	40,232	12,558	3,354	6,800	2,404	9,378	2,473	276	402	4,943	166	1,118	4,658	183	3,721	754	84,159
24年度	200,181	107,246	86,695	49,341	37,354	11,120	2,983	4,769	3,368	9,431	3,003	306	427	4,633	183	879	7,110	0	6,077	1,033	85,825
25年度	213,116	121,898	101,746	57,860	43,886	10,900	4,067	4,295	2,538	9,252	1,635	422	453	5,443	468	831	7,220	0	6,350	870	83,998
26年度	200,624	109,888	92,621	47,119	45,502	9,334	3,609	3,373	2,352	7,933	1,139	278	359	5,312	364	481	5,548	0	4,740	808	85,188
27年度	252,303	155,517	135,417	57,879	77,538	11,273	4,140	5,241	1,892	8,827	1,309	306	343	5,673	396	800	5,303	0	4,434	869	91,483
28年度	202,665	97,898	75,051	41,133	33,918	9,405	2,924	4,569	1,912	13,442	2,105	335	545	9,431	287	759	10,071	0	4,327	5,744	94,696
29年度	236,110	131,264	105,822	55,118	50,704	10,563	3,191	5,818	1,554	14,879	1,190	310	728	11,604	240	807	6,646	0	4,207	2,439	98,200
30年度	221,157	111,365	89,066	45,437	43,629	11,097	3,483	5,142	2,472	11,202	1,241	818	725	7,253	400	765	8,122	0	3,862	4,260	101,670
31年度	236,880	116,491	96,081	47,775	48,306	11,173	3,200	6,117	1,856	9,237	1,602	748	729	5,072	271	815	9,486	0	4,701	4,785	110,903
2年度	148,754	36,083	31,602	20,669	10,933	2,599	67	2,240	292	1,882	185	403	102	627	278	287	1,953	0	1,953	0	110,718
3年度	228,571	78,785	69,266	34,963	34,303	6,254	1,423	4,129	702	3,265	644	240	377	1,370	470	164	2,988	0	2,988	0	146,798
計	3,544,064	1,956,423	1,606,883	897,641	709,242	190,466	67,002	83,463	40,001	159,074	30,105	5,694	7,855	100,109	4,830	10,481	87,525	1,421	56,601	29,503	1,500,116

■3年度 県立博物館利用者状況（別集計）

総利用者	館内利用者 (a + b + c)										館外利用者										
	展示利用者 (a)			施設利用者 (b)			館内事業・サービス利用者 (c)				イベント参加者	ウェブページ閲覧	ハブ博物館ネットワーク事業（夏休み自由研究プロジェクト）	出前授業（夏休み自由研究プロジェクト）	博士連携	県民参画事業	収集品ゆかりの地ツアー	ムジ			
	常設展示（券券数）	企画展示（券券数）	資料閲覧室利用者	施設利用者	設置	生涯学習室等利用者	講座・特別開講・講演会等利用者	エビデンス/デジタル/資料/写真撮影等	エビデンス/デジタル/資料/写真撮影等	エビデンス/デジタル/資料/写真撮影等											
4月	39,499	13,271	11,857	5,210	6,647	1,100	226	848	26	314	137	23	63	91	0	0	87	0	87	0	13,408
5月	23,188	10,817	9,412	4,749	4,663	1,130	152	823	155	275	140	19	37	79	0	0	160	0	160	0	12,211
6月	14,066	2,176	1,776	1,776	0	262	0	178	84	138	44	25	29	40	0	0	645	0	645	0	11,245
7月	43,210	19,089	17,996	6,886	11,110	914	293	487	134	179	47	24	30	78	0	0	380	0	380	0	23,741
8月	27,720	5,438	5,049	1,898	3,151	356	115	231	10	33	0	8	16	9	0	0	0	0	0	0	22,282
9月	12,506	909	737	737	0	73	0	55	18	99	23	21	23	32	0	0	778	0	0	0	10,819
10月	21,816	9,512	8,127	4,200	3,927	662	172	446	44	723	80	18	49	106	470	0	1,010	0	1,010	0	11,294
11月	19,850	9,606	8,088	4,181	3,907	1,072	195	768	109	446	112	30	42	98	0	164	511	0	511	0	9,733
12月	7,259	1,502	1,272	1,272	0	154	55	33	66	76	0	22	18	36	0	0	3	0	3	0	5,754
1月	12,103	2,275	1,412	1,412	0	161	67	76	18	702	0	15	21	666	0	0	172	0	172	0	9,656
2月	8,886	1,464	1,199	1,199	0	191	68	94	29	74	19	15	25	15	0	0	20	0	20	0	7,402
3月	11,979	2,726	2,341	1,443	898	179	80	90	9	206	42	20	24	120	0	0	0	0	0	0	9,253
計	228,571	78,785	69,266	34,963	34,303	6,254	1,423	4,129	702	3,265	644	240	377	1,370	470	164	2,988	0	2,988	0	146,798

## 第2章 調査・研究

令和3年度における県立博物館の調査・研究は、外部資金である日本学術振興会科学研究費助成事業（科研費）によるものとして前年度より継続して行われている2件とともに（「動物考古資料の食餌推定に基づく飼養化個体判別法の構築」[若手研究]、「地域に残る写真の保存・活用に関する調査研究」[若手研究]）、新規に2件が採択された（「近世造仏聖の造像意識に関する基礎的研究」[基盤研究C]、「無形民俗文化財の活用及び教材化と『博・学・地域連携』の手法に関する実践的研究」[基盤研究C]）。

県費による調査・研究としては、総合調査・研究「日韓における博物館資料の調査・記録・展示手法に関する比較研究」（～令和6年度）を実施、共同調査・研究のうち「近代以降の『甲斐絹』の生産やデザイン・技法に関する基礎的研究」が最終年度を迎え、「富士川舟運に関する基礎的研究」（～令和4年度）を実施した。

各博物館職員がそれぞれの専門分野で行った個別調査・研究の成果については、『山梨県立博物館研究紀要』第16集のほか、関連する学術雑誌などで発表された。

### (1) 外部資金による調査・研究

#### ①科学研究費補助金 基盤研究（C）「近世造仏聖の造像意識に関する基礎的研究」

（課題番号 21K00160）

##### ■調査・研究の目的

甲斐出身の江戸時代後期の木食僧・木喰行道（五行、明満）は、現存作例が700体を越える、作仏聖としてよく知られる。木喰は諸尊のほか自らの姿を写し取った「自身像」を多く制作しているが、その造形は仏の聖性の指標である「頭光」を表すとともに、後年は他の尊像とともに群像中に安置するに至った。こうしたことから、木喰行道の「自身像」の制作背景を明らかにすることは、当時の造仏を専らとした作仏聖が信仰の対象である「仏」と自身との間にどのような関係性を構築していたかを明らかにすることにつながると思われる。本研究では、木喰行道の「自身像」の造形的特色の変遷に着目して、作仏聖が抱いていた「仏」と「自身」と関係性に関する意識について明らかにしていく事を目的とする。

##### ■研究体制

研究代表者 近藤暁子（学芸員）

##### ■活動記録

- ・調査に先立つ情報収集、情報整理を進めた。

##### ■活動内容と成果

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により現地調査が滞った。今後は情報収集・情報整理をもとに、積極的な現地調査を行っていくこととしたい。

#### ②科学研究費補助金 基盤研究（C）共同調査・研究「無形民俗文化財の活用及び教材化と『博・学・地域連携』の手法に関する実践的研究」

（課題番号 21K01013）

##### ■調査・研究の目的

博物館における無形民俗文化財の活用・教材化に対する取組みは、日常的な博物館活動のなかで「地域連携」「博学連携」として実践されているが、その教材化や「博学連携」の手法についての議論を積極的に行ってこなかった。また、収集した無形民俗文化財に関する資料・情報の活用と公開に対する要請は高まっているが、この研究にも積極的ではなかった。本研究では、博物館活動において無形民俗文化財を取扱うための課題を把握し、資料・情報の活用と教材化の手法や効果の検討を通じて「博・学・地域連携」

のあり方を構築し、その連携における地域博物館の役割を考察する。

#### ■県立博物館担当職員

丸尾依子（学芸員）

#### ■活動記録

- ・令和3年4月～8月、10月～12月 天津司舞をはじめとした県内民俗芸能に関する調査研究と、学校提供用教材の整理

#### ■活動内容と成果

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、当初予定した活動は中止せざるを得なかった。しかし、県内学校からの教材提供や出前授業の要請を受け、学校にねらいの聞取りを行ったうえで、教材提供および出前授業を実施した。その際、教材とする関係画像と情報の公開や、児童・生徒からの質問事項について伝承者との連絡調整を行い三者の協働に努めた。

### ③科学研究費助成基金助成金 若手研究「遺跡出土動物の生態学的・形態学的分析に基づく新たな動物利用文化史観の創出」（課題番号 19K13425）

#### ■調査・研究の目的

本研究は、(a) 琉球列島で家畜の飼養が開始された地域と時代、(b) 飼料や給餌方法にみられる地域差、(c) 琉球列島内に家畜が伝播した経路、の三点を明らかにする。

このうち項目(a)は、野生種とされてきた出土資料の歯に残された微細な傷の立体形状を計測し、ヒトに飼養された個体の特徴がみられる資料を探索する。また項目(b)では、遺跡から出土した「ブタ」の歯の表面に残された磨耗痕を、現在の放牧個体と屋内飼育個体それぞれと比較し、各時代の動物飼育方式を明らかにする。さらに項目(c)では各遺跡から出土したイノシシ類の歯がもつ形態学的類似性と島間の交流を比較検討する。

#### ■研究体制

研究代表者 山田英佑（学芸員）

#### ■活動記録

- ・令和3年12月15日（水）、16日（木）  
調査対象資料（現生イヌ科頭骨標本）の写真撮影（国立科学博物館）
- ・令和3年12月17日（金）  
調査対象資料（現生イヌ科頭骨標本）の写真撮影（東京大学総合研究博物館）

#### ■活動内容と成果

今年度は、前年度に引き続きこれまでに蓄積したデータの解析と考察に力点をおいて研究を進めた。その結果、当初計画で挙げた「家畜化の開始時期」と「家畜の交易ルート」の解明が大きく前進し、その成果を国際誌上で発表、議論を喚起することができた。さらに当初計画のあったもうひとつのテーマ「家畜利用の地域差」を解明する重要性が再認識されるとともに、対象動物を拡大した新たな研究の展開が期待された。

### ④科学研究費補助金 若手研究「地域に残る写真の保存と活用に関する研究」

（課題番号 20K13256）

#### ■調査・研究の目的

近年、博物館に古い写真の紙焼きやフィルムが持ち込まれる事例が増えている。21世紀に入りデジタルカメラが普及するまでは、フィルムは日用品として膨大な量が流通しており、現在でも多くの紙焼き写真

やフィルムが一般家庭や各施設に残っていると考えられる。日用品であり、思い出を記録するもの、アート作品として扱われることが多い写真は、一般的に歴史資料としての認識は少なく、博物館に持ち込まれるものは、ほんの一部であると考えられる。歴史資料として価値のある写真はどれくらい残っているのだろうか。本研究では、地域に残る写真の保存・活用に関する基礎データの取得を目的として、一般家庭や施設に所在する山梨県の歴史・文化・風景に関する情報を含む写真の紙焼きやフィルムの①現状調査および②デジタル化をおこない、③被写体情報の収集や④デジタルデータの活用方法の検討を行う。

■研究体制

研究代表者 西願麻以（学芸員）

■活動記録

・令和2年4月～（継続中）紙焼き写真およびフィルムの情報収集・調査・デジタル化

■活動内容と成果

本年度は、昨年度、現地調査を実施した資料の詳細な調査およびデジタル化を中心に進めた。特に個人宅に所蔵されていたフィルム（昭和30年代及び前後・県内カメラマン撮影・数千枚）のデジタル化を進めた。

(2) 県費による調査・研究

①総合調査・研究「日韓における博物館資料の調査・記録・展示手法に関する比較研究」

■調査・研究の目的

当館は平成20年より大韓民国・国立清州博物館との学術研究交流協定を締結しており、平成25年12月からは2期目3年間を迎えた。本研究では交流協定をより実りあるものとするために、当館学芸員の韓国への派遣と清州博物館研究員の招聘をおこなう。交流事業の目的は第一に各学芸員の調査研究テーマを新たな視点で進展させることである。第二に日韓両国の博物館資料の調査記録と展示手法に関する比較を通じて、双方の博物館活動を充実させることである。

■県立博物館担当職員

森原明廣（学芸幹）、海老沼真治（学芸員）ほか

■活動内容と成果

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度は韓国・国立清州博物館研究員の招聘及び県立博物館職員の派遣は実施しなかった。

②共同調査・研究「近代以降の『甲斐絹』の生産やデザイン・技法に関する基礎的研究」

■県立博物館担当職員

丸尾依子（学芸員）、西願麻以（学芸員）

■活動記録

- ・令和3年 甲斐絹に関する所蔵情報の調査の継続
- ・令和3年10月22日（金）、27日（水）、11月1日（月）、4日（木）、8日（月）、11日（木）
- 富士技術支援センター所蔵甲斐絹はぎれ調査および撮影
- ・令和4年3月31日（木）

山梨県立博物館 調査・研究報告15『近代以降の甲斐絹の生産・デザイン・技法に関する基礎的研究』刊行



報告書

**■活動内容と成果**

「甲斐絹」についての基礎的な情報整理を行うため、令和2年度に引き続き、県内外における所蔵状況の調査を実施し、調査研究報告書を刊行した。

**③共同調査・研究「富士川舟運に関する基礎的研究」****■県立博物館担当職員**

中野賢治（学芸員）

**■活動記録**

- ・富士川舟運に関する文献、先行研究の調査

**■活動内容と成果**

富士川舟運（水運）についての基礎的な情報整理を目的とし、県内外における資料所蔵機関での実見調査を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、館外での調査が困難な状況にある。そのため、館蔵資料を中心に、先行研究など必要な情報を整理している。



## (3) 個別調査・研究

## ①調査・研究活動

年 月 日	内 容	担当職員
令和3年4月4日(日)	笛吹市個人宅 所蔵資料の調査	中野 賢治
令和3年4月4日(日)	天津司神社(甲府市) 祭礼調査	丸尾 依子
令和3年4月8日(木)	甲州市個人宅 所蔵資料の調査	中野 賢治 松田美沙子
令和3年4月9日(金)	笛吹市個人宅 所蔵資料の調査	中野 賢治
令和3年4月11日(日)	甲斐市個人宅 所蔵資料の調査	中野 賢治
令和3年4月15日(木)	山梨中銀金融資料館(甲府市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和3年4月19日(月)	遠光寺(甲府市) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和3年4月21日(水)	南アルプス市立美術館 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 松田美沙子
令和3年4月23日(金)	京都府古美術商 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和3年4月24日(土)・25日(日)	金櫻神社(甲府市) 太々神楽調査	丸尾 依子
令和3年4月26日(月)	身延町中之倉区 所蔵資料の調査	中野 賢治 西願 麻以
令和3年4月28日(水)	北山本門寺(静岡県) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和3年5月2日(日)	下黒平能三番(甲府市) 調査	丸尾 依子
令和3年5月4日(火・祝)	上黒平能三番(甲府市) 調査	丸尾 依子
令和3年5月11日(火)	恵林寺(甲州市) 所蔵資料の調査	近藤 暁子 西願 麻以
令和3年5月14日(金)	車返結社(静岡県) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和3年5月28日(金)	穴切神社(甲府市) 絵馬調査	丸尾 依子
令和3年6月3日(木)	樋澤坊(身延町) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和3年6月4日(金)	内船寺(南部町) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和3年6月7日(月)	富士御室浅間神社(富士河口湖町) 所蔵資料の調査	中野 賢治
令和3年6月8日(火)	立正寺(甲州市) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和3年6月10日(木)	東京国立博物館 寄託資料の調査	近藤 暁子
令和3年6月10日(木)	身延山大学図書館 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和3年6月11日(金)	身延山宝物館 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和3年6月13日(日)	妙法寺(富士川町) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和3年6月16日(水)	身延町歴史民俗資料館 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和3年6月17日(木)	常在寺(富士河口湖町) 所蔵資料の調査	中野 賢治
令和3年6月18日(金)	本遠寺(身延町) 所蔵資料の調査	海老沼真治 中野 賢治
令和3年6月21日(月)	穴切神社(甲府市) 絵馬調査	丸尾 依子
令和3年7月1日(木)	金櫻神社(甲府市) 祭礼調査	丸尾 依子
令和3年7月19日(月)	山梨市個人宅 民家調査	丸尾 依子
令和3年7月26日(月)	身延山宝物館 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和3年7月30日(金)	大町市教育委員会 武田氏関係資料調査	森原 明廣 海老沼真治
令和3年9月3日(金)	昭和測量株式会社(旧松亭・甲府市) 建築および所蔵資料の調査	小畑 茂雄 中野 賢治 松田美沙子 西願 麻以
令和3年9月10日(金)	富士川町教育委員会・南部町立美術館 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和3年9月16日(木)	笛吹市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和3年9月18日(土)	遠光寺(甲府市) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和3年9月22日(水)	本国寺(身延町) 所蔵資料の調査	近藤 暁子
令和3年9月22日(水)	富士川町教育委員会・南部町立美術館 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和3年10月4日(月)	シャトー・メルシャン ワイン資料館(甲州市)・南アルプス市個人宅・北杜市教育委員会 所蔵資料の調査	小畑 茂雄

令和3年10月14日(木)	富士山かぐや姫ミュージアム(静岡県) 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和3年10月22日(金)	富士技術支援センター 所蔵資料の調査	丸尾 依子 西願 麻以
令和3年10月22日(金)	甲府市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和3年10月27日(水)	富士技術支援センター 所蔵資料の調査	丸尾 依子 西願 麻以
令和3年10月28日(木)	甲州市個人宅 所蔵資料の調査	丸尾 依子
令和3年11月1日(月)	富士技術支援センター 所蔵資料の調査	丸尾 依子 西願 麻以
令和3年11月4日(木)	富士技術支援センター 所蔵資料の調査	丸尾 依子 西願 麻以
令和3年11月5日(金)	小瀬公民館(甲府市) 天津司舞用具調査	丸尾 依子
令和3年11月6日(土)	下黒平能三番(甲府市) 用具調査	丸尾 依子
令和3年11月7日(日)	甲府市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 中野 賢治 松田美沙子
令和3年11月8日(月)	富士技術支援センター 所蔵資料の調査	丸尾 依子 西願 麻以
令和3年11月11日(木)	富士技術支援センター 所蔵資料の調査	丸尾 依子 西願 麻以
令和3年11月12日(金)	南アルプス市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 中野 賢治 西願 麻以
令和3年11月12日(金)	南アルプス市個人宅 建築および所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和3年11月21日(日)	武田神社(甲府市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 西願 麻以
令和3年11月22日(月)	金龍寺(身延町) 所蔵資料の調査	近藤 暁子
令和3年11月27日(土)	一之瀬高橋の春駒(甲州市) 調査	丸尾 依子
令和3年11月29日(月)	山梨市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和3年12月3日(金)	山梨市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和3年12月12日(日)	甲府市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 中野 賢治
令和3年12月13日(月)	甲府市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 海老沼真治
令和3年12月13日(月)	信立寺(甲府市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 海老沼真治
令和3年12月16日(木)	南アルプス市個人宅 建築および所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和3年12月22日(水)	金櫻神社(甲府市) 所蔵資料の調査	近藤 暁子 丸尾 依子
令和3年12月23日(木)	市川三郷町個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 中野 賢治 西願 麻以
令和4年1月6日(木)	笛吹市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和4年1月23日(日)	甲府市個人宅 所蔵資料の調査	森原 明廣 中野 賢治
令和4年2月1日(火)	北杜市高根町 水源地(史跡)の調査	小畑 茂雄
令和4年2月19日(土)	天津司神社(甲府市) 所蔵資料の調査	丸尾 依子 中野 賢治
令和4年2月21日(月)	ポール・ラッシュ記念館(北杜市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和4年2月23日(水・祝)	甲府市藤村記念館 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和4年3月2日(水)	身延山宝物館 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和4年3月10日(木)	甲府市藤村記念館 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和4年3月15日(火)	恵林寺(甲州市) 所蔵資料の調査	西願 麻以
令和4年3月18日(金)	山梨日日新聞社(甲府市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和4年3月18日(金)	ポール・ラッシュ記念館(北杜市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和4年3月23日(水)	南アルプス市ふるさと文化伝承館・南アルプス市美術館 所蔵資料の調査	松田美沙子

(4) 調査・研究成果の公表

① 博物館主催シンポジウム・講演会における職員の発表

第Ⅱ編第5章(1)を参照

② 博物館職員の調査・研究実績

■ 論文・調査報告など

氏名	名称	掲載誌名	学会(発行者)	発行年月日
森原 明廣	コロナ禍が地域の学会活動に及ぼす影響の多面性を考える	一般社団法人日本考古学協会公式サイトコラム「コロナ禍の考古学」	日本考古学協会	令和3年7月1日
森原 明廣	博物館所蔵資料の保存と活用のジレンマ—その解消方法の一つとしての高精細デジタル化とその先—	「Digita×北斎」	NTT出版事業部	令和4年2月
近藤 暁子	山梨県(忍草浅間神社、美和神社、福王寺、上宮地八幡神社)	「神像彫刻重要資料集成」【第一巻】東日本編	国書刊行会	令和3年10月25日
近藤 暁子	御嶽昇仙峡の信仰に関わる文化財 美術作品を中心に	「御嶽昇仙峡—御嶽昇仙峡の「文化遺産」に関する学術調査報告書—」	昇仙峡地域活性化推進協議会事務局	令和4年2月
小畑 茂雄	北海道「北村」建設と北村雄治・亀・謹兄弟の軌跡—南アルプス市ふるさと人物室 第10回展示 拓ひらく—に寄せて	「山梨県立博物館研究紀要」第16集	山梨県立博物館	令和4年3月31日
小畑 茂雄	山梨のおいしい水とまずい水	「山梨県立博物館研究紀要」第16集	山梨県立博物館	令和4年3月31日
小畑 茂雄	こうふ開府500年記念事業リレーフォーラム2020 現代	「こうふ開府500年記念事業リレーフォーラム2020 現代」	こうふ開府500年記念事業実行委員会	令和4年3月
小畑 茂雄	【報告要旨】新型コロナウイルス感染症関係資料の収集について	「地方史研究」第415号	地方史研究協議会	令和4年2月
丸尾 依子	山梨の雨乞い習俗についての覚書き—強請祈願による雨乞いを中心に—	「山梨県立博物館研究紀要」第16集	山梨県立博物館	令和4年3月31日
丸尾 依子	金櫻神社周辺地域の民俗文化	「御嶽昇仙峡—御嶽昇仙峡の「文化遺産」に関する学術調査報告書—」	昇仙峡地域活性化推進協議会事務局	令和4年2月
丸尾 依子	ふるさとの熱狂をもう一度—一瀬高橋の春駒—	「文部科学教育通信」No.523	教育新社	令和4年1月10日
丸尾 依子 西願 麻以	山梨県立博物館 調査・研究報告15 近代以降の甲斐絹の生産やデザイン・技法に関する基礎的研究	「山梨県立博物館 調査・研究報告」15	山梨県立博物館	令和4年3月31日
海老沼真治	武田・徳川氏の今川領国侵攻過程—身延文庫「科註拾塵抄」奥書の検討から—	柴裕之編著「シリーズ織豊大名の研究10 徳川家康」	戎光祥出版	令和4年1月7日
海老沼真治	《史料紹介》遠光寺所蔵「桃井将監宛武田勝頼判物」	「武田氏研究」第65号	武田氏研究会	令和4年3月1日
海老沼真治	《資料紹介》「武田信玄の生涯展」展示資料の法量詳細	「山梨県立博物館研究紀要」第16集	山梨県立博物館	令和4年3月31日
中野 賢治	祖父村松岳佐種痘記念録	「史料・中部日本の種痘」	佐賀大学地域学歴史文化研究センター	令和3年6月
中野 賢治	甲府徳川家の寺社政策と祭礼復興	「山梨県立博物館研究紀要」第16集	山梨県立博物館	令和4年3月31日
中野 賢治 海老沼真治 小畑 茂雄 亀井 大輔 小林 可奈 堀内 亨 宮澤富美恵 村松 昌蒲 山本 倫弘	《資料紹介》「寛政七年卯十一月十三日より 会所日記」(山梨県立博物館所蔵 十一屋野口家資料のうち)	「山梨県立博物館研究紀要」第16集	山梨県立博物館	令和4年3月31日
中野 賢治	尼子家の「御一家再興」戦争と山中幸盛	「しまねの古代文化」	島根県古代文化センター	令和4年3月31日
松田美沙子	蘭字粹風景画—英泉作品における洋風表現の在り方を考える—	「哲学」第148集	日本哲学会	令和3年10月23日
松田美沙子	資料紹介「自我物語図屏風」	「山梨県立博物館研究紀要」第16集	山梨県立博物館	令和4年3月31日
西願 麻以	ヨゲンノトリ関連資料の収集について	「山梨県立博物館研究紀要」第16集	山梨県立博物館	令和4年3月31日
Eisuke Yamada, Hitomi Hongo, Hideki Endo	Analyzing historic human-suid relationships through dental microwear texture and geometric morphometric analyses of archaeological suid teeth in the Ryukyu Islands	Journal of Archaeological Science	Elsevier	August 2021

## ■講演・シンポジウムなど

氏名	名称	シンポジウム名・学会名	場所	開催年月日
森原 明廣	地域の歴史・文化的価値をどう活かすかー文化財の保護と活用の両立に向けてー	山梨県立大学「山梨の政策課題」講演	山梨県立大学	令和3年5月6日
森原 明廣	山梨の歴史・文化ー観光振興に役立つ山梨県立博物館の楽しみ方講座ー	山梨県立大学「山梨の観光」講演	山梨県立大学	令和3年5月20日
森原 明廣	山梨の歴史ー富士山から見た山梨の歴史	山梨ことぶき勸学院南都留教室1年生講義	南都留合同庁舎	令和3年6月8日
森原 明廣	地域資源の保全と活用ー山梨の文化財保護・活用の現状と課題ー	山梨県立大学「観光高度化人材育成プログラム」講演	山梨県立大学	令和3年6月9日
森原 明廣	博物館・文化財と学校教育ーこれからの「博学連携」を考えるためにー	甲府教育協議会中学校部会研修会講演	山梨県立博物館	令和3年8月2日
森原 明廣	山梨の歴史ー富士山から見た山梨の歴史ー	山梨ことぶき勸学院南甲府教室1年生講義	山梨ことぶき勸学院	令和3年8月3日
森原 明廣	「やまなし歴史の道」ー山梨の魅力を伝えるためにー	やまなし歴史の道ツーリズム推進事業研修会講演	山梨県立図書館	令和3年10月15日
森原 明廣	山梨の歴史ー富士山から見た山梨の歴史ー	山梨ことぶき勸学院峡南教室1年生講義	峡南合同庁舎	令和3年11月2日
森原 明廣	生誕500年 武田信玄の生涯ー山梨県人に引き継がれる信玄の心ー	山梨県人会連合会総会記念講演	東京・京王プラザホテル	令和3年11月2日
森原 明廣	山梨地域課題特論ー山梨県の文化資源の特色とその活用ー	山梨大学「山梨地域課題プログラム」講演	山梨県立博物館	令和3年11月12日
森原 明廣	山梨の海の関わりを学ぼう	日本財団「海と日本プロジェクトinやまなし」講演	山梨県立博物館	令和3年11月13日
森原 明廣	コロナ禍における博物館実習を考えるー実りある博物館実習を続けるためにー	全国大学博物館学講座協議会東日本部会大会記念講演	駒澤大学博物館	令和3年12月11日
森原 明廣	山梨の歴史ー富士山から見た山梨の歴史ー	山梨ことぶき勸学院南甲府教室1年生講義	山梨ことぶき勸学院	令和4年1月11日
近藤 暁子	武田不動尊にみる信玄公の信仰	山梨学講座「生誕500年 武田信玄と信仰 第3回」	山梨県生涯学習推進センター	令和3年11月10日
小畑 茂雄	若尾逸平の鉄道事業	かいじあむ講座	山梨県立博物館	令和3年5月23日
小畑 茂雄	山梨の近代化と文化	山梨学講座	山梨英和大学	令和3年6月21日
小畑 茂雄	明治40年の大水害と北海道移住	研修会	山梨県地質調査事業協同組合	令和3年6月25日
小畑 茂雄	伝記資料にみる若尾逸平像の再構築	かいじあむ講座	山梨県立博物館	令和3年6月27日
小畑 茂雄	山梨の近代を築いた人々（渋沢栄一と山梨の人々）	甲府市青少年ジュニアリーダー研修会	青少年育成甲府市民会議	令和3年7月4日
小畑 茂雄	山梨の水資源について考える	社会人基礎力育成講座II	山梨学院短期大学	令和3年7月15日
小畑 茂雄	渋沢栄一と山梨の人々	教育普及講座	山梨近代人物館	令和3年7月18日
小畑 茂雄	渋沢栄一の功績と山梨との関わり	リニア中央新幹線建設促進山梨県経済団体協議会定期総会講演会	甲府商工会議所	令和3年7月27日
小畑 茂雄	新型コロナウイルス感染症関係資料の収集について	地方史研究協議会文書問題検討委員会シンポジウム	地方史研究協議会	令和3年9月18日
小畑 茂雄	戦後の甲府の街づくりと災害	こうふ開府500年記念事業 リレーフォーラム2020現代	こうふ開府500年記念事業実行委員会	令和3年10月3日
小畑 茂雄	渋沢栄一と山梨の人々	創立記念総会記念講演	甲府商工会議所	令和3年10月13日
小畑 茂雄	渋沢栄一の功績と山梨との関わり	卸売商業部会定例会	甲府商工会議所	令和3年10月14日
小畑 茂雄	わたしたちのまちの先駆者たちー南アルプス・峡南地域ー	教育普及講座	山梨近代人物館	令和3年10月23日
小畑 茂雄	山梨から北海道へー水害団体移住と北村兄弟の軌跡ー	南アルプス市ふるさと人物室第10回展示「拓ーひらくー北村雄治」講演会	南アルプス市立図書館	令和3年10月30日
小畑 茂雄	「甲州文庫」の魅力と功刀亀内	山梨学講座「郷土を築いた人々」	山梨県生涯学習推進センター・山梨近代人物館	令和3年11月8日
小畑 茂雄	若尾逸平の功績と素顔	山梨学講座「郷土を築いた人々」	山梨県生涯学習推進センター・山梨近代人物館	令和3年11月22日
小畑 茂雄	山梨の交通史ー中央線・身延線・ボロ電と昭和町ー	昭和町の歴史講座	昭和町教育委員会	令和4年3月24日
丸尾 依子	甲府城下の年中行事	甲府歴史講座	甲府市民会館	令和3年6月30日
丸尾 依子	「追分の人形芝居」解説	笹子追分人形芝居DVD	大月市文化資源活用推進協議会	令和4年1月13日
海老沼真治	生誕500年 武田信玄	西宮市立西宮東高等学校 2021年度木曜講座 第6回	なるお文化ホール	令和3年10月28日
中野 賢治	書状からみる武田家と信玄	笛吹市市民講座	春日居あぐり情報ステーション	令和3年7月8日
中野 賢治	武田信玄の「遺産」とその実像ー信玄堤と御幸祭ー	山梨県公共図書館協会地域資料研究部会研究会	県立図書館	令和3年12月15日
中野 賢治	江戸時代甲斐国の医者と医術ー地域の医療ネットワークー	甲府歴史講座	甲府市総合市民会館	令和4年1月21日
松田美沙子	絵画で語り継がれる武田信玄	かいじあむ講座	山梨県立博物館	令和3年5月2日
松田美沙子	絵画で語り継がれる武田信玄ー生誕500年	山梨学講座	山梨英和大学	令和3年6月7日
松田美沙子	錦絵に見る甲斐国	山梨郷土研究会 令和3年度第3回研究例会	帝京大学文化財研究所	令和3年12月4日
西願 麻以 反保 元伸 他	負ミュオンによる日本古銭の深さ方向における元素濃度分布測定	日本物理学会2021年秋季大会	オンライン開催	令和3年9月21日

■ 県立博物館館内研究会

令和3年度はなし

③ 刊行物

名 称	発 刊 日	体 裁
開館15周年記念特別展「生誕500年 武田信玄の生涯」展示図録	令和3年3月13日	A4変形版、154頁
企画展「特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～」展示図録	令和3年7月10日	A4版、8頁
企画展「特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～」公式パンフレット	令和3年7月10日	A4版、191頁
企画展「日蓮聖人と法華文化」展示図録	令和4年1月22日	A4版、4頁
シンボル展「生誕200年 若尾逸平」リーフレット	令和3年5月22日	A4版、8頁
シンボル展「曾我物語図屏風」リーフレット	令和4年1月22日	A4版、4頁
『山梨県立博物館研究紀要』第16集	令和4年3月31日	A4版、108頁
山梨県立博物館 調査・研究報告15『近代以降の甲斐絹の生産・デザイン・技法に関する基礎的研究』	令和4年3月31日	A4版、65頁

## 第3章 資料の収集・保管・活用

### (1) 資料収集の方針

#### ①資料収集の方針

山梨県立博物館における資料収集は、博物館の基本テーマである「山梨の自然と人」に関わるものを中心とする（山梨県立博物館の資料収集及び資料・情報の活用に関する要綱）。具体的には、以下の性格を有する資料を収集の対象とする。

- ①絵画、彫刻、工芸品、書籍、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で山梨県にとって歴史上または芸術上価値の高いもの並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料。
- ②衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能及びこれらに用いられる衣服、器具、その他の物件で県民の生活推移の理解のために欠くことのできないもの。
- ③言葉、音楽、民間伝承、工芸技術等の無形のもので山梨県の文化の理解に欠くことのできないもの。
- ④動物、植物及び地質鉱物で山梨県にとって前の項目と深い関わりのあるもの。

収集の対象とする資料のうち、その収集が困難なものについては、当該資料に係る模型、模造、模写、複製若しくは当該資料に関する図書、文献、調査資料その他必要な資料を収集することとしている。

収集にあたっては、上記要綱のほか「山梨県立博物館の資料収集に関する要領」に従って収集を進めている。

#### ②資料・情報委員会

資料の収集の適否等について審議し、収集した資料、情報の活用について協議する「資料・情報委員会」を設置、開催している。

委員会は、8名の委員により構成されており、歴史、考古、民俗、美術工芸、情報工学等に関する高度な専門的知見を有する者の中から、知事が委嘱する。

#### ■資料・情報委員会委員名簿（五十音順、敬称略）

資料・情報委員会委員

氏 名	職 名	専門分野
新 井 勝 紘	元専修大学教授	近現代史
黒 田 基 樹	駿河台大学教授	中世史
小 島 孝 夫	成城大学教授	民俗学
鈴 木 卓 治	国立歴史民俗博物館教授	情報工学
鈴 木 麻 里 子	甲府市文化財審議委員	美術史
内 藤 正 人	慶應義塾大学教授	美術史
新 津 健	元山梨県埋蔵文化財センター所長	考古学
西 村 慎 太 郎	国文学研究資料館准教授	近世史

#### ■令和3年度の資料情報委員会開催状況

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、委員会は2回とも書面評決で開催した。

- ・令和3年9月 第33回委員会を開催  
8件の収集候補資料を審議した。
- ・令和4年3月 第34回委員会を開催  
15件の収集候補資料を審議した。



## (2) 資料の収集

令和3年度に収集した資料は、次表の通りである。

### ■購入

	資料名	特徴	制作期	員数
1	あみだによらいぞう ほうべんほっしんそんぞう 阿弥陀如来像 (方便法身尊像)	紺色の地に48条の光明を放ち、蓮華座の上に立つ阿弥陀如来の絵像。山梨県の等力山万福寺由来のものと考えられる。	大永2年(1522)	1幅
2	たけだかつよりしよじょう 武田勝頼書状 (正月17日付、一宮新太郎宛)	上野国貫前神社の一宮新太郎が年頭の祈禱を行ったことに対し、返礼として太刀を贈るなどと伝えた武田勝頼の書状。	戦国時代 (天正8~10年)	1点
3	げんべいせいすいき なかざわねんしやうひつ 源平盛衰記 中澤年章筆	中澤年章は山梨県出身の浮世絵師で月岡芳年に師事した。本作は生田の森の戦いで、源氏方の梶原源太景季が籠に梅の花を挿して戦っていたという伝承が題材となっている。	明治30年(1897)	大判 3枚続
4	にちれんしやうほんえいのず なかざわねんしやうひつ 日蓮宗繁栄之図 中澤年章筆	中澤年章は山梨県出身の浮世絵師で月岡芳年に師事した。本作は日宗生命保険株式会社の開業を記念して、明治29年に刊行されたもの。	明治29年 (1896)11月	大判 3枚続
5	かいきまがらみほん 甲斐絹絵柄見本	絵甲斐絹の染め柄の見本を印刷した冊子。甲斐絹生産における受発注のあり方や、意匠の展開をうかがうことができる資料である。	明治時代か	1冊
6	やまなしけんげいばいかいせんべんしりやう 山梨県競馬会戦前資料	山梨県内で行われた地方競馬に関する資料。市川競馬会投票券、新設富士納涼競馬会チラシ、皷沢競馬番組表、競馬会出馬登録申込書、馬匹組込表、競馬会葉書によって構成される。	昭和時代初期	20点
7	ぎやうばかいしあんない 牛馬開市案内チラシ	秋田村、新富村、小淵沢の牛馬市の案内チラシ。農業における動力として家畜が重用されていたことを物語る資料のひとつである。	明治時代~ 大正時代	4点
8	やまなしけんようさんしちやうまくしやうひやう 山梨県養蚕紙張幕商標	養蚕業において温育を行う際に使用する紙張幕の商標。繭や桑葉だけでなく、猫や富士山が描かれており、養蚕における信仰を反映したデザインとなっている。	昭和時代初期か	1点

### ■寄贈

	資料名	特徴	制作期	員数
1	もくじきしやうにんさく もくちやうぶつ こうしゆ 『木喰上人作 木彫仏』甲種	柳宗悦らが編集・刊行した木喰仏の写真集。300冊刊行された「甲種」(洋式製本版)のうち136番。	大正14年 (1925)	1冊
2	ながいけもんじょ 永井家文書	明治・大正期に甲府新紺屋町に居住していた永井家に伝来した資料。	江戸~昭和時代 (19~20世紀)	165点
3	わにぐち 罎口	中央に八弁の撞座があり、周縁及びその内面を二区に区切った罎口。それぞれの区内に銘文刻出されており、それにより山梨群三日市場村(現甲州市)十王堂に伝来したものと推察される。	室町時代以降	1口
4	くりあいはらいしほらけもんじょ 栗合村石原家文書	八代郡栗合村(笛吹市御坂町栗合)で名主を務めた石原家に伝わる古文書群。近世の年貢割付状や近代の地券など、土地・租税関係の資料が中心に残される。	江戸~近現代	122点
5	とどろきむらかねまるけしりやう 等々力村金丸家資料	山梨郡等々力村(甲州市勝沼町等々力)の金丸家に伝わる資料。同家の家相図・屋敷図・地籍図などがある。	江戸~近現代	5点
6	あさかわけしりやう 浅川家資料	浅川家に伝来した資料。献金・献納品の領収書や「妙法結社」の関連資料、将棋免許状と系図などからなる。	江戸時代	10点
7	こいけまいにじしやうしやうしりやう 小池英二氏収集資料	小池氏やその祖父が入手したもののというが、伝来は不明。内容から、竜王村の興石沖右衛門家資料の一部ではないかと考えられる。三代広重の「東海名所改正五十三駅」が揃いで残されている。	江戸~近代	11点
8	かんこう せん か がみ のぼりばた 観光ぶどう園の掛け紙と幟旗	戦後から昭和時代半ばにかけて、甲府の愛宕町において経営された観光ぶどう園で使用された掛け紙と幟旗である。掛け紙には、甲州ぶどうの食べ方が書かれている。	昭和時代	2点

## ■ 寄託

	資料名	特徴	制作期	員数
1	べんごいてんによまんだらほんぎ 弁財天女曼荼羅版木 (山梨県指定文化財)	蓮華座に坐した八臂の弁財天女像を中心に、その周囲に九軀の神像や童子たちを配する。最下部には川が表現され、向かって右に米俵を積んだ船が、向かって左に馬や牛が表される。板の上下に銘文が刻まれており、それにより文明12年(1480)に制作されたものとみられる。	文明12年(1480)	1面
2	さどつじけもんじょ 佐渡辻家文書	甲斐国出身で三枝氏一族との由緒を持ち、江戸時代前期に佐渡へ移って佐渡奉行所の役人を務めた辻家に伝わる古文書。	戦国～江戸時代	8点
3	みっかいちばこじまけもんじょ 三日市場小島家文書	恵林寺(甲州市)の門前で大工を務めていた小島家に伝わる古文書。徳川家奉行連署状と小島家の先祖書の2点。	連署状:天正13年(1585) 先祖書:江戸時代後期(19世紀)	2点
4	くつまけもんじょ 沓間家文書	国分村(現笛吹市)の名主沓間家に伝わった古文書。『山梨県史』編纂時に調査・整理が行われている。	江戸～明治時代	117点
5	しゃかによらいごどう 釈迦如来坐像	本国寺本堂に安置される、一尊四菩薩像の中尊。衣の質感や、繊細な指の表現などに写実的な特色が見られ、鎌倉時代に遡る制作と考えられている。	鎌倉時代(13～14世紀)	1軀
6	けい 馨 (山梨県指定文化財)	表裏両面とも、中央に八葉複弁の撞座を表し、左右に孔雀文様を配する。比較的厚く作られ、精緻で剛健な技法などから南北朝時代の作と考えられている。本国寺への伝来は不詳ながら、山梨県内に伝わる馨の古例として県の文化財指定を受けている。	南北朝時代(14世紀)	1面
7	てんづし まい しょうどく さいれいよう 天津司の舞の装束および祭礼用 のぼりまく いっしき 幟・幕 一式	昭和30年代まで使用されていた天津司舞の人形用の装束と幟旗など。装束は、姫の小袖は貞享元年、それ以外の袴は天明元年奉納のものかと推測される。千早は昭和時代の後補である。天津司舞の歴史を物語る数少ない貴重な資料である。	江戸時代前期～昭和時代初期	2箱

### (3) 資料の整理・目録（データ）化

#### ■歴史資料等の整理

収集した歴史資料等について、クリーニング、ナンバリング、目録作成（一覧表作成）、保管容器への収納、収蔵庫での保存を行っている。また、目録情報の総合情報システムへの登録・ホームページ上で公開を随時進めている。令和3年度は、職員による新規収集資料作業のほか、1月～2月の間、整理作業員を雇用し、既存資料の整理を行った。

#### ■収蔵資料のデジタル化

利用頻度が高い古文書資料のマイクロフィルムのデジタル化を進めた。

#### ■図書資料の整理

収集した図書・雑誌類は、随時、職員により分類整理し、資料閲覧室及び書庫に排架している。目録情報は総合情報システムへ登録し公開している。令和4年3月31日現在の登録件数は53,532点となっている。

### (4) 資料の修復・管理

#### ①資料の修復

##### ■修復資料

- ・「川中島合戦図」(菱川辰政)、紙本着色、江戸時代、1幅 縦48.7cm 横67.6cm

##### ■資料の重要性

- ・永禄4年（1561）の第4回川中島合戦の様子を絵画化したもの。

##### ■修復者

- ・株式会社 修護 東京都台東区上野公園13-14（文化財修理室〈東京文化財研究所内〉）

##### ■修復の内容

- ・修復前の状況は、本紙の劣化が進み、折損やそれに伴う亀裂、絵の具の剥落等も確認され、表装の破損、基底材の劣化などが見られた。
- ・修理は解体のうえ、汚損の洗浄、絵の具の剥落止めなどを行い、本紙欠損部に補修紙を補填するなどした。さらに裏打ち紙を新調のうえ、折れ伏せを新たに施すなどして仕立て直しを行った。

##### ■修理の状況



修理前全図



修理後全図

#### ②資料の保存環境管理

博物館では、資料を後世に伝えるために高いレベルで環境管理を行っている。これは、資料の物理的、化学的、生物的な劣化を防ぐためである。以下に、管理項目とその内容について示す。

##### ■温湿度管理

山梨県立博物館では文化財の収蔵・展示のため、精度の高い温度・湿度管理を行っている。収蔵庫は24時間空調を行い、展示室については深夜電力による蓄熱時間を除く間（8時～22時）、空調を行っている。これらの管理は中央監視室にて監視し、毛髪式自記記録計及びデータロガーによる温度・湿度の計測を行っ

ている。

展示ケースについても、エアタイトケースと呼ばれるケースについては調湿剤を使用して湿度のコントロールを行うとともに、毛髪式自記記録計、データロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

#### ■空気質管理

空気質については、化学吸着フィルターと呼ばれるフィルターを収蔵庫、展示室の空調設備に設置し、外気及び循環気に含まれる有害ガスの除去を行っている。

#### ■照明

館内の照明のうち収蔵庫及び展示室内の照明には紫外線が極力発生しないものを用いている。特に紫外線が多く発生する蛍光灯は、美術・博物館用と呼ばれる紫外線吸収膜付の高演色形の蛍光灯を使用している。また、他の照明では各種ハロゲンランプを用いているほか、一部はLEDスポットライトを試験的に導入している。

また、照度は資料の材質や状態に合わせて管理を行っており、浮世絵や染織品のような非常に脆弱なものは80ルクス以下、土器や金属器等は150ルクス程度の照明を行っている。

#### ■生物被害管理

一時収蔵庫での燻蒸は、資料収集の関係上実施しなかった。資料個別に対する燻蒸については適宜燻蒸庫で行った。

### (5) 資料の活用

山梨県立博物館では、収集した貴重な資料を後世に残し、将来を見通した利用を保障することを資料取り扱いの基本と考えている。保存に十分配慮した上で、資料を公開し、県民や博物館利用者の学習や調査研究等に活用するため、資料情報の提供を行っている。

利用者の利便性を図るため、平成20年6月1日から開始した古文書等の即日閲覧は、令和3年度に28件126点、事前申請による閲覧は、31件607点であった。

資料撮影は、展示図録への掲載、調査研究などの目的で28件175点、資料画像の提供は、書籍等への掲載、テレビ番組での使用など156件434点であった。

また、県内外の博物館等での展示利用のために、5件13点の貸出を行った。

#### ■令和3年度歴史資料等利用状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
歴史資料等 即日閲覧	件数	1件	0件	3件	4件	0件	3件	2件	4件	5件	2件	3件	1件	28件
	点数	3点	0点	13点	29点	0点	11点	8点	34点	9点	3点	7点	9点	126点
歴史資料等閲覧	件数	1件	4件	4件	4件	0件	2件	1件	5件	2件	1件	2件	5件	31件
	点数	18点	13点	365点	108点	0点	28点	2点	36点	7点	2点	4点	24点	607点
歴史資料等撮影	件数	1件	4件	3件	3件	0件	2件	1件	4件	2件	1件	2件	5件	28件
	点数	18点	13点	24点	18点	0点	28点	2点	35点	7点	2点	4点	24点	175点
歴史資料等使用 (フィルム使用等)	件数	20件	11件	13件	12件	8件	13件	14件	17件	12件	11件	12件	13件	156件
	点数	55点	64点	20点	33点	18点	30点	61点	39点	41点	15点	26点	32点	434点
歴史資料等貸出	件数	0件	0件	2件	1件	0件	1件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	5件
	点数	0点	0点	2点	1点	0点	7点	0点	0点	3点	0点	0点	0点	13点

※新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため令和3年8月8日から9月12日まで休館した。

## 第4章 展 示

### (1) 常設展示

令和3年度の常設展示は、年間6回の展示替えを行ない、資料の保存に対応しながら、展示期間ごとにテーマを設定して、来館者に親しみやすい展示内容にするとともに、来館者のリピートを促すよう図った。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止への臨時特別協力要請（令和3年8月6日付）に対応して、令和3年8月8日（日）から8月22日（日）まで休館（のち9月12日まで延長）となった。また、昨年度より継続して、引き出し型ケースの仕様の中止など、接触感染対策を継続して実施した。

下記のテーマ展示にあたっては、④の期間においては、恩賜林御下賜110周年（明治44年（1911）3月11日）を記念する県林政部による展示（9月13日（月）～9月27日（月））が企画展ロビーに設置されたことから、「やまなしの人々と山」を開催することとした。⑤の期間においては、山梨県誕生150周年（明治4年（1871）11月20日に甲府県から山梨県に改称）の関連資料展示を、企画展開催に合わせて日蓮誕生800年（承久4年（1222）2月16日生まれ）の関連資料展示を実施した（いずれも「道がつなぐ出会い」）。

#### ■展示期間とテーマ

- ①令和3年2月17日（水）から令和3年4月19日（月）まで  
展示テーマ「山梨の春は、桃と桜と信玄公」
- ②令和3年4月21日（水）から令和3年6月14日（月）まで  
展示テーマ「災いと人々 祈る・助けあう・乗りこえる」
- ③令和3年6月16日（水）から令和3年8月16日（月）まで  
展示テーマ「資料でめぐる山梨の旅」
- ④令和3年8月18日（水）から令和3年10月18日（月）まで  
展示テーマ「やまなしの人々と山」
- ⑤令和3年10月20日（水）から令和3年12月13日（月）まで  
展示テーマ「素晴らしき甲州文庫の世界－県移管70周年記念－」
- ⑥令和3年12月15日（水）から令和4年2月14日（月）まで  
展示テーマ「招福！かいじあむのお正月」
- ⑦令和4年2月16日（水）から令和4年4月18日（月）まで  
展示テーマ「山梨の春は、桃と桜と信玄公」

- ・時代については、複製品は原資料の製作年代を記した。
- ・所蔵者については、複製品は（）内に原資料所蔵者を記した。
- ・指定については、●は国宝、◎は国指定重要文化財、○は県指定文化財、◇は市町村指定文化財とした。
- ・絵画・古文書等、脆弱な資料の展示期間が複数にわたる場合は、その都度頁替え、巻替などを行なっている。

#### ■出品資料一覧

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
自然の森の中で				
桂野遺跡渦巻文土器	縄文中期	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
原町田遺跡出土縄文土器	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
縄文土器片、石器	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲斐の誕生				
甲斐国分寺瓦(鬼瓦)	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国分寺瓦(軒丸瓦)	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国分尼寺出土墨書土器	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡大野郷」(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 佐久市教育委員会)		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡表門」	奈良時代	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
寺本廃寺 瓦	白鳳時代	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
天狗沢瓦窯跡 瓦	白鳳時代	甲斐市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦



資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡①(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡②(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡③(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 習書・戯画木簡(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡①(複製)	天平宝字6年(762)	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)	◎	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡②(複製)	天平宝字6年(762)	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)	◎	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡養物銭荷札木簡(複製)	天平宝字8年(764)	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国印(推定復元)	奈良時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
正倉院文書「甲斐国司解」(複製)	天平宝字5年(761)	山梨県立博物館(原資料 正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
東畑遺跡金銅仏	奈良時代	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
<b>甲斐の黒駒</b>				
大塚古墳出土横刃板鋌留短甲(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(原資料 市川三郷町教育委員会)	○	①②③④⑤⑥⑦
狐原遺跡 焼印	平安時代	上野原市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
御崎古墳出土馬具	古墳時代	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
塩部遺跡 馬上顎歯	古墳時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
伝豊富村 衝角付冑(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
伝豊富村 眉庇付冑(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
天神のこし古墳出土大刀、鉄鏃	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
寺の前古墳出土鉄鏃	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
天神のこし古墳出土金環	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
狐塚古墳出土馬具	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
寺の前三号墳出土柄頭	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
寺の前古墳出土馬具	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 通行証明木簡(過所木簡)(複製)	奈良時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
正倉院文書「駿河国正税帳」(複製)	天平10年(738)	山梨県立博物館(原資料 正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
<b>水に取り組む</b>				
石尊祭の藁束	平成14年(2002)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
測量器(複製)	江戸時代	山梨県立博物館(原資料 個人)		①②③④⑤⑥⑦
宮沢中村遺跡網代護岸	鎌倉時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
御幸祭川除の石	平成15年(2003)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
武田家朱印状(桑原家資料)(複製)	天正3年(1575)	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
釜無川氾濫の図(複製)		長遠寺		①②③④⑤⑥⑦
木製人形(甲府市塩部遺跡出土)	平安時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
下条南割村周辺堤防絵図(千野家文書)	江戸時代	山梨県立博物館		①
穴山信君判物(三井家資料)	天正8年(1580)	個人	◇	①
武田家朱印状(保坂家文書)	天正5年(1577)	個人	○	①
稲積地藏菩薩像(大木家文書)	寛政元年(1789)	山梨県立博物館		①⑦
上条地藏大菩薩略縁起	江戸時代	山梨県立博物館		①
雨乞いの仏像	不明	清水寺		②③④⑤⑥⑦
信玄堤絵図(保坂家文書)	文政7年(1824)	個人	◇	②
武田家朱印状(三井家資料)	天正2年(1574)	個人	◇	②
濁水にて仕付不能に付注進(甲州文庫)	文化10年(1813)	山梨県立博物館		②
甲斐国絵図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		③
和歌・俳句等書上(斎藤家資料)	延享5年(1748)	山梨県立博物館		③
妙光院雨乞祈祷料神納覚(五味家文書)	江戸時代	山梨県立博物館		③
富士山真形之絵図(甲州文庫)	明治8年(1875)頃	山梨県立博物館		④
在方御普請仕形大概(甲州文庫)	宝暦4年(1754)	山梨県立博物館		④
雨乞鎮守 三石大明神 宮再建立施入帳	文政4年(1821)	個人		④
石和鶴飼山遠妙寺略縁起(甲州文庫)	江戸～大正時代	山梨県立博物館		⑤
「甲斐之国鶴飼道場」摺物(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
武田家朱印状(保坂家文書)	天正3年(1575)	個人	○	⑤
雨乞之辨(甲州文庫)	万延元年(1860)	山梨県立博物館		⑤⑥
嶋上条村絵図(三井家文書)	天保14年(1843)	山梨県立博物館		⑥
江戸幕府奉行入連署書状(保坂家文書)	江戸時代(17世紀)	個人		⑥
甲斐国絵図(甲州文庫)	宝暦6年(1756)	山梨県立博物館		⑦



資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
武田家朱印状(保坂家文書)	天正9年(1581)	個人	○	⑦
<b>戦国からのメッセージ</b>				
勝山古記	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
筒粥神事の道具	平成17年(2005)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
令和3年度筒粥占標(小室浅間神社)	令和3年(2021)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
武田家朱印状(甲州文庫)	元亀2年(1571)	山梨県立博物館		①
徳川家康禁制(南松院資料)	天正10年(1582)	南松院	○	②
武田家過所(桑原家文書)	永禄3年(1560)	個人	○	③
某過所(桑原家文書)	永禄5年(1562)	個人	○	③
武田家朱印状(桑原家資料)	永禄3年(1560)	個人	○	④
今川義元判物(森家文書)	天文21年(1552)	個人		⑤
直江兼統書状(正月11日付、市川長寿あて)	室町時代(16世紀)	山梨県立博物館		⑥
河尻秀隆黒印状(渋江家文書)	天正10年(1582)	山梨県立博物館		⑦
令和4年度筒粥占標(小室浅間神社)	令和4年(2022)	山梨県立博物館		⑦
<b>山に生きる</b>				
林業の道具を象った小正月のツクリモノ	現代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲州金(一分金 甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
大鋸	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
枿・焼き鋸	明治以降	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
焼畑衣装(再現品)	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
新規紙漉稼難洩出入一件綴(甲州文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		①⑦
山梨産紙沿革一斑(甲州文庫)	明治41年(1908)	山梨県立博物館		①⑦
横手山水晶試堀妨害に付吟味願(甲州文庫)	天保15年(1844)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
柴山并里焼畑寄帳(甲州文庫)	宝永7年(1710)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
乍恐以上書奉願上候御事(青原院移転につき、甲州文庫)	元禄16年(1703)	山梨県立博物館		②
乍恐以書付御注進仕候(雪解け場所山崩れにつき見分願、甲州文庫)	宝暦10年(1760)	山梨県立博物館		②
奈良田温泉道の記(市瀬家文書)	弘化4年(1847)	山梨県立博物館		③
湯治・奈良田入湯諸入用控(関本家文書)	慶応元・2年(1865・66)	山梨県立博物館		③
下来沢山境界関係資料(甲州文庫)	明治11年(1878)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
水晶眼鏡(甲州文庫)	明治13年(1880)	山梨県立博物館		⑤
甲府盆地鳥瞰図(甲州文庫)	近代(19世紀)	山梨県立博物館		⑤
参詣人永代船渡しに付補任状(甲州文庫)	正徳元年(1711)	山梨県立博物館		⑥
『裏見寒話』巻五(甲州文庫)	宝暦2年(1752)	山梨県立博物館		⑥
<b>里にくらす</b>				
馬ブラシ		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
馬草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
<b>城下町の賑わい</b>				
稲荷曲輪出土瓦	江戸時代(17世紀)	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府城跡出土鯺瓦(復元品)	江戸時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府上水木樋		甲府市水道資料館		①②③④⑤⑥⑦
輪宝	江戸時代(17世紀)	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
人質曲輪出土桐文様瓦	室町時代(16世紀)	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
武田晴信信玄像模本(甲州文庫)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		①⑦
『川中島両将軍記』上・中・下(甲州文庫)	慶応2年(1866)	山梨県立博物館		①⑦
『川中島烈戦記』(甲州文庫)	明治25年(1892)	山梨県立博物館		①⑦
甲府上府中組火消法被并纏図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		②
覚(火の元心得につき、甲州文庫)	天和2年(1682)	山梨県立博物館		②
郭内出火之節定書(甲州文庫)	元文3年(1738)	山梨県立博物館		②
参宮日記帳(頼生文庫)	天保4年(1833)	山梨県立博物館		③
『江戸名所図会』(大木家文書)	天保5~7年(1834~6)	山梨県立博物館		③
『箱根案内図』(大木家文書)	天保13年(1842)	山梨県立博物館		③
御材木運人足帳(甲州文庫)	元禄10年(1697)	山梨県立博物館		④
山境訴訟につき書付(甲州文庫)	正徳3年(1713)	山梨県立博物館		④
鞘手入れにつき乍恐書付ヲ以奉願上候(甲州文庫)	文化14年(1817)	山梨県立博物館		④

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
「御講聞書(日向記)」(甲州文庫)	明応9年(1500)	山梨県立博物館		⑤
「甲斐国四郡村高帳」(甲州文庫)	寛永元年(1624)	山梨県立博物館		⑤
古銭類(甲州文庫)	江戸時代(18~19世紀)	山梨県立博物館		⑤
平岩親吉資料(若尾資料)	大正5年(1916)	山梨県立博物館		⑥
徳川綱豊領内法度并代官仕置定(甲州文庫)	延宝9年(1681)	山梨県立博物館		⑥
「鍼灸説約」(甲州文庫)	文化7年(1810)	山梨県立博物館		⑥
<b>変貌する景観</b>				
大日本物産図会甲斐国葡萄培養図(複製)	江戸時代(原資料)	山梨県立博物館		①③④⑦
大日本物産図会甲斐国白柿製之図(複製)	江戸時代(原資料)	山梨県立博物館		①③④⑦
生糸(県蘭糸検査事務所資料)	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
写真絵はがき類 温泉(甲州文庫)	明治時代以降	山梨県立博物館		①③④⑦
甲斐四郡村名尽(甲州文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		①③⑦
甲斐廻手振(赤岡重樹旧蔵資料)	不明 (原本成立は嘉永年間)	山梨県立博物館		①②⑥⑦
甲山峽水(甲州文庫)	明治39年(1906)	山梨県立博物館		①④⑦
葡萄栽培法摘要(甲州文庫)	明治10年(1877)	山梨県立博物館		①
歳云録(若尾資料)	大正6年(1917) ※原資料は江戸時代	山梨県立博物館		②
バイ疫急法(甲州文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		②
明治37年赤痢病流行紀事(甲州文庫)	明治39年(1906)	山梨県立博物館		②
台風26号被害記録アルバム	昭和41年(1966)	山梨県立博物館		②
頂上ひとりあんない(甲州文庫)	明治13年(1880)	山梨県立博物館		③④
旅行の友 創刊号(甲州文庫)	昭和6年(1931)	山梨県立博物館		③
富士裾野めぐり 付富士川下り甲州御岳(甲州文庫)	大正14年(1925)	山梨県立博物館		③④
甲斐名湯案内誌(甲州文庫)	明治28年(1895)	山梨県立博物館		④
御嶽神領黒平温泉(廣瀬家資料)	江戸時代か	個人		④
峡中広告集(甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		⑤
甲州葡萄掛紙貼付帳(甲州文庫)	江戸~明治時代	山梨県立博物館		⑤
写真貼込帳 1(甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		⑤
写真貼込帳 3(甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		⑤
「並山日記 三」(甲州文庫)	嘉永3年(1850)	山梨県立博物館		⑥
温泉取調書(若尾資料)	大正6年(1917)	山梨県立博物館		⑥
甲州道中記(若尾資料)	大正4年(1915)	山梨県立博物館		⑥
甲府繁昌寿語呂久(甲州文庫)	明治35年(1902)	山梨県立博物館		⑥
<b>信仰の足跡</b>				
役行者像(複製)	平安~鎌倉(12世紀)	山梨県立博物館(原資料 円楽寺)	○	①②③④⑤⑥⑦
富士山五合五勺経ヶ岳出土経巻(複製)	平安時代	山梨県立博物館(原資料 個人)		①②③④⑤⑥⑦
甲斐勝沼柏尾経塚出土経筒(複製)	康和5年(1103)	山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館)	◎	①②③④⑤⑥⑦
愛染明王坐像(複製)	平安時代(12世紀)	山梨県立博物館(原資料 放光寺)	◎	①②③④⑤⑥⑦
金峰山出土品(釘、古銭、鏡、薙鎌)	平安~明治時代	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
蔵王権現立像	平安時代	山梨県立博物館	○	①②③④⑤⑥
隔搔録	文化13年(1816)	山梨県立博物館		①
隔搔録	文化13年(1816)	山梨県立博物館		②
韋駄天立像	南北朝時代	円光院		①②③④⑥
不二日記<富士日記写本>(甲州文庫)	文化11年(1814)	山梨県立博物館		③
大日本富士山絶頂之図(歌川貞秀筆)	安政4年(1857)	山梨県立博物館		④(8/18~9/20)
富士山諸人参詣之図(二代歌川国輝筆)	慶応元年(1865)	山梨県立博物館		④(9/22~10/18)
齧口	享禄元年(1528)	蓮華寺	○	⑤
曼荼羅本尊 日蓮筆(複製)	弘安元年(1278)	山梨県立博物館(原資料 海長寺)		⑤
七福神図 木食白道作	江戸時代(18-19世紀)	山梨県立博物館		⑥
富士山百景狂歌集(甲州文庫)	万延元年(1860)	山梨県立博物館		⑦
甲斐国金櫻神社御嶽山晚春之図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
渡唐天神像 策彦周良賛	室町時代(16世紀)	南松院	○	⑦(2/16~3/4)
蘭石図 雪窓普明筆	元時代(14世紀)	山梨県立博物館		⑦(3/5~4/18)
<b>甲斐を駆ける武士たち</b>				
関東下知状(複製)	応長元年(1311)	山梨県立博物館(原資料 大善寺)	○	①②③④⑤⑥⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
長寛勘文写本(複製)	江戸時代	山梨県立博物館(原資料 熊野神社)	◇	①②③④⑤⑥⑦
銅製経筒および付属品(複製)	建久8年(1197)	山梨県立博物館(原資料 個人)	○	①②③④⑤⑥⑦
諏訪神号旗(複製)	室町時代(16世紀)	山梨県立博物館(原資料 恵林寺)	○	①②③④⑤⑥⑦
孫子の旗(複製)	室町時代(16世紀)	山梨県立博物館(原資料 恵林寺)	○	①②③④⑤⑥⑦
源平合戦図屏風(右隻)	江戸時代(17世紀)	山梨県立博物館		①
武田信玄書状(8月20日付、原与左衛門尉あて)	戦国時代(16世紀)	山梨県立博物館		①
岩窪信玄公墓石写	江戸時代	山梨県立博物館		①⑦
源平合戦図屏風(左隻)	江戸時代(17世紀)	山梨県立博物館		②
武田信玄書状	戦国時代(16世紀)	山梨県立博物館		②
『絵本信玄一代記』(甲州文庫)	寛政2年(1790)	山梨県立博物館		②
小桜韋威鎧 兜・大袖付(楯無鎧)復元品	平安～鎌倉時代	山梨県立博物館(原資料 菅田天神社)	●	③④⑤⑥⑦
後三年合戦絵巻 上巻	寛政12年(1800)	山梨県立博物館		③
武田信玄書状(村松定史家資料)	永禄12年(1569)か	山梨県立博物館		③
甲越川中島合戦陣取地理細見図	江戸～明治時代	山梨県立博物館		③
武田家朱印状(天正2年6月27日付、長谷河惣兵衛尉)	天正2年(1574)	山梨県立博物館		④
遠州諏訪原古城図	江戸時代	山梨県立博物館		④
大般若波羅蜜多経(巻第四百五十八)	貞治4年(1365)	山梨県立博物館		④
一蓮寺過去帳(複製)	室町～江戸時代	山梨県立博物館(原資料 一蓮寺)	○	④
七面大明神由来(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
日禰上人曼荼羅本尊	慶長19年(1614)	山梨県立博物館		⑤
武田信玄書状(於曾家文書)	戦国時代	山梨県立博物館		⑤
甲越古状揃大全(甲州文庫)	嘉永4年(1851)	山梨県立博物館		⑤
祝いのお膳	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
武田晴信条目(今沢家文書)	弘治3年(1557)	山梨県立博物館		⑥
『甲陽軍鑑』巻十六「御献立之次第」(甲州文庫)	天明元年(1781)	山梨県立博物館		⑥
武田勝頼書状	天正8年(1580)	山梨県立博物館		⑦
武田勝頼像	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
武田晴信書状	戦国時代(16世紀)	山梨県立博物館		⑦
武田源氏一統系図写	大正5年(1916)	山梨県立博物館		⑦
<b>川を彩る高瀬舟</b>				
鯀沢河岸跡 ガラス瓶	明治～大正時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
足半草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯀沢河岸跡出土遺物	江戸～明治時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯀沢河岸跡出土マグロ骨	江戸時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯀沢河岸跡出土泥面子	明治時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
富士川舟運関係会社印鑑類	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
<b>道がたなく出会い</b>				
駒橋出土埋蔵銭	室町時代	個人		①②③④⑦
新巻常滑大甕	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
青磁碗	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
染付皿	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
染付碗	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
瀬戸・美濃灰釉更	室町時代	個人	○	①②③④⑦
躰躰ヶ崎館跡出土陶磁器	室町時代	甲府市教育委員会		①②③④⑦
東原常滑大甕	鎌倉時代	山梨県立博物館	○	①②③④⑦
東原古瀬戸瓶	鎌倉時代	山梨県立博物館	○	①②③④⑦
不動明王像 木喰作	天明9年(1789)	山梨県立博物館		①②
三月節供雛人形(大木家資料)	昭和	山梨県立博物館		①
於曾家文書	戦国時代	山梨県立博物館		①
おかふと(カナカンブツ)(上野晴朗氏収集資料)	明治時代以降	山梨県立博物館		②
おかふと木型(甲州文庫)	不明	山梨県立博物館		②⑤
機山公御廟玉垣略図	天保10年(1839)	山梨県立博物館		②
機山公御廟玉垣造営寄附金請取帳	天保11年(1840)	山梨県立博物館		②
木喰作 弘法大師像	寛政13年(1801)	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
右左口人形(右左口の人形芝居のかしらほか用具一式)	江戸～明治時代	甲府市宿区	○	③

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
甲州道中図屏風(右隻)	江戸時代	山梨県立博物館	○	③
富士大山登山饒別日下恵(大木家資料)	天保14年(1843)	山梨県立博物館		④
富士講行着(大木家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		④
富士山神札(大木家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		④
山梨県入会御料地調(飯田知雄家資料)	明治39年(1906)	山梨県立博物館		④
謝恩碑模型(大木家資料)	大正時代	山梨県立博物館		④
恩賜林の沿革(甲州文庫)	昭和4年(1929)	山梨県立博物館		④
山梨県直営塚本山造林実施概要(大木家文書)	大正7年(1918)	山梨県立博物館		④
書簡(塚本正之から大木喬命にあてた塚本山に関するもの(大木家文書))	大正2年(1913)	山梨県立博物館		④
山梨県恩賜県有財産沿革誌(甲州文庫)	昭和11年(1936)	山梨県立博物館		④
恩賜林に関する神籬と制帽	昭和時代	山梨県立博物館		④
おかふと(甲州文庫)	江戸～明治時代	山梨県立博物館		⑤
『裏見寒話』巻五(甲州文庫)	宝暦2年(1752)	山梨県立博物館		⑤
キの神掛軸(甲州文庫)	享和2年(1802)	山梨県立博物館		⑤
鎮目村山梨岡神社キ神来由記(甲州文庫)	慶応2年(1866)	山梨県立博物館		⑤
峡中紀行(甲州文庫)	明治30年(1897)	山梨県立博物館		⑤
甲州身延山図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤(10/20～11/15)
身延山 従七面山一覽之真図(甲州文庫)	明治14年(1881)	山梨県立博物館		⑤(11/17～12/13)
日蓮聖人註画讃(甲州文庫)	天和3年(1683)	山梨県立博物館		⑤
妙法蓮華経 巻第四(甲州文庫)	永正2年(1505)	山梨県立博物館		⑤
身延山開帳奉納附(甲州文庫)	嘉永2年(1849)	山梨県立博物館		⑤
「甲州文庫」扁額(甲州文庫)	昭和5年(1930)	山梨県立博物館		⑤
富突き錐・木札(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
煙草包紙(甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		⑤
功刀亀内肖像写真(甲州文庫)	昭和時代	山梨県立博物館		⑤
甲州文庫関係記事集帖(甲州文庫)	昭和時代	山梨県立博物館		⑤
甲州文庫移管関係綴(甲州文庫)	昭和時代	山梨県立博物館		⑤
甲州文庫図書目録(甲州文庫)	昭和18年(1943)	山梨県立博物館		⑤
写真貼込帳 2(甲州文庫)	明治～大正時代	山梨県立博物館		⑤
四猿	慶応元年(1865)	山梨県立博物館		⑥
昇り龍・降り龍	慶応元年(1865)	山梨県立博物館		⑥
鶴	慶応元年(1865)	山梨県立博物館		⑥
松竹梅・波千鳥	慶応元年(1865)	山梨県立博物館		⑥
マユダマダンゴ(模造品)	平成17年(2005)	山梨県立博物館		⑥
男女のサル	平成17年(2005)	山梨県立博物館		⑥
ヒブセ	平成17年(2005)	山梨県立博物館		⑥
火事見舞いの藁馬	平成17年(2005)	山梨県立博物館		⑥
後三年合戦絵巻 下巻	寛政12年(1800)	山梨県立博物館		⑦
三月節供雛人形(大木家資料)	明治～昭和時代初期	山梨県立博物館		⑦
<b>江戸文化の往来</b>				
忍草村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	①
浅川村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	②
大明見村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	③
和見村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	④
下和田村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	⑤
平野村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	⑥
新屋村絵図(森嶋家文書)	文化3年(1806)	都留市	◇	⑦
甲斐国志写本	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山本勘助入道道鬼	江戸時代	山梨県立博物館		①(2/17～3/15)
甲越武勇伝 大膳大夫晴信入道信玄・板垣駿河守信形・甘利左エ門尉晴吉・秋山伯耆守信近	弘化4～嘉永5年(1847～52)	山梨県立博物館		①(2/17～3/15)
天正八年上州膳の城攻め	元治元年(1864)	山梨県立博物館		①(2/17～3/15)
永禄四年九月四日川中島ノ合戦 山本勘介入道討死ノ図	弘化4～嘉永5年(1847～52)	山梨県立博物館		①(2/17～3/15)
武田二十四将図	江戸時代	山梨県立博物館		①(3/17～4/19)

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
甲越武勇伝 武田左馬助信繁・武田太郎義信・飯富兵部小輔虎昌・真田兵部之丞昌照	弘化4～嘉永5年(1847～52)	山梨県立博物館		①(3/17～4/19)
甲越武勇伝 横田備中守昌時・内藤修理亮昌豊・土屋右衛門尉直村・浅利式部之丞信音	弘化4～嘉永5年(1847～52)	山梨県立博物館		①(3/17～4/19)
信州川中島大合戦 朝霧ふかち立ちおほふの図	弘化4～嘉永5年(1847～52)	山梨県立博物館		①(3/17～4/19)
御菓子袋(升太の広告集)	江戸時代	山梨県立博物館		②
六代目岩井半四郎の死絵	天保7年(1836)	山梨県立博物館		②(4/21～5/10)
四代目中村歌右衛門の死絵	嘉永5年(1852)	山梨県立博物館		②(4/21～5/10)
四代目中村歌右衛門の死絵	嘉永5年(1852)	山梨県立博物館		②(4/21～5/10)
五代目市村竹之丞の死絵	嘉永4年(1851)	山梨県立博物館		②(4/21～5/10)
麻疹送出シの図	文久2年(1862)	山梨県立博物館		②(4/21～5/10)
六代目岩井半四郎の死絵	天保7年(1836)	山梨県立博物館		②(5/12～6/14)
四代目中村歌右衛門の死絵	嘉永5年(1852)	山梨県立博物館		②(5/12～6/14)
四代目中村歌右衛門と五代目市村竹之丞の死絵	嘉永5年(1852)	山梨県立博物館		②(5/12～6/14)
歌川広重の死絵	安政5年(1858)	山梨県立博物館		②(5/12～6/14)
御菓子袋	江戸時代	山梨県立博物館		②(5/12～6/14)
雑魚貼交屏風	江戸時代後期	山梨県立博物館		③
諸国名所図会 甲斐身延路歟澤不二川	文久2年(1862)	山梨県立博物館		③(6/16～7/19)
諸国名所百景 甲州矢立杉	安政6年(1859)	山梨県立博物館		③(7/21～8/16)
富嶽三十六景 神奈川沖浪裏【複製品】	現代	山梨県立博物館		④
富嶽三十六景 凱風快晴【複製品】	現代	山梨県立博物館		④
富嶽三十六景 山下白雨【複製品】	現代	山梨県立博物館		④
富岳図扇面	明治31年(1898)	山梨県立博物館		④
富岳図扇面	近代	山梨県立博物館		④
山梨県甲府勸業場之図(甲州文庫)	明治7年(1874)頃	山梨県立博物館		⑤(10/19～11/22)
勸業製糸場七言絶句(甲州文庫)	明治10年(1877)	山梨県立博物館		⑤
真下晩菘書(甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		⑤
杉浦謙書(甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		⑤
穴切神祠碑拓本	不明	個人		⑤
諸国名所之内甲州猿橋邊景(甲州文庫)	明治13年(1880)	山梨県立博物館		⑤(11/24～12/13)
大日本物産図会 甲斐国葡萄培養図	明治10年(1877)	山梨県立博物館		⑤(11/24～12/13)
大日本物産図会 甲斐国白柿製之図	明治10年(1877)	山梨県立博物館		⑤(11/24～12/13)
甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動之瀧	天保12年(1841)	山梨県立博物館	◇	⑥
武田信玄像(村松定史家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		⑦(2/16～3/14)
武田信玄信州川中島出張之図	天保14～弘化4年(1843～47)	山梨県立博物館		⑦(3/16～4/18)
信玄公像(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
桜樹図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
扇面(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
扇面 菜花図 (甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
転換期に向き合う				
勝沼駅近藤勇驍勇之図(複製)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
近世侠客有名鏡(複製)	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
天保騒動の一揆進行の絵図(複製)		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
『太政官日誌第七』(甲州文庫)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		①⑦
『内外新報第48号』(甲州文庫)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		①
柏尾戦争記(甲州文庫)	明治時代(19世紀)	山梨県立博物館		①
砲弾	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		①②⑦
『地震諸事記』(市川家資料)	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館		②
『安政見聞録上』(長谷川家文書)	安政3年(1856)	山梨県立博物館		②
安政五年小山神社年中録(甲州文庫)	安政5年(1858)	山梨県立博物館		②
『海外新話』(高室家資料)	嘉永2年(1849)	山梨県立博物館		③
森田清行肖像(甲州文庫)	万延元年(1860)	山梨県立博物館		③
森田清行書状写(甲州文庫)	安政7年(1860)	山梨県立博物館		③
『環海航路日記』上・下(甲州文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		③
『富士教会河口講社祝詞集』(坂名名家資料)	明治時代か	山梨県立博物館		④



資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
『富士北口講社誓約並規約書』(甲州文庫)	明治9年(1876)	山梨県立博物館		④
『富士山北口絵図』(甲州文庫)	大正12年(1923)	山梨県立博物館		④
『富士登山絵葉書』3枚(上野晴朗氏収集資料)	明治時代(19世紀)	山梨県立博物館		④
『滑稽富士詣三』(甲州文庫)	万延元年(1860)	山梨県立博物館		④
谷戸村御用留(甲州文庫)	明治元年(1868)	山梨県立博物館		⑤
大嘗祭・豊明節会執行につき達(甲州文庫)	明治4年(1871)	山梨県立博物館		⑤
置県布告(甲州文庫)	明治4年(1871)	山梨県立博物館		⑤
御公達記(甲州文庫)	明治4年(1871)	山梨県立博物館		⑤
正月年礼之儀に付御達(篠原家文書)	明治時代初期	山梨県立博物館		⑥
年賀状(大木家文書)	明治20年(1888)	山梨県立博物館		⑥
年賀状(大木家文書)	明治21年(1889)	山梨県立博物館		⑥
年賀状(大木家文書)	明治21年(1889)	山梨県立博物館		⑥
年賀状(関本家文書)	昭和23年(1948)	山梨県立博物館		⑥
板垣退助写真(大木家文書)	近代	山梨県立博物館		⑦
御御官軍御宿割控(甲州文庫)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		⑦
<b>巨富を動かす</b>				
若尾逸平銅像ミニチュア	大正2年(1913)	山梨県立博物館		①⑤⑥⑦
小説『練糸痕』(甲州文庫)	昭和9年(1934)	山梨県立博物館		①
練糸痕につき宮武外骨宛小林一三書簡(古文書雑輯(2))	昭和9年(1934)	山梨県立博物館		①
宮武外骨宛小林一三書簡(古文書雑輯(2))	昭和3年(1928)	山梨県立博物館		①
箕面電車回遊双六(パネル)	原資料 大正時代	原資料 池田文庫		①
小林一三の著書(『雅俗山荘漫筆 第二』、『私の行き方』、『蘭印をかく見たり』)	昭和7年～16年(1932～1941)	山梨県立博物館		①
甲斐国西郡郷名尽(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①
蒸気車往復繁栄之図(甲州文庫)	明治22年(1889)	山梨県立博物館		②③
山梨鉄道起業意見書(甲州文庫)	明治22年(1889)	山梨県立博物館		②
雨宮敬次郎還暦園遊会次第(菊島家資料)	明治39年(1906)	個人		②
風俗画報(雨宮邸内祝賀の宴 パネル)	明治39年(1906)	山梨県立博物館		②
仲買人雑誌 第2号 雨宮敬次郎肖像(甲州文庫)	明治29年(1896)	山梨県立博物館		②
中央線列車行先表示板	昭和時代	個人		②③④⑤
中央東線鉄道線路概況(甲州文庫)	明治36年(1903)	山梨県立博物館		③
神名川横浜新開港図	万延元年(1860)	山梨県立博物館		③
明治元年道中諸入用控帳(篠原家文書)	明治元年(1868)	山梨県立博物館		③
中央線電化記念写真帖(甲州文庫)	昭和6年(1931)	山梨県立博物館		③
特急あずさ登場時の時刻表	昭和41年(1966)	個人		③
小野金六書簡(甲州文庫)	明治45年(1912)	山梨県立博物館		④
小野金六銅像建設記念絵葉書(甲州文庫)	大正13年(1924)	山梨県立博物館		④
富士身延鉄道全通記念風呂敷	昭和3年(1928)	個人		④
富士身延鉄道沿線名所図会(甲州文庫)	昭和3年(1928)	山梨県立博物館		④
富士山麓開発に関する意見(甲州文庫)	大正6年(1917)	山梨県立博物館		④
甲斐府有司便覧 明治2年版(甲州文庫)	明治2年(1869)	山梨県立博物館		⑤
甲府県知事并権知事任命につき達(甲州文庫)	明治2年(1869)	山梨県立博物館		⑤
甲金通用の儀につき達(甲州文庫)	明治4年(1871)	山梨県立博物館		⑤
道祖神祭礼の心得につき達(甲州文庫)	明治4年(1871)	山梨県立博物館		⑤
官員全書山梨県 山梨県官員録(甲州文庫)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		⑤
平民出庁の節心得方につき達(甲州文庫)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		⑤
おもちゃ籠	大正4年(1915)	山梨県立博物館		⑥
おもちゃ籠 補遺(甲州文庫)	大正5年(1916)	山梨県立博物館		⑥
若尾家の年賀状(横浜若尾幾造から甲府若尾民造宛)(甲州文庫)	大正5年(1916)	山梨県立博物館		⑥
お年賀の御礼状(甲州文庫)	大正8年(1919)	山梨県立博物館		⑥
新年会の招待状(甲州文庫)	大正5年(1916)	山梨県立博物館		⑥
甲府駅発車時間表(三井家文書)	昭和4年(1929)	山梨県立博物館		⑥⑦
機山公社殿建設規則(甲州文庫)	明治14年(1881)	山梨県立博物館		⑦
武田神社奉建会趣意書(甲州文庫)	大正4年(1915)	山梨県立博物館		⑦
勘左衛門宛武田神社奉建会評議員委嘱状及同会の趣意書(関本家文書)	大正6年(1917)	山梨県立博物館		⑦



資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
甲府市三十年史(甲州文庫)	大正7年(1918)	山梨県立博物館		⑦
武田神社写真帖(甲州文庫)	昭和13年(1938)	山梨県立博物館		⑦
<b>共生する社会【地方病とのたたかい】</b>				
スチブナール	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病克服に向けて使用された実物道具類	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病予防溝渠プレート	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
死体解剖御願(写し)	明治30年(1897)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
俺は地方病博士だ	大正6年(1917)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
スチブナール(模造品)	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病に関する手紙(飯田家資料)①	江戸時代	山梨県立博物館		①②③
地方病に関する手紙(飯田家資料)②	江戸時代	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
甲陽軍鑑 廿 終(甲州文庫)(パネル)	原資料 江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
翻訳断毒論(パネル)	原資料 文化7年(1810)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
<b>共生する社会【明治40年の大水害】</b>				
水害時に使用した舟	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山梨県下ニ起レル山地ノ水害調査書(甲州文庫)	明治41年(1908)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山梨県水害史(甲州文庫)①	大正2年(1913)	山梨県立博物館		①②③
山梨県水害史(甲州文庫)②	大正2年(1913)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
北海道移住民資料(若尾資料)	大正8年(1919)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
北海道移住者調(若尾資料)	明治～大正時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山梨県水害団体移住写真	明治時代	北海道大学		①②③④⑤⑥⑦
<b>共生する社会【山梨と戦争】</b>				
E46集束焼夷弾(模型)	—	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
警防団ヘルメット	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
警防団ビュウグル	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
軍靴	昭和16年(1941)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府四十九連隊施設鬼瓦	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
支那事変いろはがるた	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
米機の撒いたピラ(甲州文庫)	昭和20年(1945)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦

## (2) 企画展・シンボル展

### ■開催企画展・シンボル展一覧

	展覧会名	会期
① 企画展	i 誕生500年 武田信玄の生涯	令和3年3月13日(土)から5月10日(月)まで
	ii 特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～	令和3年7月10日(土)から9月6日(月)まで ※新型コロナウイルス感染防止への臨時特別協力要請及びまん延防止等重点措置をうけて8月8日(日)以降の公開中止。
	iii 日蓮聖人と法華文化	令和3年10月2日(土)から11月23日(月)まで
	iv 伝える－災害の記憶 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料	令和4年3月11日(金)から5月9日(月)まで
② シンボル展	i 誕生200年 若尾逸平	令和3年5月22日(土)から6月28日(月)まで
	ii 曾我物語図屏風	令和4年1月22日(土)から2月21日(月)まで

令和4年3月11日(金)から5月9日(月)まで実施した「伝える－災害の記憶 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料」については、令和4年度年報にて詳述する。

## ①企画展

## i 生誕500年 武田信玄の生涯

【会 期】令和3年3月13日（土）～5月10日（月）

会期日数59日、展示日数52日

【主 催】山梨県立博物館、山梨日日新聞社、山梨放送

【後 援】甲府市、甲州市、こうふ開府500年記念事業実行委員会、信玄公生誕500年記念事業実行委員会、朝日新聞甲府総局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、読売新聞甲府支局

【協 力】武田氏研究会、日本通運株式会社、山梨郷土研究会、山梨交通株式会社

【会 場】企画展示室

【入場者数】16,852人

【担 当】学芸員 海老沼真治、松田美沙子

## 【概 要】

郷土の英雄として現在も様々な形で語り継がれる武田信玄（1521～73）は、2021年に生誕500年を迎えた。信玄は甲斐国から信濃・上野・駿河などに領国を拡大して全国有数の戦国大名となり、川中島の戦いなどの合戦、信玄堤に代表される政策など、後世まで大きな影響を与えた。

本展では、武田信玄の53年の生涯について、年代順に関連資料を紹介してその業績を振り返るとともに、信玄が生きた戦国時代の社会、信玄と争った戦国大名、信玄を支えた一族と家臣団等について総合的に紹介した。

## 【関連イベント】

## ■記念講演会（場所はいずれも生涯学習室）

## 第1回「武田信虎と信玄」

・日時：3月27日（土）13：30～15：00

・講師：平山 優 氏（武田氏研究会副会長）

## 第2回「義信事件と対今川氏外交」

・日時：4月3日（土）13：30～15：00

・講師：丸島和洋 氏（東京都市大学准教授）

## 第3回「上杉氏にとっての川中島合戦」

・日時：4月29日（木・祝）13：30～15：00

・講師：福原圭一 氏（上越市公文書センター上席学芸員）

## 第4回「武田信玄と織田信長・徳川家康」

・日時：5月8日（土）13：30～15：00

・講師：柴 裕之 氏（東洋大学非常勤講師）

## ■かいじあむ講座（場所はいずれも生涯学習室）

## 第1回「基礎から学ぶ武田信玄」

・日時：3月21日（日）13：30～15：00

・講師：海老沼真治（学芸員）

## 第2回「絵画で語り継がれる武田信玄」

・日時：5月2日（日）13：30～15：00

・講師：松田美沙子（学芸員）



展覧会ちらし



展示風景

■《第2回》TKD24総選挙、TKDお城総選挙

- ・投票期間：3月13日（土）～4月25日（日）
- ・結果発表：5月1日（土）
- ・総投票数：3,865票（TKD24）、3,137票（お城）

■学芸員によるギャラリートーク

- ・日時：3月28日（日）、4月18日（日）、5月3日（月・祝） 15：00から60分程度
- ・場所：生涯学習室

【出品資料一覧】

●国宝、◎重要文化財、○都道府県指定文化財、◇市町村指定文化財

番号	指定	資料名	員数	年代	所蔵者	展示期間
序章 信玄のすがた						
1		武田信玄像（土佐光起筆）	1幅	貞享5年 （元禄元年・1688）	山梨県立博物館	前期
2	◇	武田信玄像（柳沢吉里筆）	1幅	享保7年（1722）	恵林寺（信玄公宝物館保管）	後期
3		武田信玄像	1幅	江戸時代	山梨県立博物館	前期
4		武田信玄画像	1幅	江戸～明治時代	東京大学史料編纂所	後期
5	◎	武田信玄像 寛政癸丑八月八日	1点	寛政5年（1793）	東京大学史料編纂所	後期
6		武田晴信像（複製）	1幅		山梨県立博物館 （原資料：高野山持明院）	
7		武田二十四将図	1幅	江戸時代	山梨県立博物館	後期
8		武田二十四将図	1幅	江戸時代	南松院（山梨県立博物館寄託）	前期
第1章 誕生から家督相続						
9	◎	武田信虎像（武田信康筆）	1幅	天正2年（1574）	大泉寺	前期
10	◎	武田信虎夫人像（武田信康筆）	1幅	天文22年（1553）	長禅寺（東京国立博物館寄託）	後期
11	◇	武田信繩制札	1点	明応5年（1496）	三ツ熊野神社（山梨県立博物館寄託）	
12	◇	武田系図	1巻	戦国時代	円光院	
13		武田系図	1巻	江戸時代	南松院（山梨県立博物館寄託）	
14	○	塩山向嶽禅庵小年代記	1冊	戦国～江戸時代	向嶽寺	
15		木馬	1台	戦国時代か	長禅寺（山梨県立博物館寄託）	
16	○	武田晴信願文	1通	天文14年（1545）	多賀大社	
17		八幡宮御祭御供日記	1冊	大永2年（1522）	個人（山梨県立博物館寄託）	
18	○	武田信虎判物（10月28日、塩山向岳庵宛）	1通	戦国時代	向嶽寺	
19	○	武田信虎判物（大永6年9月10日）	1通	大永6年（1526）	向嶽寺	
20	○	王代記	1冊	戦国時代	個人	
21		今川義元書状（9月23日、甲府宛）	1通	天文10年（1541）	個人（山梨県立博物館寄託）	
22	◎	武田八幡宮宝殿造営棟札	1枚	天文10年（1541）	武田八幡宮	
23		武田家朱印状 （天文11年3月7日、渋江右近丞宛）	1通	天文11年（1542）	山梨県立博物館	
24		古府中絵図	1鋪	慶応4年（1868）	山梨県立博物館	
25		信玄公御屋形図	1鋪	江戸時代	山梨県立博物館	
26		武田氏館跡出土品・武田城下町遺跡出土品	22点	戦国時代	甲府市教育委員会	
第2章 初めての敗戦						
27	○	神使御頭之日記	1冊	戦国時代成立、 文化14年（1817）写	個人（茅野市教育委員会管理）	
28	○	守矢頼真書留	1冊	戦国時代	個人（茅野市教育委員会管理）	
29	○	武田晴信願文（天文11年9月24日、諏方法性上下 大明神御宝前宛）	1通	天文11年（1542）	個人（茅野市教育委員会管理）	
30	○	渡唐天神像（伝 武田信玄筆）	1幅	戦国時代	一蓮寺	前期
31	○	歌器の図	1幅	戦国時代	熊野神社	後期
32	◇	和漢聯句	1点	天文15年（1546）	積翠寺	
33	◇	武田信玄和歌短冊	1点	戦国時代	甲斐國一宮浅間神社	

34		甲州法度之次第	1冊	天文16~23年 (1547~54) 成立、 天保14年(1843) 写	山梨県立博物館	
35		後奈良天皇繪旨 (天文16年2月17日、武田大膳大夫宛)	1通	天文16年(1547)	武田神社	
36	○	村上義清書状(2月22日、小林平四郎宛)	1通	天文17年(1548)	個人(群馬県立歴史博物館寄託)	
37	○	狛犬	6軀	天文17年(1548)	大井俣窪八幡神社	
38		武田晴信判物 (天文17年4月吉日、山本菅介宛)	1通	天文17年(1548)	個人(安中市学習の森ふるさと学習館寄託)	
39		武田晴信自筆書状(4月20日、山本菅助宛)	1通	永禄元年(1558)	個人(安中市学習の森ふるさと学習館寄託)	
40	○	武田晴信判物 (天文19年7月2日、真田弾正忠宛)	1通	天文19年(1550)	真田宝物館	前期
41	○	武田晴信書状 (10月27日付、真田弾正忠宛)	1通	弘治3年(1557)	真田宝物館	後期
42		陣鐘	1点	弘治3年(1557)	真田宝物館	
43		法螺貝	1点	戦国時代	真田宝物館	
44	◎	般若心経(後奈良天皇筆)	1巻	天文19年(1550)	甲斐國一宮淺間神社	前期
45	○	太刀 銘国次	1口	戦国時代	甲斐國一宮淺間神社	
46		武田晴信判物(天文20年2月5日、甲州一宮大明神御宝殿前宛)	1通	天文20年(1551)	甲斐國一宮淺間神社	後期
47		武田晴信書状(5月16日、千村右衛門尉・山村三郎次郎宛)	1通	天文24年(1555) か	山梨県立博物館	
48		蛭藻金・基石金(福寺遺跡出土)	20点	戦国時代	山梨県立博物館	
49		熔融物付着土器(黒川金山遺跡出土)	11点	戦国時代	甲州市教育委員会	
50		熔融物付着土器(勝沼館跡出土)	9点	戦国時代	甲州市教育委員会	
第3章 川中島の戦い						
51	○	上杉謙信并二臣像	1幅	室町~江戸時代	常安寺(新潟県立歴史博物館寄託)	前期
52		上杉謙信像(鳥谷幡山筆)	1幅	明治45年(1912) 賛	米沢市上杉博物館	後期
53		武田晴信書状(2月1日、北条宛)	1通	戦国時代	山梨県立博物館	
54		武田晴信自筆書状 (8月10日、曾禰掃部助宛)	1通	天文22~24年頃(1553~5)	個人	
55		武田晴信感状 (天文24年7月19日、秋山式部右衛門尉宛)	1通	天文24年(1555)	一般財団法人太陽コレクション	
56		武田信繁書状(7月28日)	1通	天文24年(1555) 又は 弘治3年(1557)	長野市立博物館	
57	◇	武田晴信感状 (弘治3年3月10日、三井助七郎宛)	1通	弘治3年(1557)	個人(山梨県立博物館寄託)	
58		武田晴信自筆書状 (4月13日、長坂筑後守・日向大和守宛)	1通	弘治3年(1557) か	長野市立博物館	
59	○	武田晴信書状(6月23日、市河藤若宛)	1通	弘治3年(1557)	山梨県立博物館	
60	◇	武田晴信感状 (弘治3年7月11日、三井助七郎宛)	1通	弘治3年(1557)	個人(山梨県立博物館寄託)	
61		武田晴信書状(7月4日、愛宕山西坊宛)	1通	弘治3年(1557) か	信玄公宝物館	
62		善光寺古伽藍図	1鋪	江戸時代	善光寺	
63		武田家朱印状 (戊辰11月10日、大本願御房宛)	1通	永禄11年(1568)	善光寺	
64		上杉政虎起請文 (永禄4年閏3月16日、築田中務太輔宛)	1通	永禄4年(1561)	個人	
65		武田信玄自筆書状(8月20日、彦六郎宛)	1通	永禄4年(1561)	個人	
66		川中島合戦図屏風	1双	江戸時代	米沢市上杉博物館	3/13-4/11
67		川中島合戦図屏風(複製)	1隻		長野県立歴史館	4/12-5/10
68		川中島合戦図(菱川辰政筆)	1幅	江戸時代	山梨県立博物館	4/12-5/10
69		川中島合戦図	1鋪	江戸時代	山梨県立博物館	4/12-5/10
70	◎	上杉政虎感状(9月13日、色部修理進宛)	1通	永禄4年(1561)	新潟県立歴史博物館	前期
71	◎	上杉政虎感状(9月13日、安田治部少輔宛)	1通	永禄4年(1561)	新潟県立歴史博物館	後期
72		武田家朱印状(戊辰6月7日、山本菅助宛)	1通	永禄11年(1568)	個人(安中市学習の森ふるさと学習館寄託)	
73	○	武田家朱印状 (永禄11年11月17日、市川新六郎宛)	1通	永禄11年(1568)	山梨県立博物館	4/12-5/10
74	◇	孫子の旗	1旒	戦国時代	個人	
75		小桜韋威鎧 兜・大袖付(復原模造)	1領		山梨県立博物館	

76	◇	楯無鎧写	1額	寛政7年(1795)	鹿嶋神社(白河市歴史民俗資料館寄託)	
77		楯無鎧掛守	1幅		個人	
78		信玄堤絵図	1巻	貞享5年(1688)成立、 文政12年(1829)写	山梨県立博物館	
79	○	武田家朱印状(永禄3年8月2日)	1通	永禄3年(1560)	個人(山梨県立博物館寄託)	
80	○	武田家朱印状(亥7月6日)	1通	永禄6年(1563)	個人(山梨県立博物館寄託)	
第4章 上野・駿河へ						
81	○	北條氏康画像	1幅	戦国時代	早雲寺	前期
82		北條氏政画像(土佐光起筆)	1幅	寛文10年(1670)か	早雲寺	後期
83	○	武田信玄書状(永禄4年12月21日、小林監物宛)	1通	永禄4年(1561)	個人(群馬県立歴史博物館寄託)	
84		上杉輝虎書状(8月24日、富岡主税助宛)	1通	永禄5年(1562)	群馬県立歴史博物館	前期
85		上杉輝虎書状(10月16日、富岡主税助宛)	1通	永禄6年(1563)	群馬県立歴史博物館	後期
86		武田信玄書状(4月7日、源三宛)	1通	永禄6年(1563)	個人	
87		北条氏康書状(2月13日、小山田弥三郎宛)	1通	永禄7年(1564)	山梨県立博物館	
88		武田信玄感状 (永禄9年3月晦日、西窪蔵千世宛)	1通	永禄9年(1566)	一般財団法人太陽コレクション	
89	◇	武田信玄判物 (永禄7年12月1日、快川和尚宛)	1通	永禄7年(1564)	恵林寺(信玄公宝物館保管)	
90	○	板絵三十六歌仙図	8面	永禄6年(1563)	美和神社	展示替えあり
91		過去帳(甲州月牌帳)	1帖	戦国~江戸時代	高野山櫻池院	
92		武田信玄書状(12月23日、徳河宛)	1通	永禄11年(1568)	恵林寺(信玄公宝物館保管)	
93		北条氏康書状(2月25日、富士宛)	1通	永禄12年(1569)	静岡県立中央図書館	
94		武田信玄書状(5月5日)	1通	永禄12年(1569)	山梨県立博物館	
95	●	足利義昭御内書 (2月8日、上杉弾正少弼宛)	1通	永禄12年(1569)	米沢市上杉博物館	3/13-4/11
96	●	織田信長書状(2月10日、直江大和守宛)	1通	永禄12年(1569)	米沢市上杉博物館	4/12-5/10
97	◇	七条袈裟	1領	永禄12年(1569)	慈眼寺	
98	○	六十二間筋兜	1頭	天文6年(1537)	寒川神社	
99		三増峠合戦図	1鋪	江戸時代	山梨県立博物館	
100		武田信玄書状(2月22日、高山大和守宛)	1通	永禄13年(1570)	群馬県立歴史博物館	
101		武田信玄起請文(元亀元年12月7日、洗心斎宛)	1通	元亀元年(1570)	個人(山梨県立博物館寄託)	
102	◇	武田信玄判物 (元亀元年12月1日、円光院宛)	1通	元亀元年(1570)	円光院	
103		黄八幡の旗	1旒	戦国時代	真田宝物館	
104		武田家朱印状 (元亀2年2月13日、田辺四郎左衛門尉宛)	1通	元亀2年(1571)	個人	
105		今川氏真判物 (元亀2年10月26日、富士蔵人宛)	1通	元亀2年(1571)	静岡県立中央図書館	
106		武田家朱印状(壬申4月2日、原隼人佑宛)	1通	元亀3年(1572)	静岡県立中央図書館	
107		武田信玄陣立書	1巻	戦国時代	山梨県立博物館	
第5章 天下人との戦い、信玄の死去						
108	○	不動明王及二童子像	3軀	元亀3年(1572)	恵林寺	後期
109	○	勝軍地藏騎馬像	1軀	戦国時代	清水寺(山梨県立博物館寄託)	
110	○	刀八毘沙門天及び勝軍地藏坐像	2軀	戦国時代	円光院	
111		鎧不動尊像(伝 武田信廉筆)	1幅	戦国時代	恵林寺(信玄公宝物館保管)	前期
112		普賢延命像(伝 武田信廉筆)	1幅	戦国時代	東京国立博物館	4/12-5/10
113		東照大権現像	1幅	江戸時代	徳川記念財団	前期
114		徳川家康 三方ヶ原戦役画像(複製)	1点		徳川美術館	後期
115		武田信玄書状(7月14日、弾正忠宛)	1通	元亀元年(1570)か	一般財団法人太陽コレクション	
116		武田信玄書状(10月27日、一色宛)	1通	元亀元年(1570)	武田神社	
117	●	徳川家康起請文(10月8日、上杉宛)	1通	元亀元年(1570)	米沢市上杉博物館	3/13-4/11
118	●	酒井忠次書状(10月8日、村上源五宛)	1通	元亀元年(1570)	米沢市上杉博物館	4/12-5/10
119	◎	猿図(伝 毛松筆)	1幅	南宋時代	東京国立博物館	3/13-4/11
120	◎	武田信玄寄進状 (7月19日、庁務法眼御房宛)	1通	元亀2年(1571)か	東京国立博物館	3/13-4/11
121		武田信玄判物 (元亀3年10月10日、三輪次郎右衛門尉宛)	1通	元亀3年(1572)	武田神社	







ii 特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～

【会 期】令和3年7月10日（土）～8月7日（土）

会期日数29日、展示日数25日

※本来は9月6日（月）〈会期日数45日（開館日数39日）〉

までの開催だったが、「山梨県による新型コロナウイルス感染防止への臨時特別協力要請」（令和3年8月6日付）ならびに「山梨県新型コロナウイルス感染拡大防止への協力要請」、及び「まん延防止等重点措置」（令和3年8月18日付）を受け休館となったことに伴い、中止となった。

【主 催】山梨県立博物館、UTYテレビ山梨

【共 催】笛吹市、一般社団法人笛吹市観光物産連盟

【協 賛】株式会社早野組、株式会社フォネット、株式会社武州鷲

【後 援】朝日新聞甲府総局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局

【特別展示協力】西村裕次（M1号）、若狭新一（MONSTERS INC.）

【協 力】東宝株式会社、株式会社東宝映像美術、山梨交通株式会社、株式会社ADKエモーションズ、株式会社イーステージ、株式会社ロム・シェアリング、大賀運輸株式会社

【スペシャルアドバイザー】モグラハウス

【展示協力】原口智生コレクション、有限会社ツエニー、村瀬継蔵、なべやかん、隅谷和夫、吉羽孝雄（国分寺工房）、三木悠輔、ビビッドマン製作委員会、石井良和

【企画・制作】特撮のDNA展制作委員会

【会 場】企画展示室

【入場者数】14,691名

【担 当】学芸員 近藤暁子、西願麻以

【概 要】

昭和29年（1954）に第1作が公開されて以来、現在も新作が製作され続ける『ゴジラ』。ハリウッドでも製作され世界中に多くのファンを持つ『ゴジラ』は単なる娯楽大作ではなく、地球の環境・社会問題などを下地とした奥深い作品であり、その撮影技術等と併せ「ジャパンカルチャー」として注目されている。本展では、200点以上の貴重な資料から、製作の社会背景などの歴史的側面や日本が世界に誇る特殊撮影技術の数々を紹介した。また、製作に大きく関与した東宝創設者の小林一三（韮崎市）や怪獣造形作家の第一人者的存在の高山良策（西桂町）なども紹介して山梨独自の展覧会とし、国内外、県内外からの誘客を図ることを目的とした。

【関連イベント】

■スペシャルトークショー（テレビ山梨主催・場所はいずれも生涯学習室）

①日 時：7月10日（土） 13：30～15：00

・ゲスト：若狭新一氏（造形師）

・参加者：32名

②日 時：7月31日（土） 13：30～15：00

・ゲスト：浅田英一氏（特技監督）

・参加者：27名



展覧会ちらし



展示風景

※8月21日(土)に予定していた手塚昌明氏(映画監督)は中止。

■学芸員による「展覧会の見どころガイド」

- ・日 時：7月25日(日) 14:00から40分程度
- ・場 所：生涯学習室
- 参加者：17名
- ※8月8日(日)、8月29日(日)は中止

【出品資料一覧】

アイテム	サイズ(cm)	映画タイトル	公開年
	H×W×D		
モスラ成虫 ※村瀬継蔵がリメイク		モスラ	1961
シボレー型パトカー	H22W56D24	モスラ	1961
島倉二千六・画 インファント島		モスラ	1961
スーパーメカゴジラ ※VSシリーズ	H200W120D185 ※台座H30W150D20	ゴジラVSメカゴジラ	1993
メカゴジラ2 足		メカゴジラの逆襲	1973
機龍 胸パーツ		ゴジラ×メカゴジラ	2002
メカゴジラ 設定資料	B1(H103W72.8)タテ2連貼り	アニメ版GODZILLA 2 決戦起動増殖都市	2018
高山良策 額装絵画			
高山良策 額装絵画			
高山良策 手彫りお面			
映画に登場した新聞(小道具) 劇中新聞			
シン・ゴジラ 1/60 立像	H200※台座付き	シン・ゴジラ	2016
轟天号 デザイン 小松崎茂 画	H35W42定形外(白木)	海底軍艦	1963
轟天号 デザイン 小松崎茂 画	H35W42定形外(白木)	海底軍艦	1963
ミステリアンドーム デザイン 小松崎茂 画	H39W51定形外(白木)	地球防衛軍	1957
宇宙ステーション デザイン 小松崎茂 画	H40W47定形外(白木)	地球防衛軍	1957
ビクトリアル・スケッチ	H28.8W37.9太子判(黒)	海底軍艦	1963
ビクトリアル・スケッチ	H28.8W37.9太子判(黒)	海底軍艦	1963
ビクトリアル・スケッチ	H28.8W37.9太子判(黒)	宇宙大戦争	1959
ビクトリアル・スケッチ	H28.8W37.9太子判(黒)	宇宙大戦争	1959
ビクトリアル・スケッチ	H28.8W37.9太子判(黒)	日本誕生	1959
ビクトリアル・スケッチ	H28.8W37.9太子判(黒)	世界大戦争	1961
ビクトリアル・スケッチ	H28.8W37.9太子判(黒)	妖星ゴラス	1962
ビクトリアル・スケッチ	H28.8W37.9太子判(黒)	妖星ゴラス	1962
ビクトリアル・スケッチ	H28.8W37.9太子判(黒)	ガス人間第一号	1960
ビクトリアル・スケッチ	H28.8W37.9太子判(黒)	モスラ	1961
ビクトリアル・スケッチ	H28.8W37.9太子判(黒)	モスラ	1961
インファント島の地図	H45.5W63定形外(白木)	ゴジラVSモスラ	1992
劇中で使用されたラドンの絵(1)	H27.5W36定形外(白木)	空の大怪獣 ラドン	1956
劇中で使用されたラドンの絵(2)	H27.5W36定形外(白木)	空の大怪獣 ラドン	1956
劇中で使用されたラドンの絵(3)	H27.5W36定形外(白木)	空の大怪獣 ラドン	1956
M1号 プラモデル箱絵原画 「轟天号」	H34W53小全紙判(黒)	海底軍艦	1991
バンダイ プラモデル箱絵原画 「ケルマデック号」	H26W38小全紙判(黒)	日本沈没	1975
描き下ろし表紙絵 「キングコング対ゴジラ」	H25.4W36.4小全紙判(黒)		1991
描き下ろし裏表紙絵 「キングコング対ゴジラ」	H25.4W36.4小全紙判(黒)		1991
マルザン プラモデル箱絵原画 「エビラ」	H44W31半切判(黒)	南海の大決闘	1966
松代玩具 ダートゲーム箱絵原画 「南海の大決闘」	H32W56大全紙判(黒)	南海の大決闘	1966
朝日ソノラマ「怪獣大襲撃」原画 「ゴジラ」	H31.5W42小全紙判(白木)		1970
朝日ソノラマ「怪獣大襲撃」原画 「キングギドラ」	H31.5W42小全紙判(白木)		1970
朝日ソノラマ「南海の大決闘」ソノシート 原画「エビラ」	H21W42半切判(白木)		1966
同上	直径11半切判(白木)		同上
朝日ソノラマ「怪獣大図鑑」原画 「キングギドラ,ゴジラ」	H29.5W32半切判(白木)		1966
朝日ソノラマ「怪獣大図鑑」原画 「ラドン,バラゴン」	H32W20.5半切判(白木)		1966
朝日ソノラマ「怪獣大図鑑」原画 「モスラ,バラン」	H32W20.5半切判(白木)		1966
朝日ソノラマ「南海の大決闘」ソノシート 原画	H21W42半切判(白木)	南海の大決闘	1966
朝日ソノラマ「南海の大決闘」ソノシート 原画「島」	H19.5W41.5半切判(白木)	南海の大決闘	1966
児童誌原画「ゴジラ」	H32.5W24大全紙判(黒)		
未使用原画「ゴジラ」	H78.2W54.8大判(黒)		
朝日ソノラマ「怪獣大襲撃」原画 「モゲラ,ドゴラ,バラゴン」	H31W43.5大全紙判(黒)		1970
中野使用画コンテ	B5ヨコ	メカゴジラの逆襲	1975
同コンテ 中ページ(1)	B5ヨコ	メカゴジラの逆襲	1975
同コンテ 中ページ(2)	B5ヨコ	メカゴジラの逆襲	1975
同コンテ 中ページ(3)	B5ヨコ	メカゴジラの逆襲	1975
同コンテ 中ページ(4)	B5ヨコ	メカゴジラの逆襲	1975
同コンテ 中ページ(5)	B5ヨコ	メカゴジラの逆襲	1975

同コンテ 中ページ(6)	B5ヨコ	メカゴジラの逆襲	1975
同コンテ 中ページ(7)	B5ヨコ	メカゴジラの逆襲	1975
同コンテ 中ページ(8)	B5ヨコ	メカゴジラの逆襲	1975
演出中の中野昭慶スナップ	B5ヨコ	メカゴジラの逆襲	1975
演出中の中野昭慶スナップ	B5ヨコ	メカゴジラの逆襲	1975
お祝いスナップ	B5ヨコ	メカゴジラの逆襲	1975
スタッフ集合写真	B5ヨコ	メカゴジラの逆襲	1975
スピップ号	H51W20D20	宇宙大戦争	1959
スピップ号	H60W31D31	宇宙大戦争	1959
ナタール円盤	H5W29D38	宇宙大戦争	1959
土星探査船 JX-1単号	H98W45D43	妖星ゴラス	1962
P-1号	H51W20D20	怪獣大戦争	1965
X星人の円盤	H13W28D28	怪獣大戦争	1965
地球連合宇宙局員のヘルメット	H33W39D34	怪獣大戦争	1965
X星人キャップ	H33W17D20	怪獣大戦争	1965
X星人サングラス	H2W14D16	怪獣大戦争	1965
ナミカワ銃	H11W4D19	怪獣大戦争	1965
ムーンライトSY-3号 ブースター付き	H126W36D30	怪獣総進撃	1968
轟天号	H26W18D77	海底軍艦	1963
轟天号ドリル	H23W20D55	海底軍艦	1963
MU帝国の宣戦布告の箱(大)	H3W10D8	海底軍艦	1963
MU帝国の宣戦布告の箱(小)	H2W8D7	海底軍艦	1963
海野魚人の名刺	H9W5.5	海底軍艦	1963
アース号	H59W115D169	怪獣プラネット	1994→1997
海底調査船あかつき2号	H30W33D120	メカゴジラの逆襲	1975
オキシジェン・デストロイヤー (アップショット用)	H17W60D19	ゴジラ	1954
ゴジラ(最古のモールド)	H23W12D35	ゴジラ	1954
ゴジラの卵	H30W38D28	怪獣島の決戦 ゴジラの息子	1967
ジェットジャガーマスク	H47W23D34	ゴジラ対メガロ	1973
メカゴジラ2 スーツ	H203W110D160	メカゴジラの逆襲	1975
ブラックホール第3惑星人の銃	H14W6D27	ゴジラ対メカゴジラ	1974
メカゴジラ2の電子頭脳	H20W28D28	メカゴジラの逆襲	1975
ゴジラ スーツ用頭部メカニック	H37W22D40	ゴジラ	1984
ゴジラ スーツ用ひな形(台座付)	H85W30D40	ゴジラ	1984
ピオランテオリジナルモデル	H29W61D60	ゴジラVSピオランテ	1989
ピオランテの触手	H17W17D40	ゴジラVSピオランテ	1989
ゴジラザウルス頭部	H50W28D59	ゴジラVSキングギドラ	1991
ゴジラ頭部	H49W36D60	ゴジラVSピオランテ	1989
バトラ成虫頭部	H42W42D31	ゴジラVSモスラ	1992
メカゴジラ頭部	H42W28D45	ゴジラVSメカゴジラ	1993
メカゴジラひな形	H37W17D11	ゴジラVSメカゴジラ	1993
ラドン頭部	H48W33D50	ゴジラVSメカゴジラ	1993
ファイヤーラドン頭部	H45W34D50	ゴジラVSメカゴジラ	1993
ラドンオリジナル	H30W25D20	ゴジラVSメカゴジラ	1993
ベビーゴジラ(台座付)	H37W20D84	ゴジラVSメカゴジラ	1993
スペースゴジラ頭部	H49W36D60	ゴジラVSスペースゴジラ	1994
MOGERA 頭部	H43W38D59	ゴジラVSスペースゴジラ	1994
リトルゴジラ	H100W80D120	ゴジラVSスペースゴジラ	1994
リトルゴジラ	H21W13D20	ゴジラVSスペースゴジラ	1994
リトルゴジラデザイン検討用初期モデル(2)	H23W14D20	ゴジラVSスペースゴジラ	1994
リトルゴジラデザイン検討用初期モデル(3)	H25W17D16	ゴジラVSスペースゴジラ	1994
スペースゴジラ胸像	H35W30D25	ゴジラVSスペースゴジラ	1994
デストロイア胸像	H41W45D43	ゴジラVSデストロイア	1995
デストロイア頭部	H90W90D60	ゴジラVSデストロイア	1995
デストロイアの手(1)	H27W21D20	ゴジラVSデストロイア	1995
デストロイアの手(2)	H27W21D20	ゴジラVSデストロイア	1995
ゴジラ上半身スーツ(水中撮影用)	H180W80D90	ゴジラ×メカゴジラ	2002
ゴジラの右腕	H77W20D24	ゴジラ2000ミレニアム	1999
ゴジラの背びれ(大)	H56W33D8	ゴジラ2000ミレニアム	1999
ゴジラの背びれ(小)	H40W30D7	ゴジラ2000ミレニアム	1999
メガニューラ	H50W110D78	ゴジラ×メガギラス G消滅作戦	2000
メガヌロンの卵(大)	H20W30D20	ゴジラ×メガギラス G消滅作戦	2000
メガヌロンの卵(小)	H4W6D4	ゴジラ×メガギラス G消滅作戦	2000
ゴジラ上半身スーツ(水中撮影用)	H90W80D180	ゴジラ2000ミレニアム	1999
信号銃	H15W3.5D19	ゴジラ×メガギラス G消滅作戦	2000
信号銃の弾丸	H2.1W2.1D7.5	ゴジラ×メガギラス G消滅作戦	2000
キングギドラ首パーツ	H14W25D3	ゴジラ・モスラ・キングギドラ 大怪獣総攻撃	2001
タイトルバック用 キングギドラの鱗	H160W80D10	ゴジラ・モスラ・キングギドラ 大怪獣総攻撃	2001
タイトルバック用 ゴジラの表皮	H160W80D10	ゴジラ・モスラ・キングギドラ 大怪獣総攻撃	2001
ゴジラ頭部	H70W53D57	ゴジラ・モスラ・キングギドラ 大怪獣総攻撃	2001
バラゴン頭部	H56W65D58	ゴジラ・モスラ・キングギドラ 大怪獣総攻撃	2001
アンギラスひな形	H16W26D48	ゴジラ・モスラ・キングギドラ 大怪獣総攻撃	2001
バラゴンひな形	H25W24D22	ゴジラ・モスラ・キングギドラ 大怪獣総攻撃	2001
バラゴンひな形	H17W20D43	ゴジラ・モスラ・キングギドラ 大怪獣総攻撃	2001

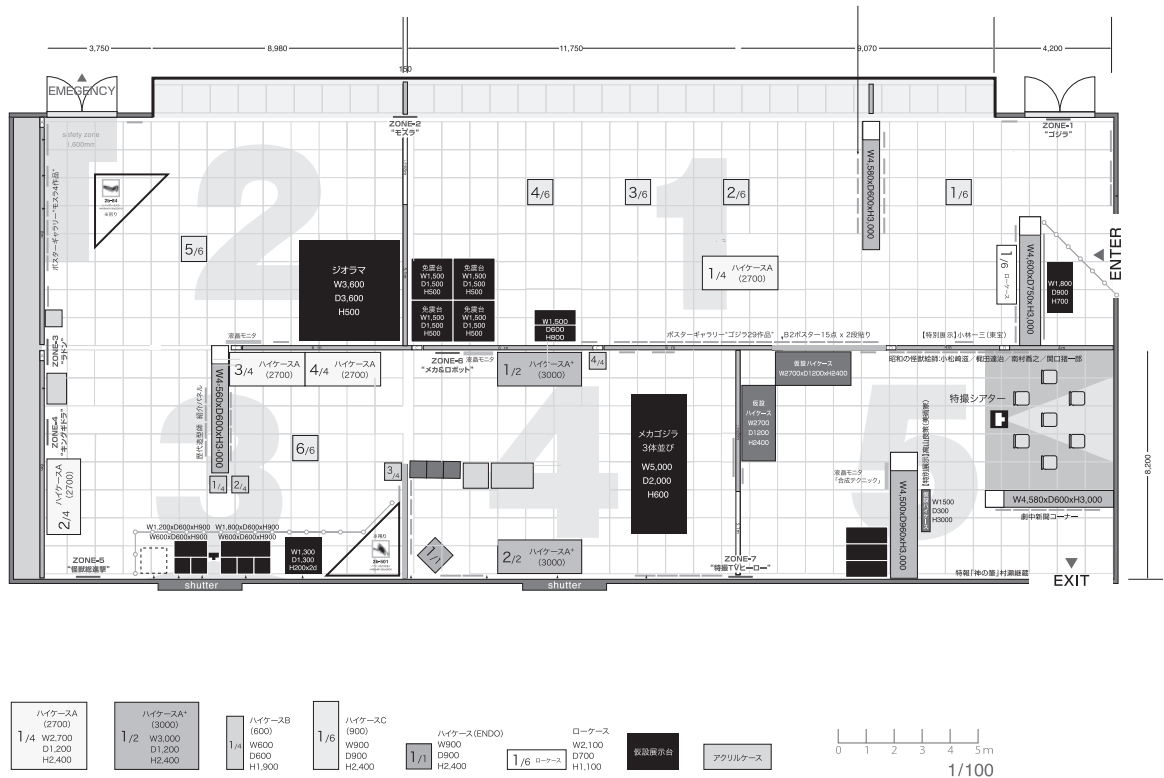
キングギドラ頭部ひな形	H20W11D14	ゴジラ・モスラ・キングギドラ 大怪獣総攻撃	2001
ゴジラひな形	H45W30D65	ゴジラ・モスラ・キングギドラ 大怪獣総攻撃	2001
モスラ成虫ひな形	H37W100D30	ゴジラ・モスラ・キングギドラ 大怪獣総攻撃	2001
ゴジラの骸骨	H160W70D300	ゴジラ×メカゴジラ	2002
ゴジラ(1954)上半身スーツ	H120W88D105	ゴジラ×メカゴジラ	2002
カメラバ	H50W80D120	ゴジラ×モスラ×メカゴジラ 東京SOS	2003
ゴジラ頭部(アップ用ギミック入り)	H58W40D62	ゴジラ×モスラ×メカゴジラ 東京SOS	2003
モスラ幼虫 初期テスト用	H60W60D100	ゴジラ×モスラ×メカゴジラ 東京SOS	2003
モスラ幼虫	H29W30D76	ゴジラ×モスラ×メカゴジラ 東京SOS	2003
モスラ幼虫	H29W30D76	ゴジラ×モスラ×メカゴジラ 東京SOS	2003
モスラの卵	H25W67D41	ゴジラVSモスラ	1992
ゴジラ	H85W45D170	ゴジラ×モスラ×メカゴジラ 東京SOS	2003
ゴジラ頭部	H50W40D60	ゴジラFINAL WARS	2004
モンスター X頭部	H25W40D60	ゴジラFINAL WARS	2004
ミニラ(台座付)	H61W40D45	ゴジラFINAL WARS	2004
ミニラ(台座付)	H170W90D114	ゴジラFINAL WARS	2004
小美人(2体セット)	H24W20D16(2体)	モスラ	1961
小美人のトランクケース	H36W38D25	三大怪獣 地球最大の決戦	1964
ロングショット用モスラ幼虫	H8W8D42	怪獣総進撃	1968
レインボーモスラ	H40W261D115	モスラ3 キングギドラ来襲	1998
レインボーモスラ	H40W261D115	モスラ4 キングギドラ来襲	1998
鎧モスラ	H32W28D60	モスラ5 キングギドラ来襲	1998
キングギドラ 首ギニョール	H100W40D70	モスラ6 キングギドラ来襲	1998
鎧モスラ・エターナル	H48W320D220	モスラ7 キングギドラ来襲	1998
ゴジラ(骨格入り・台座付)	H180W90D380	ゴジラ×メカギラス G消滅作戦	2000
バトラ	H15W130D46	ゴジラVSモスラ	1992
国連G対策センターエンブレム	H64W80D0.8	ゴジラVSメカゴジラ	1993
日本映画技術協会から贈られた楯	H17W22D12	ゴジラ	1954
東宝撮影所から贈られた賞状	H35W54(賞状額入り)	ゴジラ	1954
G作品円谷使用台本	H25.7W18.2D1	ゴジラ	1954
バラン頭部	H44W25D30	大怪獣バラン	1958
ゴジラ 右腕		ゴジラFINAL WARS	2004
ヘドラの眼	H10W12D3.5	ゴジラ対ヘドラ	1971
高射砲の砲身	H5W5D50	ゴジラ	1954
Gフォース隊員のキャップ	H14W18D27	ゴジラVSデストロイア	1995
機龍隊隊員のキャップ	H14W18D27	ゴジラ×メカゴジラ	2002
機龍の眼	H8W12D8	ゴジラ×メカゴジラ	2002
平成ゴジラ(川北ゴジラ)	H106W42D158	川北紘一監修	1990ごろ
シン・ゴジラ雛型	H52W40D100	シン・ゴジラ	2016
利光ゴジラ	H78W40D95	利光貞三作品	1980ごろ
ジェットジャガー飛行シーン用	H22W74D129	ゴジラ対メカロ	1973
SY-3号乗務員ヘルメット	H33W20D24	怪獣総進撃	1968
キングギドラ 首ギニョールギミック入り	H80W47D77	ゴジラ・モスラ・キングギドラ 大怪獣総攻撃	2001
白亜紀型キングギドラ 首ギニョール	H27W30D90	モスラ3 キングギドラ来襲	1998
銃	H15W4D25	怪獣総進撃	1968
銃	H15W7D27	ゴジラ対メカゴジラ	1974
銃	H11W5D29	メカゴジラの逆襲	1975
メカギラス 前脚	H68W47D24	ゴジラ×メカギラス G消滅作戦	2000
メガニューラ遠景用	H5W33D28	ゴジラ×メカギラス G消滅作戦	2000
3式機龍スーツ	H210W102D170	ゴジラ×メカゴジラ	2002
G作品 絵コンテ帖	H30W23.5D2.4	ゴジラ	1954
G作品 絵コンテ帖	H30W23.5D2.4	ゴジラ	1954
フィルム缶	直径26xD4	ゴジラ	1954
炎のトライブ フレイムトライバー	H9W28D30	超星神グランセイザー	2003
風のトライブ ウインドトライバー	H9W22D30	超星神グランセイザー	2003
大地のトライブ アーストライバー	H7W26D34	超星神グランセイザー	2003
水のトライブ アクアトライバー	H12W24D33	超星神グランセイザー	2003
セイザータリアス マスク	H29W24D36	超星神グランセイザー	2003
インパクター・ラディア マスク	H58W24D38	超星神グランセイザー	2003
インパクター・ルシア マスク	H32W29D26	超星神グランセイザー	2003
インパクター・ロギア マスク	H26W29D30	超星神グランセイザー	2003
デモンナイト マスク	H34W24D31	幻星神ジャスティライザー	2004
巨大ハデス マスク	H45W70D27	幻星神ジャスティライザー	2004
巨大クロガネ マスク	H53W71D60	幻星神ジャスティライザー	2004
ライオセイザー マスク	H30W25D30	超星艦隊セイザー X	2005
ネオデスカルジャッカル マスク	H34W24D40	超星艦隊セイザー X	2005
水将軍アクアル マスク	H35W34D19	超星艦隊セイザー X	2005
風将軍サイクリード マスク	H50W35D15	超星艦隊セイザー X	2005
雷将軍サンダーラ マスク	H28W24D16	超星艦隊セイザー X	2005
火将軍ブレアード マスク	H26W23D17	超星艦隊セイザー X	2005
シャークナックル	H7W8D8	超星艦隊セイザー X	2005
バラン全身(飛行形)	H40W61D150	大怪獣バラン	1958
ゾーンファイター マスク	H40W26D30	流星人間ゾーン	1973
ゾーンファイター ボディ	H53W40D10	流星人間ゾーン	1973

ゾーンエンジェル ヘルメット	H28W26D24	流星人間ゾーン	1973
ゾーンジュニア ヘルメット	H35W24D26	流星人間ゾーン	1973
ガロガ星人 マスク	H33W40D26	流星人間ゾーン	1973
ゾーンファイター 遠景撮影用	H30W16D8	流星人間ゾーン	1973
ゾーンエンジェル 操演・遠景用	H11W7D1	流星人間ゾーン	1973
恐銃ミサイル(大)	H32W7D7	流星人間ゾーン	1973
恐銃ミサイル(小)(2個あり)	H15W4D4	流星人間ゾーン	1973
ゾボット	H14W8D5	流星人間ゾーン	1973
ゾーンファイター飛行シーン用	H20W55D123	流星人間ゾーン	1973
ゾーンファイターの銃	H16W5.5D26	流星人間ゾーン	1973
ガロガ星人の円盤	H11W38D30	流星人間ゾーン	1973
ハイパワーレーザービーム車(ケース付)	H21W30D80	ゴジラ	1984
わだつみ※TV版	H8W7D20	日本沈没	1973
東京タワー (ケース・台座付)※TV版	H132W42D42	日本沈没	1973
ゴジラ胸像(台座付)	H57W34D30	ゴジラ	1954
M24戦車の車輪とキャタピラ(ケース付)	H22W33D12	ゴジラ	1954
東海道線車輜(台座付)	H21W21D73	ゴジラ	1954
ガントラス	H33W22D13	超星神グランセイザー	2003
ダイロギアン	H28W18D10	超星神グランセイザー	2003
ナックルライザー	H3.5W8.5D7	超星神グランセイザー	2003
セイザーレムズ マスク	H40W35D32	超星神グランセイザー	2003
セイザータウロン マスク	H39W29D36	超星神グランセイザー	2003
セイザーゴルビオン マスク	H30W31D41	超星神グランセイザー	2003
ダイロギアン マスク	H35W41D37	超星神グランセイザー	2003
ビズル星人 マスク	H36W27D30	超星神グランセイザー	2003
ビズル星人 宇宙船	H24W46D60	超星神グランセイザー	2003
92式メーサービーム戦車	H31W41D56	ゴジラVSビオランテ	1989
93式メーサー攻撃機	H11W25D41	ゴジラVSモスラ	1992
KIDS	H15W50D43	ゴジラVSキングギドラ	1991
モスラ成虫	H15W100D60	ゴジラVSモスラ	1992

※空欄部分は不明等

※ポスターパネル、ジオラマ等は含まない

【展示平面図】





## iii 日蓮聖人と法華文化

【会 期】令和3年10月2日(土)～11月23日(火・祝)

会期日数53日、展示日数46日

【主 催】「日蓮聖人と法華文化」展実行委員会、山梨県立博物館、新潟県立歴史博物館

【共 催】山梨日日新聞社、山梨放送

【後 援】身延町、朝日新聞甲府総局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、読売新聞甲府支局

【協 力】山梨交通株式会社

【会 場】企画展示室

【入場者数】8,672人

【担 当】学芸員 海老沼真治、中野賢治

## 【概 要】

鎌倉仏教の代表的な高僧として知られる日蓮は、法華経を中心とする布教の活動に努めたが、鎌倉幕府や諸宗派を批判したとして佐渡国(新潟県)へ配流された。様々な弾圧が続く苦難の中、佐渡で「開目抄」「観心本尊抄」などの重要書を著し、赦免されてからは甲斐国身延山(身延町)に入り、現在の身延山久遠寺の礎を築いた。本展では、生誕800年・佐渡入国750年の節目を迎えた日蓮について、とくに縁の深い新潟・山梨両県において、その生涯を振り返るとともに、現在まで伝えられた法華経の信仰とその文化を紹介した。新潟県立歴史博物館との共同開催による企画展である(新潟展は令和3年7月17日(土)～8月29日(日)に開催)。

## 【関連イベント】

## ■記念講演会(場所はいずれも生涯学習室)

## 第1回「法華経の旅人」

- ・日時：10月3日(日) 13:30～15:00
- ・講師：中尾 堯氏(立正大学名誉教授)

## 第2回「日蓮伝承と霊場の形成—佐渡・越後・甲斐—」

- ・日時：11月6日(土) 13:30～15:00
- ・講師：望月真澄氏(身延山大学教授)

## 第3回「佐渡と身延をつなぐもの—日蓮の書状をみる—」

- ・日時：11月14日(日) 13:30～15:00
- ・講師：寺尾英智氏(立正大学教授)

## ■学芸員による展覧会の見どころ解説

- ・日時：10月9日(土)、31日(日)、11月21日(日) 15:00から60分程度
- ・場所：生涯学習室

## ■ナイトギャラリーツアー

- ・日時：11月5日(金) 18:00～19:30
- ・場所：企画展示室



展覧会ちらし



展示風景



【出品資料一覧】

●：国宝 ○：重要文化財 ○：都県指定文化財 ◇：市町村指定文化財  
※展示期間に記載のないものは通期展示

No.	指定	資料名称	員数	材質	時代	所蔵者	展示期間
1 日蓮の思想と生涯							
1		日蓮聖人坐像	1軀	木造彩色	室町時代 16世紀	新潟県(長岡市)・大栄寺	
2		日蓮聖人真蹟断片	1幅	紙本墨書	鎌倉時代 13世紀	新潟県(長岡市)・大栄寺	
4		日蓮聖人像(波木井の御影)	1幅	紙本著色	室町時代 16世紀	山梨県(身延町)・久遠寺	10/2~11/1
5		日蓮聖人像	1幅	絹本著色	室町時代 16世紀	石川県(珠洲市)・本住寺	11/3~23
6	○	日蓮聖人像	1幅	紙本著色	桃山時代 17世紀	山梨県(身延町)・本遠寺	11/3~23
7		日蓮聖人像	1幅	紙本著色	天保3年(1832)	新潟県(三条市)・本成寺	10/2~11/1
8		釈迦如来坐像	1軀	木造	鎌倉時代 13世紀	山梨県(身延町)・本国寺 東京国立博物館寄託	
9	○	釈迦如来立像	1軀	木造	文永3年(1266)	山梨県(身延町)・本遠寺	
11		釈迦三尊像	3幅対	紙本著色	室町時代 16世紀	山梨県(身延町)・久遠寺	10/2~11/1
12	◎	釈迦八相図	3幅	絹本著色	鎌倉時代 14世紀	山梨県(身延町)・久遠寺	11/3~23
13		仏涅槃図	1幅	絹本著色	鎌倉末~南北朝時代 14世紀	新潟県(三条市)・本成寺	11/3~23
14		仏涅槃図	1幅	絹本著色	文政11年(1828)	新潟県(三条市)・本成寺	10/2~11/1
15		法華三部経 附 楼閣人物経箱	8巻	紺紙金泥	平安時代末 12世紀	新潟県(三条市)・本成寺	11/3~23
16	◎	細字法華経	1巻	紙本墨書	元徳3年(1331)	新潟県(佐渡市)・妙宣寺	10/2~25
17	○	明版法華経	7冊	紙本木版墨刷	景泰2年(明代 1451)	山梨県(身延町)・久遠寺	10/27~11/23
19		鬼子母神十羅刹女像	1幅	絹本著色	桃山時代 16世紀後半	新潟県(三条市)・本成寺 東京国立博物館寄託	11/3~23
20		鬼子母神十羅刹女像	1幅	絹本著色	元亀3年(1572)	富山県(富山市)・妙伝寺 石川県七尾美術館寄託	10/2~11/1
21	◇	三十番神像	1幅	絹本著色	鎌倉時代 14世紀	山梨県(甲州市)・立正寺	10/2~11/1
23		三十番神像	1幅	絹本著色	桃山時代 16世紀後半	新潟県(三条市)・本成寺	11/3~23
24		天台大師像	1幅	紙本著色	江戸時代 17~18世紀	山梨県(甲州市)・立正寺	10/2~25
25		伝教大師像	1幅	紙本著色	室町桃山時代 16世紀か	山梨県(身延町)・久遠寺	10/27~11/23
26	◇	妙見菩薩立像	1軀	木造	江戸時代か	新潟県(刈羽村)・玉泉寺	
27		七面大明神御影大曼荼羅	1幅	紺紙金泥	近代 19世紀か	山梨県(身延町)・七面山敬慎院	
28		日蓮聖人船中木筆の曼荼羅	1幅	紙本墨書	文永8年(1271)か	新潟県(佐渡市)・妙法寺	11/3~23
29		日蓮聖人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	文永9~11年(1272~74)	新潟県(佐渡市)・妙宣寺	11/3~23
30		日蓮聖人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	文永10年(1273)か	新潟県(三条市)・本成寺	10/2~25
31		日蓮聖人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	文永9~11年(1272~74)	山梨県(身延町)・本遠寺 山梨県立博物館寄託	10/27~11/23
32		日蓮聖人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	文永10年(1273)か	新潟県(佐渡市)・妙宣寺	10/2~11/1
33		日蓮聖人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	文永10年(1273)か	新潟県(三条市)・本成寺	10/2~11/1
34		日蓮聖人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	文永12年(1275)	新潟県(佐渡市)・妙宣寺	11/3~23
35		日蓮聖人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	文永12年(1275)以降	山梨県(身延町)・本遠寺 山梨県立博物館寄託	10/2~25
36		日蓮聖人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	弘安3年(1280)	山梨県(身延町)・久遠寺	10/2~11/1
37		日蓮聖人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	弘安3年(1280)	山梨県(南アルプス市)・妙了寺 山梨県立博物館寄託	11/3~23
38		日蓮聖人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	弘安4年(1281)	山梨県(甲州市)・立正寺	10/27~11/23
39	○	絵曼荼羅	1幅	絹本著色	室町時代 16世紀初頭頃か	新潟県(三条市)・本成寺	11/3~23
40	○	小絵曼荼羅	1幅	絹本著色	室町時代 16世紀初頭頃か	新潟県(三条市)・本成寺	10/2~11/1
41	○	宝塔絵曼荼羅	1幅	絹本著色	室町時代 16世紀初頭頃か	新潟県(長岡市)・妙法寺	10/2~11/1
42		宝塔絵曼荼羅	1幅	絹本著色	江戸時代初期 17世紀	新潟県(糸魚川市)・経王寺	11/3~23
43		一尊四菩薩像	5軀	木造	正和3年(1314)	新潟県(三条市)・本成寺	
44		一塔河尊像	1塔2軀	木造	江戸時代 17世紀後半	山梨県(身延町)・端場坊	
45	◇	日蓮聖人書状(弁殿御消息)	1幅	紙本墨書	文永9年(1272)	山梨県(甲府市)・信立寺	
46		日蓮聖人書状(四条金吾殿女房御返事)	1幅	紙本墨書	文永12年(1275)	東京国立博物館	10/27~11/23
47		立正安国論	1巻	紙本墨書	鎌倉時代 13世紀末か	山梨県(身延町)・久遠寺	10/2~11/1
48		守護国家論	1冊	紙本墨書	室町時代 15世紀末	山梨県(身延町)・久遠寺	10/2~11/1

49	◎	貞観政要	2巻	紙本墨書	鎌倉時代 13世紀	静岡県(富士宮市)・(北山)本門寺	11/3~23
50		日蓮聖人註画讃	5巻のうち	紙本着色	江戸時代 18世紀	東京都(大田区)・池上本門寺	場面変更あり
51		日蓮聖人註画讃	5帖のうち	紙本着色	桃山時代 16世紀後半	千葉県(鴨川市)・鏡忍寺	場面変更あり
52	○	日蓮聖人書状(下山御消息)断片	1幅	紙本墨書	建治3年(1277)	山梨県(富士河口湖町)・常在寺	
53		日蓮十一通御書(日蓮大聖人十一通之回状)	1冊	紙本木版墨刷	万治3年(1660)	立正大学図書館	10/27~11/23
54		日蓮聖人書状(日妙聖人御書)	1幅	紙本墨書	文永9年(1272)	静岡県(富士宮市)・本成寺	
55		開目抄要文	2冊	紙本墨書	文保元年(1317)以前	静岡県(富士宮市)・(北山)本門寺	10/2~11/1
56		観心本尊抄私記	5巻のうち2冊	紙本墨書	室町時代 15世紀	山梨県(身延町)・久遠寺	11/3~23
57		如説修行抄	1幅	紙本墨書	江戸時代 17世紀	東京国立博物館	11/3~23
58		佐渡始願本尊臨写(日亨[御本尊鑑])	1帖	紙本墨書	江戸時代 17~18世紀	山梨県(身延町)・久遠寺	
59	◎	日蓮聖人書状(国府尼御前御書)	1巻	紙本墨書	建治元年(1275)	新潟県(佐渡市)・妙宣寺	10/2~11
60	◎	日蓮聖人書状(阿仏坊尼御前御返事)	1巻	紙本墨書	弘安元年(1278)	新潟県(佐渡市)・妙宣寺	
61	◎	日蓮聖人書状(故阿仏坊尼御前御返事)	1巻	紙本墨書	弘安3年(1280)	新潟県(佐渡市)・妙宣寺	10/13~25
62	◇	波木井実長像	1軀	木造	鎌倉時代末 14世紀か	山梨県(身延町)・久遠寺	
63		日蓮聖人坐像	1軀	銅鑄	江戸時代 19世紀	静岡県(裾野市)・車返結社	
64	○	日蓮聖人書状(富木殿御書)	1幅	紙本墨書	文永11年(1274)	千葉県(鴨川市)・鏡忍寺	10/2~11/1
65		撰時抄	1冊	紙本墨書	江戸時代 17世紀	山梨県(身延町)・久遠寺	
66		報恩抄(断簡)【複製】	1幅	紙本墨書	建治2年(1276)	東京都(大田区)・池上本門寺	11/3~23
67		身延山御書(元和古活字版[録内御書])	1冊	紙本活版墨刷	江戸時代 17世紀	山梨県(身延町)・久遠寺	11/3~23
68		波木井殿御報(日朝[録内合本])	1冊	紙本墨書	室町時代 15世紀末	山梨県(身延町)・久遠寺	10/2~11/1
69	○	日蓮聖人御遷化記録	1冊	紙本墨書	鎌倉時代 13世紀	静岡県(静岡市)・(池田)本覚寺	10/27~23
70	○	身延山守番帳	1幅	紙本墨書	鎌倉時代 13世紀	東京都(大田区)・池上本門寺	10/2~10/25

2 佐渡・越後・甲斐の日蓮法華

71		千日尼夫妻立像	2軀	木造	江戸時代か	新潟県(佐渡市)・妙宣寺	
72		鏡	1面	銅鑄		新潟県(佐渡市)・妙宣寺	
73		念珠	1連			新潟県(佐渡市)・妙宣寺	
74		日興上人曼荼羅本尊	2幅	紙本墨書	74-1:乾元2年(1303)、74-2:徳治3年(1308)	新潟県(佐渡市)・世尊寺	74-2のみ
75		日静上人像	1幅	紙本着色	江戸時代 18世紀か	新潟県(佐渡市)・妙照寺	10/2~11/1
76		日現上人書状	1巻	紙本墨書	永禄2年(1559)	新潟県(佐渡市)・妙経寺	
77		日現上人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	永禄2年(1559)	新潟県(佐渡市)・妙経寺	11/3~23
78		題目額	1面	木製	江戸時代 17~18世紀	新潟県(佐渡市)・根本寺	
79	◇	普門品註画(狩野胖幽筆)	9幅のうち1幅	紙本墨画	江戸時代 18世紀か	新潟県(佐渡市)・実相寺	
80	◎	色部高長軍忠状案	2通(1巻)	紙本墨書	室町時代写 14~15世紀か	新潟県立歴史博物館	11/3~23
81		日増上人置文写	1巻	紙本墨書	江戸時代写	新潟県(長岡市)・妙法寺	10/2~11/1
82		日蓮聖人像・釈迦多宝如来像・鬼子母神十羅刹女像	3幅対のうち	紙本着色	明暦元年(1655)	新潟県(長岡市)・妙法寺	
83		日蓮宗妙法寺諸末寺制法	2冊	紙本墨書	元禄6年(1693)、11年(1698)	新潟県(長岡市)・妙法寺	
84		科註函	1櫃	木製漆塗	享保16年(1731)	新潟県(長岡市)・妙法寺	
86		日朗上人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	正応5年(1292)	新潟県(三条市)・本成寺	11/3~23
87		日印上人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	嘉暦元年(1326)	新潟県(三条市)・本成寺	10/2~11/1
88		日陣上人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	応永22年(1415)	新潟県(三条市)・本成寺	10/2~11/1
89		日陣上人像	1幅	絹本着色	室町~江戸時代 16~17世紀	新潟県(三条市)・本成寺	11/3~23
90		日存上人像	1幅	紙本着色	延宝8年(1680)	新潟県(三条市)・本成寺	10/2~11/1
91	○	日現上人像	1幅	絹本着色	明応10年(1501)	新潟県(三条市)・本成寺	11/3~23
92		本成寺本尊供養日記	1巻	紙本墨書	永仁6年(1298)	新潟県(三条市)・本成寺	10/2~11/1
93		鎌倉殿中間答記	2冊	紙本木版墨刷	文化13年(1816)	山梨県立博物館	11/3~23
94		日印上人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	嘉暦元年(1326)	新潟県(上越市)・長遠寺	10/2~11/1
95		日栖上人曼荼羅本尊	1幅	紺紙金字	天正4年(1576)	新潟県(新発田市)・蓮昌寺	11/3~23
96		日遠上人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	慶長12年(1607)	新潟県(新潟市)・真善寺	10/2~11/1
97		日董上人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	明治9年(1876)	新潟県(新発田市)・蓮昌寺	11/3~23

98		木沓	1足	木製漆塗	江戸時代 19世紀か	新潟県(新発田市)・蓮昌寺	
99		木剣	7本	木製	江戸時代 19世紀か	新潟県(新発田市)・蓮昌寺	
100	◇	祖書綱要刪略稿本	7冊	紙本墨書	寛政12年(1799)	新潟県(新潟市)・妙光寺	
101		越後国角田山妙光寺略縁起	1冊	紙本木版墨刷	文政11年(1828)	新潟県立歴史博物館	
102	◇	棟札	2枚のうち	木製	永禄元年(1558)、寛文11年(1671)	新潟県(新潟市)・本住寺	(寛文11年のみ)
103		権僧正叙任辞令	1通	紙本墨書	明治30年(1898)	新潟県(長岡市)・真浄寺	
104		日向上人坐像	1軀	木造彩色	江戸時代 17~18世紀か	山梨県(身延町)・樋澤坊	
105	◇	罽口	1口	銅鑄	正長2年(1429)	山梨県(身延町)・長遠寺	
106		日朝上人坐像	1軀	木造彩色	江戸時代 18~19世紀	山梨県(身延町)・覺林坊	
107		補施集	25冊	紙本墨書	長享2年(1488)~明応6年(1497)	山梨県(身延町)・久遠寺	
108		日朝上人法華經写経	8巻	紺紙金字	長禄元年(1457)	山梨県(身延町)・久遠寺	
109		日朝上人曼荼羅本尊	1幅	紙本墨書	明応4年(1495)	山梨県(身延町)・久遠寺	
110		元祖化導記	1冊	紙本墨書	天文11年(1542)	山梨県(身延町)・久遠寺	
111		西谷名目(西谷檀林典籍)	2冊	紙本木版墨摺	江戸時代 17~18世紀	身延山大学図書館	
112		板本尊	1枚	木製陰刻	室町時代前期 14世紀か	山梨県(身延町)・久遠寺	
113		棟札	1枚	木製	永禄元年(1558)	山梨県(身延町)・久遠寺	
114		久遠寺文書	2通	紙本墨書	戦国時代 16世紀	山梨県(身延町)・久遠寺	日叙上人書状10/2-11/1 徳川家康書状11/3-23
115		信立寺文書	2通	紙本墨書	桃山時代 16世紀	山梨県(甲府市)・信立寺	
116		遠光寺文書	1巻	紙本墨書	戦国~江戸時代 16~19世紀	山梨県(甲府市)・遠光寺	
117		日重上人曼荼羅本尊	1面	紙本墨書	天正18年(1590)	山梨県(笛吹市)・遠妙寺	
118		日乾上人曼荼羅本尊	1面	紙本墨書	慶長5年(1600)	山梨県(笛吹市)・遠妙寺	
119		日遠上人曼荼羅本尊	1面	紙本墨書	慶長11年(1606)	山梨県(笛吹市)・遠妙寺	
120		七字の経石	7個	石、墨書	鎌倉時代か	山梨県(笛吹市)・遠妙寺	
121	○	金銅金具装笈	1背	木製、金銅金具	室町時代 15~16世紀	山梨県(富士川町)・妙法寺	
122		日興上人曼荼羅本尊	2幅	紙本墨書	122-1:文保元年(1317)、122-2:嘉暦2年(1327)	静岡県・(北山)本門寺	122-1:11/3~23 122-2:10/2~11/1
123	○	勝山記	1冊	紙本墨書	桃山時代 16~17世紀	山梨県(富士河口湖町)・富士御室浅間神社	10/2~11/1
124	○	常在寺文書	3通	紙本墨書	戦国時代 16世紀	山梨県(富士河口湖町)・常在寺	1通:10/2~11/1 2通:11/3~23
125	◇	日遠上人坐像	1軀	木造	江戸時代 17世紀	山梨県(身延町)・北之坊	
126		文段経妙法蓮華経	10巻	紙本木版墨刷	慶長17年(1612)	山梨県(身延町)・久遠寺	
127		養珠院書状	2通	紙本墨書	江戸時代 17世紀	山梨県(身延町)・本遠寺	日遠宛:10/2-11/1 日乾宛:11/1-23
128		本堂棟札	1枚	木製、墨書	慶安3年(1650)	山梨県(身延町)・本遠寺	
129		靈宝目録	3冊	紙本墨書	室町~江戸時代 16~17世紀	山梨県(身延町)・久遠寺	
130		御書目録・録外目録	2冊	紙本木版墨刷	宝暦6年(1756)	山梨県立博物館	
131		身延文庫定(東藏)	1枚	木製、墨書	天和元年(1681)	山梨県(身延町)・久遠寺	
132		天海版一切経	3帖	版本活版墨刷	江戸時代 17世紀	山梨県(身延町)・久遠寺	
133	○	弘決外典抄	2帖	紙本墨書	平安時代 12世紀	山梨県(身延町)・久遠寺	10/2~11/1
134	◎	礼記正義	2冊	紙本木版墨摺	南宋 12世紀	山梨県(身延町)・久遠寺	10/2~11/1
135	◎	本朝文粹	1巻	紙本墨書	建治2年(1276)書写	山梨県(身延町)・久遠寺	11/3~23
136		日本書紀	4巻のうち	紙本墨書	明応9年(1500)	山梨県(身延町)・久遠寺	
137	●	夏景山水図	1幅	絹本淡彩	南宋 12~13世紀	山梨県(身延町)・久遠寺 東京国立博物館寄託	10/2~16
138	◇	靈昭女・昇降龍図	3幅対	絹本淡彩・墨画	元・明時代 13~14世紀か	山梨県(甲州市)・立正寺	10/2~11/1
139		羅漢像	1幅	絹本淡彩墨画	鎌倉時代 14世紀か	新潟県(三条市)・本成寺	11/3~23
140		大黒天図	1面	絹本墨画	鎌倉時代か	山梨県(甲州市)・立正寺	10/17~11/23
141		四季耕作図	4幅	紙本淡彩墨画	室町時代 16世紀か	山梨県(身延町)・久遠寺	11/3~23
142		花鳥図	2幅対	絹本著色	明時代 16世紀か	山梨県(身延町)・久遠寺	10/2~11/1
143		清正公像	1幅	絹本墨画	江戸時代か	山梨県(甲州市)・立正寺	10/17~11/23
144		万国総図	1幅	紙本木版彩色	江戸時代初期 17世紀	新潟県(三条市)・本成寺	10/17~11/1
145	○	翁三番叟絵扇額	2枚	板絵著色	寛永元年(1624)	新潟県(佐渡市)・実相寺	11/3~23
146	○	銅孔雀文髹	1面	銅鑄	南北朝時代 14世紀	山梨県(身延町)・本国寺 東京国立博物館寄託	
147		「行学院」扁額	1面	木製	江戸時代 17世紀	山梨県(身延町)・覺林坊	

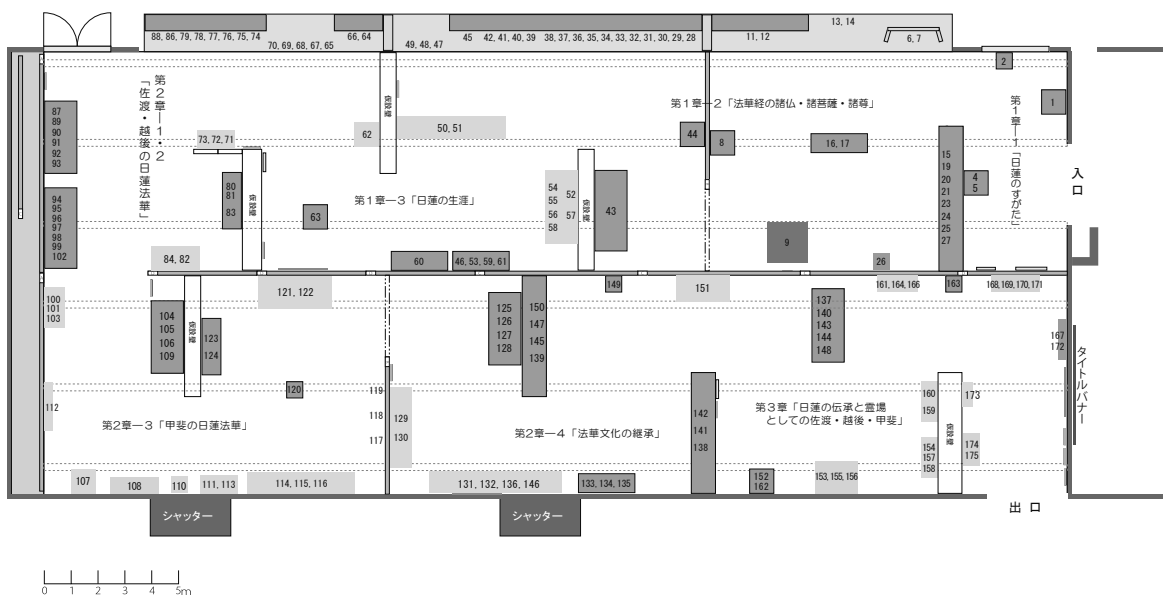
148	題目模様紙衣陣羽織	1領	渋紙・墨書	桃山時代 16世紀	東京国立博物館	11/3~23
149	茶台・柄香炉	2基	銀製	明治35年(1902)	新潟県(長岡市)・真浄寺	
150	富士の聖僧日蓮	1幅	絹本着色	昭和12年(1937)	新潟県(三条市)・久成院	10/2~11/1
151	日蓮聖人伝絵巻	2巻	絹本着色	昭和48年(1973)	山梨県(身延町)・久遠寺	場面変更あり

3 日蓮の伝承と霊場としての佐渡・越後・甲斐

152	佐渡奇瑞之図	1幅	紙本淡彩	室町時代 16世紀	山梨県(身延町)・久遠寺	10/2~11/1
153	本化高祖紀年録	11冊	紙本木版墨刷	寛政7年(1795)	山梨県立博物館	
154	日蓮聖人御一代記	1冊	紙本木版墨刷	寛政12年(1800)	山梨県立博物館	
155	日蓮大聖人御伝記	6冊	紙本木版墨刷	文化13年(1816)	新潟県立歴史博物館	
156	日蓮聖人一代図会	6冊	紙本木版墨刷	安政5年(1858)	山梨県立博物館	
157	日蓮大士真実伝	5冊	紙本木版墨刷	慶応3年(1867)	山梨県立博物館	
158	高祖御一代記	2冊	紙本木版墨刷	江戸時代 18~19世紀	山梨県立博物館	
159	高祖御一代略図	4枚	紙本木版多色刷	天保2年(1831)以後	立正大学図書館	1枚:10/2~11/1 3枚:11/3~23
160	日蓮聖人石和河にて輪飼の迷魂を濟度したまふ図	3枚続	紙本木版多色刷	明治18年(1885)	山梨県(笛吹市)・遠妙寺 山梨県立博物館寄託	10/2~11/1
161	東遊記	1冊	紙本木版墨刷	寛政7年(1795)	新潟県立歴史博物館	
162	日蓮ならびに四條金吾夫妻像	1幅	紙本木版墨刷		新潟県(長岡市)・大栄寺	11/3~23
163	◇ 小半鐘	1口	銅鑄	江戸時代	山梨県(南部町)・内船寺	
164	妙本寺文書	1巻	紙本墨書	寛文3年(1663)~延宝2年(1674)	新潟県(出雲崎町)・妙本寺	
166	御首題帳	1冊	紙本墨書	文政7年(1824)	新潟県(佐渡市)・本行寺	
167	甲州身延山久遠寺惣絵図	1鋪	紙本木版彩色	延宝2年(1674)	新潟県(出雲崎町)・善勝寺	11/3~23
168	延嶺順導記	1冊	紙本木版墨刷	天明8年(1788)	山梨県立博物館	
169	身延参詣諸国霊場独案内記	1冊	紙本木版墨刷	嘉永3年(1850)	山梨県立博物館	
170	法華諸国霊場記	1冊	紙本木版墨刷	嘉永5年(1852)	山梨県立博物館	
171	身延山図経	1冊	紙本木版墨刷	江戸時代 18世紀か	山梨県立博物館	
172	身延山絵図	1幅	紙本木版彩色	江戸時代	山梨県(身延町)・久遠寺	10/2~11/1
173	宿坊割定書	1幅	紙本墨書	天正20年(1592)	山梨県(身延町)・樋澤坊	
174	七面双六	1枚	紙本木版多色刷	文政5年(1822)	身延山大学	10/27~11/23
175	身延双六	1枚	紙本木版墨刷	江戸時代 19世紀	山梨県(身延町)・久遠寺	10/2~10/25

※新潟展のみ出陳の資料があるため、番号が抜けているところがある。

【展示平面図】



②シンボル展

i 生誕200年 若尾逸平

【会 期】令和3年5月22日（土）～令和3年6月28日（月）

会期日数38日・展示日数33日

【主 催】山梨県立博物館

【会 場】企画展示室

【入場者数】1,944人

【担 当】学芸員 小畑茂雄、丸尾依子

【概 要】

文政3年（1820）の生誕から200周年を迎える若尾逸平の生涯を通じて、歴史の舞台で活躍した逸平の等身大の人物像や、逸平の生涯からみえてくる日本や山梨の近代史のあゆみについて、県民を中心として関心を寄せていただく機会とした。

なお、スマートフォン利用を前提としたQRコードでの展示情報の補助を展開するなど、コロナ禍での開催に留意した構成を実践した。

【関連イベント】

■かいじあむ講座①「若尾逸平と鉄道事業」

日時：令和3年5月23日（日）13：30～15：00

会場：生涯学習室

講師：小畑茂雄（当館学芸員）

■かいじあむ講座②「伝記資料から見る若尾逸平像の再構築」

日時：令和3年6月13日（日）→6月27日（日）13：30～15：00

【※山梨県による新型コロナウイルス感染防止への臨時特別協力要請により延期】

会場：生涯学習室

講師：小畑茂雄（当館学芸員）

■古文書講座「若尾逸平に関する古文書を読む」

日時：令和3年6月26日（土）13：30～15：00

会場：生涯学習室

■あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば（場所はいずれもロビー）

「若尾銀行の立体カードを作ろう」

日時：令和3年5月23日（日）11：00から30分程度

「若尾逸平のプラバンストラップを作ろう」

日時：令和3年6月6日（日）11：00から30分程度

「若尾逸平物語」～逸平と幾造～

日時：令和3年6月27日（日）11：00から30分程度

■ギャラリートーク

日時：令和3年5月22日（土）、6月6日（日）、6月20日（日）

【※臨時特別協力要請により延期】→26日（土）15：00～

（各回とも1時間程度）

会場：シンボル展示室



展覧会ちらし



展示風景



## 【出品資料一覧】

## 第1章 逸平の人物像

資料名	所蔵・資料群	製作年	西暦	材質・形状
【伝記による逸平像の形成】				
1 起業秀才明治百商伝 第2巻 若尾逸平君伝	甲州文庫	明治13年	(1880)	書籍
2 名取淑子「たどりしあと」	山梨県立博物館	昭和53年	(1978)	書籍
3 松崎天民「甲州見聞記」	甲州文庫	大正元年	(1912)	書籍
【生涯愛した囲碁】				
4 碁盤一式	山梨県立博物館	明治20年	(1887)	木製
5 甲斐碁鑑	大木家文書	明治18年	(1885)	紙
6 第二十一世本因坊田村秀哉先生他招聘にて望仙閣での大囲碁会開催案内状	飯田文良氏旧蔵資料	明治44年	(1911)	紙
【「〇〇の手習い」】				
7 若尾逸平扇面	山梨県立博物館	明治40年代		紙本墨書
8 若尾逸平扇面	甲州文庫	明治43年	(1910)	紙本墨書
9 若尾逸平書蹟	甲州文庫	明治33年	(1900)	紙本墨書
10 若尾逸平の書	甲州文庫	明治39年	(1906)	紙本墨書
11 晩年の若尾逸平写真	山梨県立博物館	明治40年代～大正時代		写真

## 第2章 逸平とその時代

資料名	所蔵・資料群	製作年	西暦	材質・形状
【若尾逸平の時代を描く】				
12 内藤文治良「若尾逸平」	甲州文庫	大正3年	(1914)	書籍
13 若尾逸平一代図屏風	南アルプス市立美術館	大正時代か		屏風(紙本着色?)
【在家縁の若尾家】				
14 甲斐国西郡郷名尽	甲州文庫	江戸時代		紙
15 中巨摩郡町村取調書	若尾資料	大正5～7年	(1916～8)	冊子
16 徳島堰倉地図	古文書雑輯(1)	慶応4年	(1868)	紙
17 堰総代始末書	甲州文庫	天保9年	(1838)	紙
18 徳島堰用水心得方申渡に付請印書	甲州文庫	天保13年	(1842)	紙
【甲府での再出発と横浜進出】				
19 横浜忠右衛門より東川川村正次郎宛宛書簡	篠原家文書	慶応元年	(1865)	紙
20 横浜御免 生糸損金鏡	上野晴朗氏収集資料(歴史資料)	江戸時代か		紙
21 冥加金上納者番附	甲州文庫	慶応元年	(1865)	紙
22 東京日日新聞(戊辰年献金に付褒賞)	甲州文庫	明治5年	(1872)	紙
23 大小切騒動風聞飛脚状	太田家文書	明治5年	(1872)	紙
【甲府随一の商人からの飛躍】				
24 西山梨郡甲府総町家計貧富等級人名表(明治十三年度改正)	山梨中銀金融資料館	明治13年	(1880)	冊子
25 峡中生糸改会社印鑑届	甲州文庫	明治6年	(1873)	冊子
26 第十国立銀行創立証書	大木家文書	明治10年	(1877)	紙
27 第十国立銀行株主名簿	山梨中銀金融資料館	明治10年か	(1877)	冊子
28 山梨三重京都御巡幸御行列図	甲州文庫	明治13年	(1880)	未定
29 御巡幸日誌	甲州文庫	明治13年	(1880)	冊子
30 若尾勸農部所属組合功労賞盃	山梨県立博物館	不明		金属
31 家屋新築落成祝宴案内状	大木家文書	明治23年	(1890)	紙
【初代甲府市長と貴族院議員】				
32 貴族院多額納税長者議員写真帖	甲州文庫	明治23年	(1890)	冊子
33 貴族院多額納税者議員互選名簿	甲州文庫	明治27年	(1894)	冊子
34 書簡(貴族院議員若尾逸平慰労会案内状)	大木家文書	明治26年	(1893)	紙
【晩年の若尾逸平】				
35 若尾銀行預金案内	山梨中銀金融資料館	明治33年	(1900)	紙
36 第四十九聯隊関係資料	若尾資料	大正時代		冊子
37 甲府監獄新築記念写真帖	甲州文庫	明治45年	(1912)	紙
38 東宮殿下行啓記念写真帖	頼生文庫	大正元年	(1912)	冊子

## 第3章 逸平にまつわる群像と遺産

資料名	所蔵・資料群	製作年	西暦	材質・形状
【華麗なる一族】				
39 峡陽名士肖像	山梨県立博物館	明治42年	(1909)	紙





## ②シンボル展

## ii 曾我物語図屏風

【会 期】令和4年1月22日（土）～2月21日（月）

会期日数31日、展示日数26日

【主 催】山梨県立博物館

【会 場】企画展示室

【入場者数】1,483人

【担 当】学芸員 松田美沙子、小畑茂雄

## 【概 要】

建久4年（1193）、源頼朝が富士の裾野で巻狩を行った際、曾我十郎祐成・五郎時致兄弟は父の仇を討って本懐を遂げる。この出来事は謡曲や浄瑠璃、歌舞伎など多く芸能の題材となり、それらは「曾我物」と呼ばれるようになった。また、絵巻や屏風、錦絵など絵画化される機会も多く、さまざまな形となって長く語り継がれている。本展では、山梨県立博物館所蔵の2組の「曾我物語図屏風」を中心に、曾我兄弟の仇討ちについて紹介した。

## 【関連イベント】

## ■学芸員による「展覧会のオンライン見どころ解説」

- ・日時：2月11日（金・祝）14：00～15：00
- ・形式：インターネットによる配信（zoomでの実施）

※新型コロナウイルス感染拡大状況から、一部イベントを中止とした。

※以下中止したイベント

## ■記念講演会「曾我物語絵の系譜と読み解き」

- ・講師：井澤英理子氏（山梨県立美術館 学芸幹・学芸課長）
- ・日時：1月29日（土） 13：30～15：00
- ・会場：生涯学習室

## ■学芸員による「展覧会の見どころ解説」

- ・日時：1月23日（日）、2月11日（金・祝）、19日（土）14：00から30分程度
- ・会場：生涯学習室

## ■あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば（場所はいずれもロビー）

- ・「曾我物語の切組灯籠を作ろう」
- ・日時：2月6日（日）11：00から30分程度
- ・「ミニ屏風を作ってみよう！」
- ・日時：2月13日（日）11：00から30分程度
- ・「『寿曾我対面双六』を楽しもう」
- ・日時：2月20日（日）



展覧会ちらし

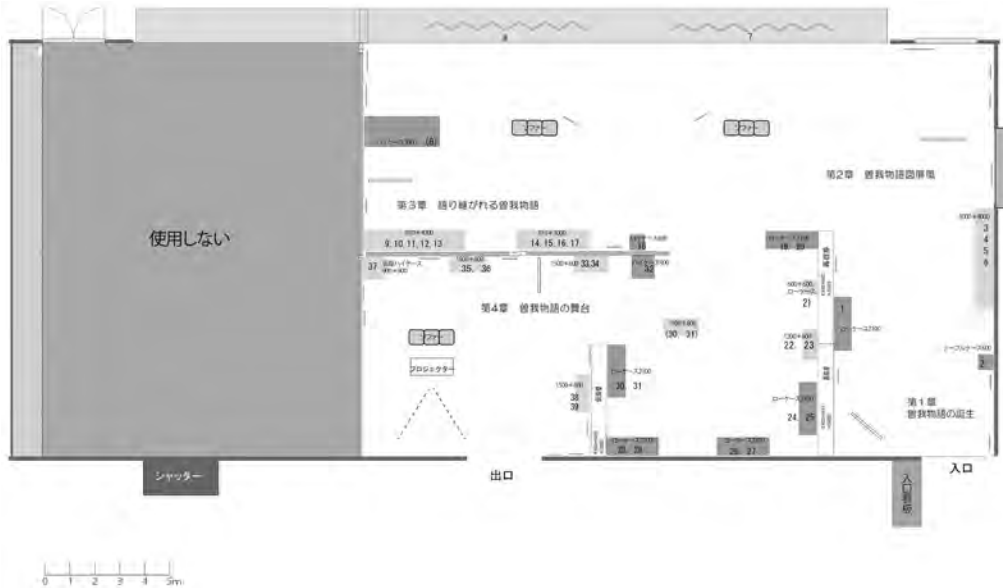


展示風景

【出品資料一覧】

No.	資料名	作者	法量(cm)	材質・技法	頁数	年代	所蔵先
1. 曾我物語の誕生							
1	『吾妻鏡』巻第10		28.9×21.1	紙・木版	1冊	寛永3年(1626)	山梨県立博物館
2	『吾妻鏡』巻第13		28.9×21.1	紙・木版	1冊	寛永3年(1626)	山梨県立博物館
3	『狩作法問書』		27.5×20.0	紙	1冊	享保4年(1719)	山梨県立博物館
4	七十一番職人歌合		29.8×1877.4	紙本着色	1巻	江戸時代	山梨県立博物館
5	『俳諧職人尽』前編		22.3×15.5	紙・木版	1冊	延享2年(1745)	山梨県立博物館(甲州文庫)
6	『観世流改訂謠本 望月』		23.3×16.6	本	1冊	大正7年(1918)	山梨県立博物館(長谷川家文書)
2. 曾我物語図屏風							
7	曾我物語図屏風		154.0×364.4	紙本金地着色	6曲1双	江戸時代	山梨県立博物館
8	曾我物語図屏風		157.3×351.6	紙本金地着色	6曲1双	江戸時代	山梨県立博物館
3. 語り継がれる曾我物語							
9	『観世流改訂謠本 小袖曾我』		23.0×16.5	本	1冊	大正6年(1917)	山梨県立博物館(長谷川家文書)
10	『観世流改訂謠本 夜討曾我』		23.2×16.5	本	1冊	大正6年(1917)	山梨県立博物館(長谷川家文書)
11	『夜討曾我』		22.5×15.9	本	1冊	明治41年(1908)	山梨県立博物館(長谷川家文書)
12	『観世流改訂謠本 禪師曾我』		23.2×16.5	本	1冊	大正7年(1918)	山梨県立博物館(長谷川家文書)
13	『尾花末露曾我菊』	河竹黙阿弥作	23.0×15.5	本	1冊	明治20年(1887)	山梨県立博物館(甲州文庫)
14	『富士野牧狩』		22.7×16.3	紙・木版	1冊	江戸時代	山梨県立博物館(甲州文庫)
15	『曾我物語』	田辺万斎作 歌川直政画	17.6×11.8	紙・木版	1冊	安政6年(1859)	個人
16	『新編曾我物語』前編	柳水亭種清作 楊州周延画	17.5×11.8	紙・木版	1冊	明治14年(1881)	山梨県立博物館(大木家文書)
17	『新編曾我物語』後編	柳水亭種清作 楊州周延画	17.5×11.6	紙・木版	1冊	明治14年(1881)	山梨県立博物館(大木家文書)
18	浮絵富士裾野牧狩之図	歌川豊国筆	26.1×38.7	紙・木版、多色摺	大判錦絵1枚	江戸時代	山梨県立博物館
19	富士の裾野巻狩之図	歌川貞秀筆	37.0×74.3	紙・木版、多色摺	大判錦絵3枚続	弘化4～嘉永5年(1847～52)	富士山かぐや姫ミュージアム
20	頼朝公富士之御狩ノ図	歌川芳員筆	34.8×74.3	紙・木版、多色摺	大判錦絵3枚続	安政6年(1859)	山梨県立博物館
21	『富嶽百景』2編	葛飾北斎筆	22.6×15.6	紙・木版	1冊	天保6年(1835)	山梨県立博物館
22	『北斎漫画』9編	葛飾北斎筆	22.5×15.7	紙・木版	1冊	文政2年(1819)	山梨県立博物館(大木家文書)
23	新形三十六怪撰 仁田忠常洞中に奇異を見る図	月岡芳年筆	35.4×24.2	紙・木版、多色摺	大判錦絵1枚	明治23年(1890)	山梨県立博物館
24	建久四年五月廿八日曾我兄弟敵討之図	歌川国芳筆	35.6×73.5	紙・木版、多色摺	大判錦絵3枚続	嘉永6年(1853)	富士山かぐや姫ミュージアム
25	曾我物語 富士狩場十番切圖	歌川貞秀筆	36.5×74.6	紙・木版、多色摺	大判錦絵3枚続	元治元年(1864)	山梨県立博物館
26	富士裾野曾我兄弟報讐之図	二代歌川国輝筆	36.4×73.8	紙・木版、多色摺	大判錦絵3枚続	明治元年(1868)	富士山かぐや姫ミュージアム
27	十郎祐成 五郎時致 富士野狩場討入之図	歌川国梅筆	35.7×72.0	紙・木版、多色摺	大判錦絵3枚続	明治18年(1885)	富士山かぐや姫ミュージアム
28	寿曾我対面双六	三代歌川豊国筆	36.2×73.9	紙・木版、多色摺	大判錦絵3枚続	安政2年(1855)	富士山かぐや姫ミュージアム
29	曾我兄弟役者絵	豊原国周筆	36.4×72.2	紙・木版、多色摺	大判錦絵3枚続	明治21年(1888)	富士山かぐや姫ミュージアム
30	立版古 歌舞伎座新狂言曾我討入の場		37.3×74.9	紙・木版、多色摺	大判錦絵3枚続	明治33年(1900)	富士山かぐや姫ミュージアム
31	極新版切組とらう富士のまきかりの図		25.0×37.4	紙・木版、多色摺	大判錦絵1枚	明治23年(1890)	個人
32	風 曾我五郎 曾我十郎		各20.0×20.5	紙・手彩色	2点	近代	富士山かぐや姫ミュージアム
33	『曾我物語』	射手矢貞三作	21.0×14.8	本	1冊	昭和19年(1944)	山梨県立博物館(高室家資料)
34	絵ハガキ『曾我物語』		各9.0×14.0		8点	近代	個人
4. 曾我物語の舞台							
35	駿河国富士山表口略図	藤田與市郎著 渡邊利平製図	55.5×79.5	紙・木版	1点	明治11年(1878)	山梨県立博物館(甲州文庫)
36	『東海道中膝栗毛』2編	十返舎一九作	18.0×11.7	紙・木版	1冊	享和2～文化6年(1802～09)	山梨県立博物館(大木家文書)
37	『駿河名所図会 俳諧裾野集』	瓦松庵肆山編	17.8×11.8	紙・木版	1冊	嘉永元年(1848)	山梨県立博物館(甲州文庫)
38	『甲斐から駿河へ』	村松志孝著	19.0×10.5		1冊	昭和10年(1935)	山梨県立博物館(甲州文庫)
39	小田原宿絵図		32.0×47.4	紙・木版	1点	天保13年(1842)	山梨県立博物館(高室家資料)
40	『滑稽富士詣』第6編	仮名垣魯文作 歌川芳虎画	17.9×11.9	紙・木版	1冊	万延元年(1860)	山梨県立博物館(甲州文庫)

【展示平面図】



(3) 展覧会関係刊行物

	名 称	発 刊 日	体 裁
1	開館15周年記念特別展「生誕500年 武田信玄の生涯」展示図録	令和3年3月13日	A4変形版、154頁
2	シンボル展「生誕200年 若尾逸平」リーフレット	令和3年5月22日	A4版、8頁
3	企画展「特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～」展示図録	令和3年7月10日	A4版、191頁
4	企画展「特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～」公式パンフレット	令和3年7月10日	A4版、23頁
5	企画展「日蓮聖人と法華文化」展示図録	令和3年7月17日	A4版、202頁
6	シンボル展「曾我物語図屏風」リーフレット	令和4年1月22日	A4版、4頁

1



2



3



4



5



6



## 第5章 企画交流事業

### (1) 生涯学習サービス事業

#### ① 講演会・講座・シンポジウム等

##### ■ 講演会

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
令和3年4月3日	丸島和洋氏(京都市大学准教授)	義信事件と対今川氏外交	県立博物館	43人
令和3年4月29日	福原圭一氏(上越市公文書センター上席学芸員)	上杉氏にとっての川中島合戦	県立博物館	40人
令和3年5月8日	柴裕之氏(東洋大学非常勤講師)	武田信玄と織田信長・徳川家康	県立博物館	40人
令和3年10月3日	中尾堯氏(立正大学名誉教授)	法華教の旅人	県立博物館	40人
令和3年11月6日	望月真澄氏(身延山大学教授)	日蓮伝承と霊場の形成－佐渡・越後・甲斐－	県立博物館	48人
令和3年11月14日	寺尾英智氏(立正大学教授)	佐渡と身延をつなぐもの－日蓮の書状をみる－	県立博物館	38人

##### ■ 講座

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
令和3年4月18日	守屋正彦(当館館長)	仏教美術に見る古代の絵画－遣隋使・遣唐使による大陸文化の影響－	県立博物館	28人
令和3年7月11日	守屋正彦(当館館長)	やまと絵の誕生 名所絵、物語絵－国風文化の成立－	県立博物館	22人
令和3年8月22日	守屋正彦(当館館長)	禅宗絵画、室町水墨画－元寇と南宋文化の流入－	県立博物館	中止
令和3年9月26日	守屋正彦(当館館長)	禅宗絵画、室町水墨画－元寇と南宋文化の流入－	県立博物館	22人
令和3年10月17日	守屋正彦(当館館長)	障壁画と狩野派の時代－天下人の時代から得意側幕府御用絵師の時代へ－	県立博物館	21人
令和3年12月19日	守屋正彦(当館館長)	長崎派・琳派・文人画家－明清動乱と黄檗文化の流入－	県立博物館	17人

##### ■ 古文書講座

令和3年4月24日	海老沼真治(当館学芸員)	武田信玄	県立博物館	26人
令和3年5月22日	中野賢治(当館学芸員)	ヨゲンノトリ	県立博物館	26人
令和3年6月26日	小畑茂雄(当館学芸員)	若尾逸平	県立博物館	24人
令和3年7月24日	中野賢治(当館学芸員)	富士山	県立博物館	25人
令和3年8月28日	小畑茂雄(当館学芸員)	甲州文庫	県立博物館	中止
令和3年10月23日	海老沼真治(当館学芸員)	日蓮	県立博物館	19人
令和3年11月27日	小畑茂雄(当館学芸員)	置県150年	県立博物館	26人
令和4年1月22日	海老沼真治(当館学芸員)	曾我物語	県立博物館	中止
令和4年2月26日	中野賢治(当館学芸員)	災害	県立博物館	19人
令和3年9月19日	－	「古文書相談日」	県立博物館	1人



## ■かいじあむ講座

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
令和3年5月23日	小畑 茂雄(当館学芸員)	若尾逸平と鉄道事業	県立博物館	30人
令和3年6月27日	小畑 茂雄(当館学芸員)	伝記資料から見る若尾逸平像の再構築	県立博物館	30人

講演会・講座等参加者数合計

445人

令和3年5月16日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「けん玉で遊ぼう」	県立博物館	1人
令和3年5月23日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「若尾銀行の立体カードを作ろう」	県立博物館	1人
令和3年5月30日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「ことわざで天気予報」ミニブックを作ろう	県立博物館	6人
令和3年6月6日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「若尾逸平のプラバンストラップを作ろう」	県立博物館	4人
令和3年6月13日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「あじさい」のぬり絵をしよう	県立博物館	中止
令和3年6月20日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	紙芝居「かえるのおんがえし」	県立博物館	中止
令和3年6月27日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	オリジナル紙芝居「若尾逸平物語～逸平と幾造～」	県立博物館	9人
令和3年7月4日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「笛吹市の七夕人形を作ろう」	県立博物館	6人
令和3年7月11日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「朝顔の歴史を折り紙で知ろう」	県立博物館	5人
令和3年7月18日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「飛んでけ!紙とんぼ!」	県立博物館	8人
令和3年7月25日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「金魚のぬり絵で暑中見舞いを作ろう」	県立博物館	5人
令和3年8月1日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「スイカのうちわ」を作ろう	県立博物館	3人
令和3年8月8日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「常設展の音を探してみよう」	県立博物館	中止
令和3年8月22日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「新聞紙とガムテープで怪獣を作ろう」	県立博物館	中止
令和3年8月29日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	オリジナル紙芝居「富士山と八ヶ岳」	県立博物館	中止
令和3年9月5日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「つまみ細工で菊のブローチを作ろう」	県立博物館	中止
令和3年9月12日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「折り紙で作ろう!楽しい秋のカード」	県立博物館	中止
令和3年9月19日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「甲州の地口を学ぼう」	県立博物館	中止
令和3年9月26日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	紙芝居「おはぎべたべた」	県立博物館	3人
令和3年10月3日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「蓮の花を作ろう」	県立博物館	4人
令和3年10月10日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「浮世絵のオリジナルぬり絵に挑戦しよう」	県立博物館	3人
令和3年10月17日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「けん玉で遊ぼう」	県立博物館	15人
令和3年10月24日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	オリジナル紙芝居「武田信玄～風の如く、火の如く～」	県立博物館	8人
令和3年10月31日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「折り紙でモミジとイチョウを作ろう」	県立博物館	7人
令和3年11月7日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「日蓮の板返しを作ろう」	県立博物館	3人
令和3年11月14日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「立体身延山絵図を作ろう」	県立博物館	11人
令和3年11月21日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	大型紙芝居「鶴飼勘作物語」	県立博物館	2人
令和3年11月28日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば	「馬のモビールを作ろう」	県立博物館	6人



令和3年12月5日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「若尾逸平物語～逸平と幾造～」	県立博物館	11人
令和3年12月12日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「正月事始めに折り紙で門松を作ろう」	県立博物館	4人
令和3年12月19日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「虎」を学ぼう	県立博物館	3人
令和4年1月9日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば クイズツアー「幕絵を楽しもう！」	県立博物館	6人
令和4年1月16日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 紙芝居「てぶくろを買いに」	県立博物館	3人
令和4年1月23日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「常設展オリジナルカルタで遊ぼう！」	県立博物館	中止
令和4年1月30日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「だるまを作ろう」	県立博物館	中止
令和4年2月6日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「曾我物語の組上灯籠を作ろう」	県立博物館	中止
令和4年2月13日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「ミニ屏風を作ってみよう！」	県立博物館	中止
令和4年2月20日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「寿曾我対面双六」を楽しもう	県立博物館	中止
令和4年2月27日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「ひな人形」を作ろう	県立博物館	6人
令和4年3月6日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「江戸時代の髪型を学ぼう」	県立博物館	6人
令和4年3月13日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「山梨の水害を学ぼう」	県立博物館	2人
令和4年3月20日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 災害時「ピクトグラム」を学ぼう	県立博物館	3人
令和4年3月27日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「常設展の音を探してみよう！」	県立博物館	4人
令和3年4月10日	かいじあむ子ども工房「信玄の花押ストラップを作ろう」	県立博物館	11人
令和3年5月8日	かいじあむ子ども工房「ペーパークラフトでミニ盾無鑑を作ろう」	県立博物館	16人
令和3年6月12日	かいじあむ子ども工房「繭から真綿を作ろう」	県立博物館	15人
令和3年10月9日	かいじあむ子ども工房「ぶどうの皮で草木染めをしよう」	県立博物館	17人
令和3年11月13日	かいじあむ子ども工房「身延山図経のぬり絵をしよう」	県立博物館	16人
令和4年1月8日	かいじあむ子ども工房「小正月のまゆ玉団子をつくろう」	県立博物館	1人
令和4年1月16日	体験 綿から糸へ	県立博物館	14人
令和3年10月7日	大人向け秋の文化体験1	県立博物館	8人
令和3年11月4日	大人向け秋の文化体験2	県立博物館	6人
令和3年12月5日	歴史ウォーク	県立博物館	5人

体験プログラム参加者数合計

856人

### ③その他

展示交流員が常設展示の見どころを案内する「常設展スルーガイド」を毎週土曜日に実施した。

## (2) 博学連携

## ① かいじあむティーチャーズクラブ

## i 会員の状況

学校の先生方にティーチャーズクラブを知っていただくために、研究会や研修会の際に趣旨の説明と加入依頼を行った。また、学校見学における引率者については、ティーチャーズクラブ加入を勧める対応をおこなった。

## ii 会員数（令和4年3月31日現在）

校種	会員数（人）
小学校	1,245
中学校	558
高等学校・特別支援学校	946
教育庁	60
総合教育センター	37
教育事務所等	6
総計	2,852

## iii 活動実績

○第1回研究会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

○令和3年8月4日（水） 夏季研修会「博物館を活用した授業づくり研修会」（教育センター・博物館の共催研修）  
参加者3名

○令和4年2月18日（金） 第1回研究会 書面による開催  
・博物館活用について実践発表  
・博学連携の状況報告

## iv 教員視察人数（ティーチャーズクラブ以外の視察も含む）

令和3年度 教員視察人数

（令和4年3月31日現在）

## 1 ティーチャーズクラブ視察人数

月別	常設展	企画展	月計	企画展等
4月	10	28	38	企画展 生誕500年武田信玄の生涯
5月	18	29	47	企画展 生誕500年武田信玄の生涯 シンボル展 生誕200年若尾逸平
6月	20	0	20	シンボル展 生誕200年若尾逸平
7月	26	48	74	企画展 特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～
8月	15	20	35	企画展 特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～
9月	6	0	6	
10月	20	29	49	企画展 日蓮聖人と法華文化
11月	11	8	19	企画展 日蓮聖人と法華文化
12月	4	0	4	
1月	7	0	7	シンボル展 曾我物語図屏風
2月	7	0	7	シンボル展 曾我物語図屏風
3月	0	2	2	企画展 伝える一災害の記憶展
合計	144	164	308	①

※5・6・1・2月の常設展人数は、シンボル展入場者も含む

2 教育センター視察人数

月別	常設展	企画展	月計	企画展等
4月	4	12	16	企画展 生誕500年武田信玄の生涯
5月	2	2	4	企画展 生誕500年武田信玄の生涯 シンボル展 生誕200年若尾逸平
6月	3	0	3	シンボル展 生誕200年若尾逸平
7月	9	9	18	企画展 特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～
8月	5	13	18	企画展 特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～
9月	0	0	0	
10月	1	12	13	企画展 日蓮聖人と法華文化
11月	1	2	3	企画展 日蓮聖人と法華文化
12月	0	0	0	
1月	0	0	0	シンボル展 曾我物語図屏風
2月	6	0	6	シンボル展 曾我物語図屏風
3月	3	7	10	企画展 伝えるー災害の記憶展
合計	34	57	91	②

※5・6・1・2月の常設展人数は、シンボル展入場者も含む

3 校外学習の下見人数

月別	常設展	企画展	月計	企画展等
4月	28	16	44	企画展 生誕500年武田信玄の生涯
5月	6	5	11	企画展 生誕500年武田信玄の生涯 シンボル展 生誕200年若尾逸平
6月	3	0	3	シンボル展 生誕200年若尾逸平
7月	15	7	22	企画展 特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～
8月	23	3	26	企画展 特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～
9月	28	0	28	
10月	15	14	29	企画展 日蓮聖人と法華文化
11月	8	0	8	企画展 日蓮聖人と法華文化
12月	0	0	0	
1月	6	0	6	シンボル展 曾我物語図屏風
2月	0	0	0	シンボル展 曾我物語図屏風
3月	0	0	0	企画展 伝えるー災害の記憶展
合計	132	45	177	③

※5・6・1・2月の常設展人数は、シンボル展入場者も含む

4 教員の研修

名 称	常設	企画	計
8/4 博物館を活用した授業づくり研修会	4	4	8
合計	4	4	8
④			
①+②+③+④			584

## ②授業の一環としての博物館利用

	来館日時	学校名	人数(人)			来館日時	学校名	人数(人)	
			児童・生徒	引率				児童・生徒	引率
1	4月15日(木)	早川中学校	4	4	48	10月8日(金)	早川南小学校	16	9
2	4月23日(金)	甲府城西高校	71	4	49	10月8日(金)	谷村第二小学校	18	3
3	5月10日(月)	石和こすもす教室	17	5	50	10月11日(月・祝)	伊那市立西箕輪中学校	59	6
4	5月12日(水)	小立小学校	50	4	51	10月13日(水)	下吉田東小学校	44	4
5	5月12日(水)	双葉中学校	11	0	52	10月13日(水)	増穂小学校	86	8
6	5月12日(水)	都留第二中学校	114	8	53	10月13日(水)	羽黒小学校	50	6
7	5月13日(木)	谷村第一小学校	65	3	54	10月14日(木)	明見小学校	70	5
8	5月13日(木)	上野原西小学校	53	8	55	10月14日(木)	善誘館小学校	11	2
9	5月13日(木)	八田中学校	5	1	56	10月15日(金)	豊富小学校	35	4
10	5月13日(木)	白根御勅使中学校	33	3	57	10月18日(月)	名古屋市立御田中学校	33	2
11	5月14日(金)	宝小学校	13	2	58	10月20日(水)	初狩小学校	15	3
12	5月19日(水)	若草中学校	56	3	59	10月20日(水)	押原中学校	26	2
13	5月19日(水)	竜王中学校	45	4	60	10月20日(水)	静岡市立清沢小学校	2	3
14	5月20日(木)	秋山中学校	13	5	61	10月21日(木)	韮崎北東小学校	52	3
15	5月20日(木)	東桂中学校	66	7	62	10月21日(木)	竜王東小学校	45	4
16	5月21日(金)	加納岩小学校	41	4	63	10月22日(金)	大里小学校	92	6
17	5月21日(金)	田富中学校	114	8	64	10月22日(金)	羽黒小学校	52	6
18	5月27日(木)	市川東小学校	11	7	65	10月27日(水)	福島県安達中学校	50	5
19	5月27日(木)	秋山小学校	19	4	66	10月28日(木)	身延山高校	14	2
20	5月29日(土)	都留文科大学	11	1	67	10月29日(金)	福島県郡山第四中学校	29	2
21	6月2日(水)	都留第一中学校	77	9	68	10月29日(金)	やまびこ支援学校(中等部)	5	6
22	6月2日(水)	静岡県大富士中学校	161	10	69	10月29日(金)	竜王西小学校	57	3
23	6月2日(水)	白根巨摩中学校	102	8	70	10月29日(金)	大國小学校	87	7
24	6月4日(金)	新紺屋小学校	25	4	71	11月4日(木)	泉小学校	47	3
25	6月11日(金)	甘利小学校	81	4	72	11月5日(金)	わかば支援学校(高等部)	32	18
26	6月18日(金)	伊勢小学校	40	7	73	11月5日(金)	中央高校	53	11
27	6月24日(木)	下山小学校	18	2	74	11月5日(金)	猿橋中学校	24	3
28	7月1日(木)	駿台甲府小学校	68	4	75	11月8日(月)	山城中学校	168	7
29	7月2日(金)	笛吹高校	240	14	76	11月17日(水)	日川高校	25	1
30	7月9日(金)	山梨学院大学附属中学校	8	0	77	11月17日(水)	八王子市立由井中学校	5	5
31	7月14日(水)	富士河口湖高校	158	10	78	11月18日(木)	甲西中学校	97	8
32	7月15日(木)	石和誠心幼稚園	31	6	79	11月18日(木)	舞鶴小学校	65	4
33	7月19日(月・祝)	羽黒小学校	68	6	80	11月19日(金)	韮崎中学校	100	9
34	7月26日(月)	山梨学院大学附属小学校	18	1	81	11月21日(日)	敷島中学校	31	2
35	7月29日(木)	山梨学院大学附属小学校	18	2	82	11月25日(木)	白根源小学校	14	3
36	7月30日(金)	山梨学院大学附属小学校	17	2	83	11月25日(木)	御坂西小学校	92	5
37	9月23日(木・祝)	竜王北中学校	22	0	84	12月1日(水)	富士見小学校	52	2
38	9月27日(月)	大嵐小学校	3	2	85	12月1日(水)	星槎国際高校	11	3
39	9月30日(木)	秋山小学校	10	3	86	12月9日(木)	星槎国際高校	15	2
40	10月1日(金)	石田小学校	53	4	87	12月15日(水)	星槎国際高校	15	2
41	10月3日(日)	甲府西高校放送部	3	1	88	12月17日(金)	清水市立袖師小学校	75	7
42	10月4日(月)	双葉東小学校	101	6	89	12月17日(金)	竜王東小学校	42	4
43	10月4日(月)	国母小学校	47	5	90	1月19日(水)	石和北小学校	24	2
44	10月6日(水)	神金小学校・玉宮小学校	18	6	91	3月6日(日)	目黒区立第十一中学校	61	10
45	10月6日(水)	新田小学校	15	3	92	3月10日(木)	石和東小学校	17	2
46	10月7日(木)	石和西小学校	48	4	小計		4,280	438	
47	10月8日(金)	石田小学校	47	3	総計		4,718		

③出前授業

■出前授業実施一覧

	実施日	主催	会場	内容	担当職員	人数
1	令和3年4月22日(木)	富士川町立増穂小学校	富士川町立増穂小学校	富士川舟運	乙黒 修・望月 大	87
2	令和3年5月19日(水)	県立富士河口湖高校	県立富士河口湖高校	山梨と自然と人の関わり	森原明廣・望月 大	160
3	令和3年6月11日(金)	市川三郷町立市川小学校	市川三郷町立市川小学校	甲府空襲・大月空襲	小畑茂雄・望月 大	160
4	令和3年6月24日(木)	笛吹市立石和南小学校	笛吹市立石和南小学校	修学旅行事前学習	乙黒 修・望月 大	31
5	令和3年6月25日(金)	県立笛吹高校	県立笛吹高校	博物館オリエンテーション	乙黒 修・望月 大	244
6	令和3年8月2日(月)	甲教協社会科中学校部会	生涯学習室	甲府市周辺の文化財について	森原明廣	38
7	令和3年10月8日(金)	甲斐市立竜王北小学校	甲斐市立竜王北小学校	武田信玄 信玄堤	海老沼真治	84
8	令和3年10月11日(月・祝)	県立日川高校	県立日川高校	職業人と語る	小畑茂雄・望月 大	23
9	令和3年10月20日(水)	甲府市立城南中学校	オンライン授業	律令国家と甲斐国	海老沼真治	32
10	令和3年10月27日(水)	県立中央高校	県立中央高校	博物館オリエンテーション	望月 大	58
11	令和3年11月8日(月)	甲州市立勝沼中学校	甲州市立勝沼中学校	職業講話	松田美沙子	65
12	令和3年12月2日(木)	県立ろう学校小学部	県立ろう学校小学部	信玄堤	中野賢治	3
13	令和4年1月17日(月)	南アルプス市立御勅使中学校	南アルプス市立御勅使中学校	県内めぐり事前学習	乙黒 修・望月 大	65
14	令和4年1月20日(木)	甲府市立羽黒小学校	甲府市立羽黒小学校	歴史紙芝居 出前上演	望月 大	55
15	令和4年2月16日(水)	富士川町立増穂南小学校	富士川町立増穂南小学校	昔の道具と暮らし	丸尾依子・乙黒 修	3
16	令和4年2月16日(水)	笛吹市立石和東小学校	笛吹市立石和東小学校	昔の道具と暮らし	丸尾依子・乙黒 修	17
17	令和4年3月4日(金)	山梨学院幼稚園	山梨学院幼稚園	昔の道具	丸尾依子・乙黒 修	69
18	令和4年3月14日(月)	県立甲府城西高校	県立甲府城西高校	甲府城西高校周辺の歴史～城下町や交通～	海老沼真治・乙黒 修	17

出前授業利用人数 1,211人

④教育センター・その他の団体との連携

■実施一覧

	実施日	主催	会場	内容	担当職員	人数
1	令和3年8月4日(水)	山梨県総合教育センター・山梨県立博物館共催	山梨県立博物館	博物館を活用した授業づくり研修会	丸尾依子	3
2	令和3年10月22日(金)	山梨県総合教育センター	山梨県総合教育センター	初任者研修 博学連携研修会	乙黒 修	84

⑤職場体験

■職場体験実施一覧

実施日	学校名	学年	人数(人)
令和3年7月28日(水)～7月29日(木)	塩山高等学校	2	2
合計	1校		2

⑥「山梨の未来を描こう」募集

	応募学校数(校)	応募人数(人)
小学校	39	174
中学校	2	13
合計	41	187

## ⑦子ども学芸員事業

	日付	曜	学 校 名	学年	人数(人)	常設展	企画展	備 考
1	4月24日	土	笛川小学校	3	26			出前授業
2	6月17日	木	市川小学校	6	24			出前授業
3	6月17日	木	富士河口湖高等学校	1	160			出前授業
4	6月25日	金	市川東小学校	1～5	11	○	○シンボル	見学
5	7月15日	金	駿台甲府小学校	4	69	○		見学
6	7月26日	月	羽黒小学校	4	68	○		見学
7	10月13日	水	ふるさと山梨郷土学習コンクール受賞者	小中全	93			受賞者
8	1月6日	木	竜王東小学校	6	42	○		見学
9	1月27日	木	白根御勅使中学校	1	65			出前授業
10	1月28日	金	羽黒小学校	3	55			出前授業
11	2月6日	日	石和北小学校	3	24	○		見学
認 定 数					1,339			



⑧貸出教材（ミュージアム・キット）

	借用期間	学 校 名 等	キット名	備 考
1	令和3年6月13日～6月27日	甲府西高校	旅姿キット	高1年：学校行事（学園祭）
2	令和3年6月27日～7月13日	石和中学校	火縄銃	中2年：社会科
3	令和3年10月1日～10月15日	みえむプロジェクト 実行委員会	旅姿キット	
4	令和3年10月8日～11月4日	かえで支援学校	戦国時代キット オリジナル歴史紙芝居	中等部1年：総合的な学習の時間
5	令和3年11月5日～11月19日	県立ろう学校	戦国時代キット	全校：図書室展示
6	令和3年11月10日～11月13日	甲府北東中学校	戦国時代キット	全校：学校行事（学園祭）
7	令和4年1月19日～1月26日	わかば支援学校	かいじあむ歴史紙芝居	高等部3年：生活単元
小計（小・中学校）				2
小計（高等学校・特別支援学校）				4
小計（その他）				1
総 計				7

⑨大学教育との連携

i 学芸員実習

【期 間】 令和3年8月8日（日）から同年8月16日（月）まで（計8日間）

【受け入れ人数】 5人（男3人、女2人）

【実習生所属大学】

・山梨大学 ・佐賀大学 ・立正大学

【主な実習内容】

- ・県立博物館の概要と役割などについての概説と施設見学
- ・学芸員が行う調査・研究、展示、資料保存など各業務についての分野別講義及び実習
- ・企画交流事業について講義及び実習
- ・展示実務実習
- ・県立博物館職員との意見交換

ii 大学非常勤講師の受託

担当職員	大学名（科目名）	期 間
近藤 暁子	中央大学（日本美術史、博物館実習）	令和3年4月1日（木）～令和3年9月20日（月・祝）
丸尾 依子	成城大学（博物館学実習〈民俗学〉）	令和3年4月1日（木）～令和4年3月31日（木）
海老沼真治	身延山大学（博物館情報・メディア論、博物館経営論）	令和3年10月1日（金）～令和4年3月31日（木）
小畑 茂雄	山梨大学（博物館展示論）	令和3年10月1日（金）～令和4年3月31日（木）
中野 賢治	山梨県立大学（日本の歴史）	平成3年4月1日（木）～令和3年9月30日（木）
中野 賢治	都留文科大学（博物館資料論）	平成3年10月1日（金）～令和4年3月31日（木）

### (3) 博物館同士のネットワーク

#### ①ミュージアム甲斐・ネットワーク

i ミュージアム甲斐・ネットワーク会議

#### ■博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト

##### 【合同プレゼンテーション】

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

##### 【ミニブック配布】

各館での配布及びホームページでのダウンロード期間：令和3年7月22日（木・祝）～8月30日（月）

参加館数：51館

#### ■令和3年度総会

日時：令和3年5月13日（木）

場所：生涯学習室

内容：令和3年度夏休み自由研究プロジェクト合同プレゼンの代替案について

#### ■令和3年度講習会

日時：令和4年3月17日（木）

場所：生涯学習室

内容：山梨県内博物館の地域における取り組みについて

講師：オオムラサキセンター 富樫和孝氏

南アルプス市教育委員会 保阪太一氏

### (4) 広報

年3回の「かいじあむ通信 Kai（交い）」の発行や、企画展・シンボル展のチラシ・ポスター、県政たより「ふれあい」、県政テレビ放送、県政ラジオ放送、SNS等の各種媒体を用いて広報に努めた。

#### ■かいじあむ通信 Kai（交い）一覧

誌名	発行年月日
かいじあむ通信 Kai（交い）夏休み特別号	令和3年6月23日
かいじあむ通信 Kai（交い）第54号	令和3年8月30日
かいじあむ通信 Kai（交い）第55号	令和4年2月4日

## 第6章 施設の整備・管理

### (1) 安全快適な施設づくり

県立博物館では、山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、安全かつ快適な施設・整備の管理に努めている。

#### ■防災訓練等非常時における対応訓練の実施

県立博物館では、来館者の安全を守るための避難誘導や初期消火等を円滑に進めることを目的に、職員を対象に訓練を実施している。

##### ・防災訓練

回数	開催日	内容
第1回	令和3年9月17日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災を想定した常設展示室からの総合防災訓練</li> <li>・避難経路・消防設備等の確認</li> </ul>

### (2) 施設開放

県立博物館は開かれた博物館を目指し、施設の一部を一般に開放している。その利用状況は次のとおりである。

年月	生涯学習室		交流室	
	利用人数 人	利用金額 円	利用人数 人	利用金額 円
令和3年4月	15	14,120	11	480
5月	155	25,790	0	960
6月	78	12,800	6	0
7月	112	6,400	5	0
8月	10	26,400	0	480
9月	18	5,840	0	480
10月	34	3,720	10	1,320
11月	101	18,540	8	0
12月	59	16,000	7	480
令和4年1月	18	4,050	0	0
2月	24	11,250	5	480
3月	74	5,460	7	1,440
計	698	150,370	59	6,120

※利用人数は「利用月」、利用金額は「収入手続を行った月」で集計している。

## 第7章 情報の発信と公開

### (1) 資料閲覧室の利用状況

資料閲覧室は、博物館展示をとおして利用者が持った歴史等に対する探求心や日常の学習意欲に応えるための資料・情報を提供するとともに、研究者、学芸員等の調査研究に必要な文献を的確に収集・整備し、その研究活動を支援する役割を担う。

#### ■利用時間

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、利用時間を下記のとおりとした。

9：00から12：00、13：00から16：00（12：00～13：00は閉室）

（書庫内資料の請求、複写申込は15：30まで）

（即日閲覧資料の請求は、15：00まで）

入室は無料

#### ■資料検索

資料閲覧室内の利用者端末（2台）により収蔵資料、図書・雑誌等の書誌情報の検索が可能となっている。フリーワード検索では、資料名、作者名、発行者名などの一部からも検索ができる。

ホームページの収蔵資料案内からも同様に検索が行える。

#### ■資料閲覧

- ・図書、雑誌は来館者が自由に閲覧できる。室内には各分野の辞典類、主な歴史分野の図書、逐次刊行物、『山梨県史』や県内市町村史誌類など郷土研究に関する資料等、約3,300冊が配架されている。書庫内の図書資料も職員に請求することにより、閲覧が可能である。
- ・収蔵資料のうち、県立図書館から移管した古文書・古記録等の一部は即日閲覧可能である。
- ・「甲州文庫」の画像データや古文書のマイクロフィルムは資料閲覧室内の端末で即日閲覧できる。
- ・即日閲覧対象外の原資料については、「歴史資料等閲覧申請書」により事前に申し込み、職員の立会いのもと所定の日時・場所で閲覧できる。

#### ■資料撮影

原資料についての撮影は、「歴史資料等撮影申請書」により事前に申し込み、許可された場合は、「歴史資料等撮影決定通知書」に従い、職員の立会いのもと所定の日時・場所で行う。

#### ■レファレンスサービス

質問や調査事項に応じて、参考資料や文献を紹介し、利用者の調査・研究活動の援助を行っている。専門的な質問については、必要に応じて学芸員が調査・研究の成果に基づき回答している。

#### ■コピーサービス（有料）

著作権法に基づき、博物館所蔵の図書・雑誌等の活字資料、「甲州文庫」等のデジタル化・マイクロ化資料の複写サービスを行っている。

#### ■展示関連図書紹介

当館で開催する企画展・シンボル展への関心や理解を更に深めてもらうために、期間中資料閲覧室内に関連図書の紹介コーナーを設けている。

#### ■キッズライブラリー

山梨発見エリア内のキッズライブラリーには、小・中学生向けの歴史関係や自然観察の図書、幼児のための絵本などを揃えていたが、令和元年2月28日より、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、図書を撤収している。

#### ■ビデオライブラリー

山梨発見エリア内のビデオブース（3台）では、歴史・文化財に関するビデオ・DVDなどを視聴することができるが、令和元年2月28日より、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、利用中止としている。

■令和3年度資料閲覧室利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
入室者	226人	152人	100人	293人	115人	60人	172人	195人	55人	67人	68人	89人	1,592人	
ビデオ利用	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
レファレンス	レファレンス	17件	12件	14件	9件	7件	10件	15件	8件	6件	9件	8件	5件	120件
	利用相談	26件	10件	5件	11件	1件	3件	15件	12件	4件	3件	4件	4件	98件
	小計	43件	22件	19件	20件	8件	13件	30件	20件	10件	12件	12件	9件	218件
複写	件数	20件	15件	10件	10件	8件	10件	19件	22件	8件	9件	13件	11件	155件
	電子式	120枚	109枚	24枚	74枚	187枚	101枚	891枚	1221枚	843枚	62枚	233枚	122枚	3,987枚
	マイクロ、デジタル	798枚	276枚	105枚	40枚	813枚	67枚	469枚	277枚	9枚	37枚	72枚	109枚	3,072枚
	小計	918枚	385枚	129枚	114枚	1000枚	168枚	1360枚	1498枚	852枚	99枚	305枚	231枚	7,059枚
キッズライブラリー利用	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	

※新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため、令和3年8月8日より9月12日まで閉室した。  
 ※また、令和2年2月28日からビデオライブラリーは閉鎖、キッズライブラリーは撤収している。

(2) 博物館総合情報システム

山梨県立博物館は、山梨の歴史や文化・産業など広範な分野にわたる膨大な資料情報を一元的に管理し、効率的な博物館運営を行うため、博物館総合情報システムを導入している。このシステムの活用によって広く館内外に情報発信を行い、県民の山梨の歴史に関する興味を喚起し、多くの人に親しまれる「開かれた博物館」が実現することを目的としている。平成29年度にシステムの入替を行い、平成30年3月1日に本稼働させた。このシステムは、以下の3つのシステムから構成される。

■データベースシステム

博物館資料の管理システムとして、収蔵資料・図書資料等に関する各種情報を一元的に管理、検索、閲覧するためのシステムである。資料の目録情報、受入情報、付随する画像情報、レファレンス情報、地域情報、また閲覧・撮影・展示業務の情報管理も行っている。

■利用者公開システム

データベースシステムで管理されている情報を、利用者の必要に応じて加工し、館内外で情報発信を行うシステムである。館内では、資料閲覧室における収蔵資料・図書情報の検索端末の設置、地域インデックスにおける地域情報端末での各種県内情報の発信をしている。館外では、博物館ホームページにおける収蔵資料・図書情報・レファレンス情報などの提供を行っている。

■ネットワークシステム

情報処理室には各種サーバが設置され、そこを拠点に館内にはLANが張り巡らされている。インターネットへは情報処理室から隣接する総合教育センターを経由して接続されている。館内各システムをネットワークで相互に接続し、情報の連携を図っている。

(3) 博物館ホームページ

平成17年10月1日より、ホームページの公開を開始し、展示案内・イベント案内等各種情報を公開し、随時更新している。

■ホームページの主な更新履歴

令和4年2月27日 累計アクセス数153万件を突破。

■「収蔵資料案内」ページの更新

収蔵資料・図書・レファレンスの検索を行うことができるページを、随時更新している。

## ■検索可能件数（令和4年3月31日現在）

- ・歴史資料等 85,249件
- ・図書類 53,177件
- ・レファレンス事例 509件

PC向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/>

携帯電話向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/mb>

公式ツイッター：kaiseum\_ypm



## 令和3年度 ホームページアクセス件数（アクセスカウンタによる数値）

年 月	件数/月	1日平均	昨年度件数
令和3年4月	13,408	456	8,108
5月	12,211	404	15,148
6月	11,245	382	9,440
7月	23,741	788	10,116
8月	22,282	741	9,308
9月	10,819	352	8,742
10月	11,294	370	8,970
11月	9,733	343	8,200
12月	5,754	235	4,891
令和4年1月	9,656	273	7,102
2月	7,402	268	7,721
3月	9,253	303	12,972
合 計	146,798	410	110,718

ツイッターフォロワー数 (令和4年3月末日現在)	4,505
-----------------------------	-------



## 第8章 県民参画

### (1) NPOとの連携

令和3年度、県立博物館では前年度に引き続き、NPO法人との協働による県民参画事業として、「かいじあむ検定」及び「通信簿ツアー」を実施した。

「かいじあむ検定」は、企画展・シンボル展の開催に合わせて実施し、第1部を展示資料や展覧会テーマゆかりの地を歩くツアー、第2部をギャラリートークとして、展示のテーマを題材に地域と博物館を結びつけることを目指した事業が定着している。令和3年度は、秋の企画展「日蓮聖人と法華文化」及び冬のシンボル展「曾我物語図屏風」について、地域を訪ねるツアーと展示室や生涯学習室でのギャラリートークを実施した。

また、開催中の企画展や常設展の魅力を広く紹介し、博物館に足を運んでいただくきっかけづくりとするため、山梨県立図書館の会場を使用して、展示内容をパネルで紹介するミニ展示を実施した。

なお、「通信簿ツアー」の詳細は第I編第2章を参照されたい。

#### ① かいじあむ検定

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
令和3年10月27日(水)から 同年11月10日(水)まで	企画展「日蓮聖人と法華文化」の紹介をするミニ展示	山梨県立図書館	147人
令和3年11月21日(日)	企画展「日蓮聖人と法華文化」ゆかりの地ツアー	山梨県立博物館 笛吹市石和町	17人
令和4年1月26日(水)から 同年2月9日(水)まで	シンボル展「曾我物語図屏風」の紹介をするミニ展示	山梨県立図書館	137人
令和4年2月20日(日)	シンボル展「曾我物語図屏風」ゆかりの地ツアー	山梨県立博物館 南アルプス市野牛島	中止

参加者数合計 301人

#### ②通信簿ツアー

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
令和3年10月10日(日) ～10月14日(木)	通信簿ツアー	山梨県立博物館	333人
令和3年12月12日(日)	意見交換会	山梨県立博物館	15人

参加者数合計 348人

※委託先のNPOについては、令和3年7月12日(月)に県民参画(NPO委託)事業審査会を開催し、その結果、両事業ともNPO法人「つなぐ」に委託することとなった。



令和3年11月21日（日）実施の企画展「日蓮聖人と法華文化」ゆかりの地ツアーの様子。謡曲「鶉飼」発祥の地であり、日蓮聖人がお経を書きつけたという石「七字の経石」を有する鶉飼山遠妙寺や山梨県指定文化財建造物の八田家書院などを見学した。参加者には、笛吹市石和町周辺の見どころを記載した「ミニブック」を配布した。



令和4年1月26日（水）から2月9日（水）まで実施したミニ展示の様子。県立博物館で開催中のシンボル展「曾我物語図屏風」の展示内容を県立図書館に出張して紹介した。参加者には、「山梨県立博物館シンボル展曾我物語図屏風」の楽しみ方ガイドブックを配布し、シンボル展に興味をもっていただき、県立博物館に来ていただくきっかけづくりに努めた。

## （2）博物館協力会（ボランティア）との連携

当館におけるボランティア活動は、原則として山梨県立博物館協力会の協力員によるものである。会員数は若干の変動はあるが50名ほどであり、館の主催する様々な活動を支援してきた。

県立博物館協力会の主たる活動は次の通りである。

- ・ イベントの補助
- ・ ミュージアムショップでの商品販売と製作
- ・ 畠の作業補助
- ・ 広報物の発送作業補助

### ■令和3年度の協力会の主な活動

- 令和3年4月18日（日） 第1回 運営委員会  
協力会の運営体制（役員）について
- 6月19日（土） 第2回 運営委員会  
協力会総会について  
※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため書面にて実施
- 6月27日（日） 協力会総会（平成2年度事業・決算の報告、令和3年度事業・予算の決定）  
研修「ボランティア活動について」
- 10月17日（日） 第3回 運営委員会
- 11月30日（火） 研修旅行（武田神社・信玄ミュージアム・甲府城跡）
- 12月5日（日） 歴史ウォーキング（遠妙寺・石和本陣跡・八田家書院ほか）
- 令和4年2月27日（日） 第4回 運営委員会  
機関誌『協力会だより』について

その他、常時実施したのは次の活動である。

- ・ショップ…販売・商品の作製
- ・イベント補助…かいじあむのお正月
- ・発送作業…ポスター・ちらし等の発送作業補助
- ・畠作業…野菜の栽培など
- ・お庭ガイド…毎月第3土曜日開催「ボランティアによるお庭の見どころガイド」講師



甲府市への研修旅行「武田神社」にて（令和3年11月）



鵜飼山遠妙寺付近を巡る歴史ウォーキング（令和3年12月）

## 第9章 組織・人員

### (1) 職員の資質向上

#### 展示交流員研修一覧

日 時	内 容
令和3年9月17日（金）	自衛防災訓練に関する研修・ガイド研修

### (2) 附属機関

#### ①山梨県立博物館運営委員会

##### i 委員名簿（50音順、敬称略）

氏 名	勤務先・役職等
小 澤 龍 一	(財) やまなし文化学習協会山梨県生涯学習推進センター元所長 みんなでつくる博物館協議会委員長
清 雲 俊 元	山梨郷土研究会理事長
笹 本 正 治	長野県立歴史館館長
佐 藤 浩 美	元県立高等学校教諭（委嘱期間 令和3年11月26日まで）
末 木 健	山梨県考古学協会会長
中 山 誠 二	南アルプス市ふるさと文化伝承館館長、帝京大学客員教授

##### ii 運営委員会の検討状況

#### ■第48回運営委員会（書面開催）

日 時：令和3年6月24日（木）～令和3年7月10日（土）

検討内容：令和4年度の企画展・シンボル展について

令和4年度の研究計画について

#### ■第49回運営委員会

日 時：令和3年12月10日（金）

検討内容：令和4年度の企画展・シンボル展および令和5年度の企画展計画について

#### ■第50回運営委員会

日 時：令和4年2月28日（月）

検討内容：開館15周年の総合評価報告書の内容について

#### ②山梨県立博物館資料・情報委員会

第II編第3章で詳述。

③みんなでつくる博物館協議会

i みんなつくり委員名簿（50音順、敬称略）

氏名	勤務先・役職等
浅川 初美	元山梨放送アナウンサー
足達 郁也	山梨県農業協同中央会専務理事
小澤 龍一	(財)山梨文化学習協会生涯学習推進センター元所長
末木 健	山梨県考古学協会会長
丹沢 良二	(株)タンザワ会長（令和3年8月末日まで）
辻 茂	甲府市立甲府南中学校元校長
出澤 忠利	(株)印傳屋上原勇七総務部長
戸田 達昭	シナプテック（株）代表
長澤 宏昌	石和温泉活性化研究会副理事長
畑 大介	山梨郷土研究会事務局長（令和3年8月末日まで）
初鹿 紀子	身延町立下山小学校元教頭
八田 知子	ホテル八田代表
古屋 久昭	山梨県詩人の会会長、やまなし県民文化祭文学部門専門委員
渡辺 昭夫	富士河口湖旅館組合前組合長・現相談役（令和3年8月末日まで）
北原 対馬	山梨銘醸株式会社代表取締役（令和3年9月から）
工藤 麻子	忍野児童館（令和3年9月から）
中村 茂	有限会社大屋ホテル代表取締役社長（令和3年9月から）

ii みんなつくり検討状況

■令和3年度第1回みんなつくり協議会 第1回全体会議

日時：令和3年4月22日（木）

検討内容：第IV期評価（令和3年度～7年度）における利用者評価の具体的運用方法について

■令和3年度第2回みんなつくり協議会 第2回全体会議

日時：令和3年6月（書面開催）

検討内容：「通信簿」冊子の設問内容の承認について

■令和3年度第3回みんなつくり協議会 第3回全体会議

日時：令和4年1月（書面開催）

検討内容：山梨県立博物館開館11周年目から15周年目における自己評価案について

## 第10章 外部支援と連携

### (1) 外部支援

#### ■委員等の受託

担当職員	役 職	主 管	委嘱期間
森原 明廣 近藤 暁子 丸尾 依子 海老沼真治 中野 賢治 松田美沙子	山梨県富士山総合学術調査研究委員会調査員	山梨県富士山世界遺産センター	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日
近藤 暁子	韮崎市文化財審議会委員	韮崎市教育委員会	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日
近藤 暁子	富士河口湖町史編纂委員会委員	富士河口湖町教育委員会	令和2年11月27日～ 令和4年3月31日
近藤 暁子	甲州市文化財審議会委員	甲州市教育委員会	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日
丸尾 依子	甲府市文化財審議会委員	甲府市教育委員会	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日
丸尾 依子	南アルプス市文化財審議会委員	南アルプス市教育委員会	令和2年4月1日～ 令和5年3月31日
小畑 茂雄	南アルプス市ふるさと人物室 第9回展示運営アドバイザー	南アルプス市教育委員会 南アルプス市立図書館	令和2年11月5日～ 令和3年9月12日
中野 賢治	富士山世界遺産センター展示解説検討委員会委員	山梨県富士山世界遺産センター	令和2年6月1日～ 令和4年3月31日
中野 賢治	富士川町歴史文化施設資料館検討委員会委員	富士川町教育委員会	令和3年3月29日～ 令和4年3月31日

### (2) 外部との連携

平成24年度に有形無形の文化財資源の保存と活用に努めるという共通の目的を持ち、博物館の相互の交流と連携を図ることを実践の貫徹を目指すため、「全国歴史民俗系博物館協議会」が設立された。

今年度は、7月16日（金）～7月30日（金）に令和3年度総会が書面にて開催された。

### (3) 山梨近代人物館・世界遺産センターの展示等への協力

平成27年度に開館した山梨近代人物館及び平成28年度に開館した富士山世界遺産センターの展示等に当たっては、資料貸出や当館学芸員による展示作業、講座等で全面的に協力している。

#### ■山梨近代人物館での展示事業

- ・第13回展示「海外との懸け橋となった人々」

令和3年4月1日（木）から9月27日（月）まで開催予定のところ、新型コロナウイルス感染拡大防止（デルタ株による第5波）のため、8月8日（日）から22日（日）までを臨時休館とし、さらに休館期間を9月12日（日）まで延長した。関連事業も下記のとおり日程が変更・中止となった。

6月19日（土）講座（渋沢栄一・杉浦譲）を7月18日（日）延期

8月21日（土）講座（土屋龍憲）を10月3日（日）延期

9月5日（日）・12日（日）こうふまちゼミを18日（土）19日（日）に延期



・第14回展示「わたしたちのまちの先駆者たち—南アルプス・峡南地域—」

令和3年10月1日（金）から令和4年3月21日（月・祝）まで開催。開館自体は休館等を免れたものの、新型コロナウイルス感染拡大防止（オミクロン株による第6波）の影響で、下記のとおり関連事業の日程の変更・中止を余儀なくされた。

令和4年1月29日（土）講座（石橋湛山）を中止 → 翌年度9月10日（土）開催

2月10日（木）・17日（木）まちゼミを中止

2月19日（土）講座（近藤喜則）を中止



山梨近代人物館第14回展示は、初めて旧郡レベルの地域ごとに人物を紹介する展示として実施した。写真は、当館の基軸的な資料となっている功刀亀内収集の「甲州文庫」の木製表示（南アルプス市立図書館蔵）で、「甲州文庫」県移管70周年を意識した展示としている。

## 第11章 新型コロナウイルス感染症と博物館活動

令和2年(2020)の新型コロナウイルスのパンデミックは、博物館活動に大きな影響を与えており、令和3年度においても、第5波(デルタ株 令和3年8月ごろ)やオミクロン株の最初の拡大となった第6波(令和4年1月ごろ)においては、開館や事業の休止や延期・中止を余儀なくされた。

当館においては、第5波のなかで発出された新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項に基づく県知事からの「臨時特別協力要請」(令和3年8月6日付)の発出によって8月8日(日)から22日(日)まで臨時休館措置が取られ、のち「まん延防止等重点措置」(8月18日付)によって9月12日(日)まで延長された。これによって、前年度(令和2年度)から延期された企画展「特撮のDNA～ゴジラ、富士山にあらわる～」は会期の半ばで中止となり、その他イベント等も中止となった。

第6波においては、臨時休館などの措置を要する要請が発出されなかったこともあり、展覧会事業の中止はなかったものの、イベント等は自主的に中止・延期の措置をとった。

イベント等については、令和2年度同様にゴールデンウィーク・お盆・お正月の「祭り」などの大規模なものは開催が見送られた。館長トークや古文書講座といった座学については、定員を限った申込制とし、中止や延期はあったものの、状況と対策が許す範囲で対面での開催に努めた。

コロナ禍で博物館活動が萎縮するなかで、コロナ禍だからこそその活動として、パンデミック当初から開始された新型コロナウイルス感染症関係資料や「ヨゲンノトリ」関係資料の収集も継続された。また、近隣の県立笛吹高等学校の生徒の制作による「ポストコロナヨゲンスル」が、前年度末の令和3年3月24日(水)から5月10日(月)までエントランスロビーにて展示され、4月11日(日)には同校生徒によるアートトークも開催された。

この年の第5波と第6波においては、依然として毒性の強いデルタ株と新しいオミクロン株という脅威のなかではあったが、マスクや消毒用アルコールなどの物資の欠乏や、未知のウイルスに対する予防策の検討と普及の途上だった前年に比べて、対策を講じたうえでさまざまな活動が可能となった。取り分けコロナ禍という歴史的な事象のなかで、博物館という舞台が非常時の地域の活動や資料の収集の促進につながったことは、当館の歴史や非常時における博物館の活動の記録として銘記すべきことであろう。

新型コロナウイルス感染症をめぐる博物館の事業・運営上の課題として挙げられるのは、前年度にも指摘したように、ポスト・コロナの博物館活動のあり方であり、状況に即した休止からの再開などの「出口」戦略の検討でもある。令和3年度末の時点での「出口」に向けた課題としては、特に体験型展示という接触を伴う展示が多い当館においては、利用者の展示への接触による感染への対策のほか、今後の体験型展示の利用のあり方の再検討や、長期間の休止のため対応する職員の再研修なども求められている。その他、新型コロナウイルスの感染力の強化により、職員も感染や濃厚接触による自宅待機などのリスクが高まっており、適切な感染予防対策の継続と、クラスター等の発生に備えた事業継続可能な態勢の構築が喫緊の課題であるといえよう。

なお、当館は山梨県の新型コロナワクチン大規模接種の会場となり、令和3年12月17日(金)をはじめとして多くの接種希望者が来館し、当館で接種した方には無料で観覧する特典が進呈された。

## (1) 感染症対策日誌

令和3年度の新型コロナウイルス感染拡大防止に係る主な動きについて時系列的に掲載する。

令和3年8月7日（土）

山梨県からの臨時特別協力要請に基づき、8月8日（日）から8月22日（日）まで休館することを決定した。

令和3年8月18日（水）

令和3年8月20日（金）より山梨県がまん延防止等重点措置の対象区域に追加されることを受け、9月12日（日）まで休館を延長することを決定した。それに伴い企画展「特撮のDNA～ゴジラ、富士山にあらわれる～」も中止が決定した。

令和3年12月17日（金）～19日（日）

令和4年1月7日（金）～9日（日）

新型コロナウイルスワクチン接種会場が当館に設置された。接種に来館した人及びその同伴者については観覧料を無料とした。

## (2) 施設の整備と来館者対応

令和3年7月から9月にかけての第5波では、特に8月に感染が急拡大し、臨時特別協力要請が発出され、まん延防止等重点措置の対象区域に追加された。

このため、令和3年7月10日（土）から9月6日（月）に開催を予定していた企画展「特撮のDNA～ゴジラ、富士山にあらわる～」は会期中の8月8日（日）以降中止とした。ここでは、同企画展の開催期間中に行った感染症対策について紹介する。

まず、入館者数を制限するため、メインエントランスからの入館者は100名、サブエントランスからの入館者は20名を超えた時点で入館させないこととし、退館があればその人数分を入館させることとした。このため、障害者・車椅子利用者、招待状・案内がき保有者、貸室利用者、イベント参加者及び再入場者は、サブエントランスからの入館に限定し、それ以外をメインエントランスからの入館とした。

入館の導線を2つに分けたことにより、来館者の健康チェックを確実に実施することもできた。

前年度から引き続いて行った対策としては、来館者に対してホームページ上や出入口付近で感染症対策への協力を呼びかけるとともに、体調確認のためチェックシート記入への協力を求めた。また、チケット販売受付や改札など頻繁に対面対応が発生する場所には、飛沫防止用のアクリル板を設置した。受付や改札付近の足下へのライン表示、ロビーや展示室内の椅子やソファの撤去など密集・密接を回避するための措置を実施した。

その他、館内各所にアルコール消毒液、トイレにハンドソープを増設し接触感染の防止に努めるとともに、館内各所に注意喚起の掲示を行った。展示室においては密集を回避するため、展示室面積や空調設備の毎時総換気量を参考に、展示室ごとに定員を設けてた。

令和3年度は、上記のとおり、多くの来館者があると予想された夏の企画展を途中で中止したものの、春の企画展「生誕500年 武田信玄の生涯」が好調であったことや秋以降の企画展等は計画どおり開催したことにより、総観覧者数は約7万3千人と令和2年度の約3万4千人からは大きく回復した。令和2年度

は、春、夏の企画展が中止となっていた。しかし、令和元年度の約10万2千人に対しては約2万9千人の減少となった。

### (3) 情報発信と収蔵資料の活用・資料収集

前年度から継続して、新型コロナウイルス感染症関係資料の収集や「ヨゲンノトリ」関係資料の収集を実施した。

「ヨゲンノトリ」関係としては、本章の冒頭にも記したように、館の隣の県立笛吹高等学校による「ポストコロナヨゲンスル」と題した、「ヨゲンノトリ」(当館所蔵資料「暴瀉病流行日記」に掲載された安政のコレラ流行に際して現れたとする双頭の鳥)をモチーフとして同校の生徒がポストコロナの世界を予言したメッセージを込めた、高さ3m、幅4.5mのアートワークが、前年度末の令和3年3月24日(水)から5月10日(月)まで、当館のエントランスロビーに展示された。

令和2年(2020)2月から始めた新型コロナウイルス関係資料の収集は、新聞をはじめとした広報物や、行政などによる教育・啓発資料(県からのお知らせなど)、学校教育機関の通知類、マスクなどの関連器具、対策事業や施策に関する商品・紙資料・メディア類などを中心に、新聞報道を見た一般の方から寄せられたもの以外は、パンデミックによる社会の不安等に配慮して、館の職員の自主的な収集に限定してきたが、その収集資料数は約200点に達した。

限定的な収集活動を進めてきたが、非常時に関する資料の急速な散佚が危惧されることもあり、災害に関する企画展の開催に併せる形で、令和4年(2022)3月10日からは一般からの公募を受け付けることとした。

### (4) 展示・公開

#### ① 展示・公開

常設展示の観覧は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度より引き続き展示の一部(鑑賞学習型展示の接触型展示部分や体験型展示の一部は閉鎖)について感染予防対策を講じた上で実施した。

シンボル展は、昨年度中止となった「生誕200年 若尾逸平」を5月22日(土)から6月28日(月)まで開催し、令和4年1月22日(土)から2月21日(月)まで「曾我物語図屏風」を予定どおり開催した。

企画展は、7月10日(土)から9月8日(水)まで開催予定だった企画展「特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～」については、オープニングセレモニーならびに内覧会は感染拡大防止のため中止となったが予定どおり開幕した。しかし「山梨県による新型コロナウイルス感染防止への臨時特別協力要請」(令和3年8月6日付)を受け8月8日(日)から8月22日(日)まで休館となったことに伴い8月8日(日)



ポストコロナヨゲンスル展示の様子



新型コロナウイルス感染症関係資料募集ちらし



より休止、さらに「山梨県新型コロナウイルス感染拡大防止への協力要請」及び「まん延防止等重点措置」(令和3年8月18日付)を受け休館が9月12日(日)まで延長されたことに伴い中止となった。

なお、企画展「日蓮聖人と法華文化」(10月2日(土)～11月23日(火・祝))および企画展「伝えるー災害の記憶展 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料」(令和4年3月11日(金)～5月9日(月))は通常通り実施されたが、オープニングセレモニー及び内覧会は感染拡大防止のためいずれも中止となった。

## ②閲覧業務

資料閲覧室は令和2年10月1日(木)より予約制による開室を導入していたが、その予約制を令和3年4月1日(木)より廃止した。ただし感染症拡大防止の観点から、あらかじめ資料を事前に用意しておき、職員と利用者の対面時間や、利用者の滞在時間を減らせるよう、即日閲覧対象資料の閲覧については事前の予約を呼びかけていた。また12時～13時、16時～17時は消毒と換気のため閉室していた。なお席数を通常時の約半分に減らす、閲覧室利用時間を1時間に制限すること、キッズスペースにあった子ども向けの開架図書の撤収は継続していた。

## (5) 博学連携

### ①かいじあむティーチャーズクラブ

例年6月と2月に研究会を実施しているが、6月の研究会については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。2月の研究会については、書面による開催という形でコロナ禍における博物館を利用した活動について、小学校2校・中学校2校・高等学校1校より実践報告をいただいた。

### ②学校見学

感染症対策の徹底を行った上で、学校見学の受け入れを実施したが、人数制限や体験型展示の閉鎖に対応する形で実施した。オリエンテーションを簡略化した上で、児童・生徒を少人数のグループに分けて、展覧会(常設展・企画展)を見学する班、生涯学習室で映像資料を視聴する班、庭でワークショップを行う班など、館内で分散させ学校見学を実施した。

利用数については、92校であり、昨年度よりも増加した。なお、中学生はグループ毎に公共交通機関を利用して来館する生徒が例年多く見られたのに対し、今年度は大型バスを利用して来館する学校が目立った。また、修学旅行や宿泊学習の利用で、県外の学校利用も多かった。

### ③出前授業

「昔の道具」の出前授業については、接触感染を防ぐため、石臼・天秤棒などを持参する形での実施は中止とした。しかしながら、少しでも児童生徒たちに実体験をしてもらうため、「昔の道具と暮らし」と題し、昔の灯りを実際に体験してもらう形で実施をした。また、基本的に接触するものがない出前授業については、学芸員が各校に赴き、感染症対策を行った上で実施した。



「灯りの出前授業」実施風景

### ④貸出教材(ミュージアム・キット)

すべてのキットの貸し出しを再開したが、返却後、次の使用まで間隔を空けるなど感染拡大防止対策を行った。

## ⑤職場体験

1校2名の利用があり、職員と同様の感染症対策を行った上で実施した。

## ⑥「山梨の未来を描こう」

学校現場での授業時数の確保、学校行事の変更等を考慮し、募集の締め切りを夏休み終了1ヶ月後（9月22日（水））として応募を実施した。

## ⑦学芸員実習

学芸員実習は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を徹底するなかで実施した。

## ⑧その他

総合教育センターとの共催であった「博物館を活用した授業づくり研修会」は参加者が3名であったが、感染症対策を行った上で予定通り実施した。「初任者研修」については、博物館に来館せずに、教育センター大研修室にて講義形式で実施した。ことぶき勸学院の見学についてはすべてキャンセルとなったほか、教育協議会の視察も実施されなかった。なお、子ども学芸員事業については例年どおり実施した。

## (6) 県民参画（NPO・協力会）

## ①NPO「ゆかりの地ツアー」

秋の企画展「日蓮聖人と法華文化」関連イベントとして、「ゆかりの地ツアー」を笛吹市石和町地区で実施した際は、密を避けるため定員を20人と限定し、参加者を募集した（17名の参加）。健康チェックシートの使用や手指消毒など、感染対策を実施しながら関連するゆかりの地を歩いたあと、博物館の生涯学習室において学芸員によるギャラリートークを行った。

シンボル展「曾我物語図屏風」でも、南アルプス市野牛島地区を歩く「ゆかりの地ツアー」を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

## ②NPO「通信簿ツアー」

令和3年10月10日（日）～10月14日（木）の期間に、「通信簿ツアー」を実施した。例年のように、異なる時期に年2日実施するのではなく、秋の企画展開催中に一定期間実施日を設けて実施した。なお、接触感染のリスクを少なくするため、記入した通信簿はお帰りになる際に投函してもらう形とした。また、鉛筆についても、消毒したものを常に使用した。

## ③協力会

協力会の活動は、新型コロナウイルスが蔓延するなかで、従来通りの活動を十分に行うことができなかった。まず総会や運営委員会についてだが、十分なスペースを確保したうえで、生涯学習室で実施した（第2回運営委員会は書面開催）。日常の活動に関しては、ミュージアムショップの運営、お庭ガイド、畠での作業、刊行物の発送準備および発送作業については、十分に対策を取ったうえで通常通り実施した。かいじあむのお正月の実施は見送ったが、来館者サービスやおみくじなど、限定したメニューの準備補助を実施した。資料整理および子ども工房の作業補助については、感染拡大防止の観点から今年度の実施は見合わせた。学習会については、ボランティアについての学習会や展示替え説明会を、感染対策を行ったうえで実施したほか、展示替え説明会にもご参加いただいた。研修旅行については、バスでの移動は感染リ



スクがあることから現地集合とし、武田神社、信玄ミュージアム、甲府城跡を見学した。歴史ウォークについては定員を設けた上で感染拡大防止対策を行いながら実施した。

協力員の皆様からは、博物館における協力会の活動に参加したい気持ちがあるが、感染のリスクを考えると躊躇してしまうという意見を多く頂戴した。また、十分な活動の機会を設けることができないため、新規の協力員の募集を停止した。

## (7) イベント

### ①講演会・講座・シンポジウム

令和3年度の「館長トーク」・「古文書講座」・「古文書相談日」については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止や延期となったものもあったが、事前に往復ハガキで申し込みを受け付け、抽選にて参加者を決定する形で実施をした。また、関連資料については、当館ホームページからもそれぞれダウンロードできるようにした。記念講演会についても、事前申し込みの形で定員を設け、感染対策を取りながら実施した。

かいじあむ講座、ギャラリートークについては、当日整理券を配布したうえで定員30名とし、どちらも生涯学習室にて実施した。

### ②体験プログラム

お庭ガイドは、4月より先着定員10名で実施した。寺子屋ひろばは、展示交流員がお客様に接触せずに実施できる内容としたうえで、会場を常設展示室内の寺子屋ひろばからエントランスロビーに移し、先着定員6名で実施した。子ども工房は、事前電話予約制を取り、日に数回に分けての実施とし、回ごとに定員を設けて実施した。会場は定員と体験内容により、エントランスロビー、体験学習室と各所での実施とした。職員とお客様が直接接しないよう配慮した他、使用した道具類は、各回終了時にアルコール消毒を行った。

子どもの日（5月）・夏（8月）・秋（11月）・正月（1月）の「祭り」の実施は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から見合わせた。正月は来館者サービスや、感染対策を取ったうえで、おみくじや書き初めなども実施した。

### ③その他

展示交流員によるスルーガイドは先着定員10名で実施した。交流員はマスクを着用のうえ、十分に来館者と距離を取り感染拡大防止対策を行ったうえでの実施とした。



マスク、フェイスシールド等を着用の上実施したスルーガイド

## (8) その他

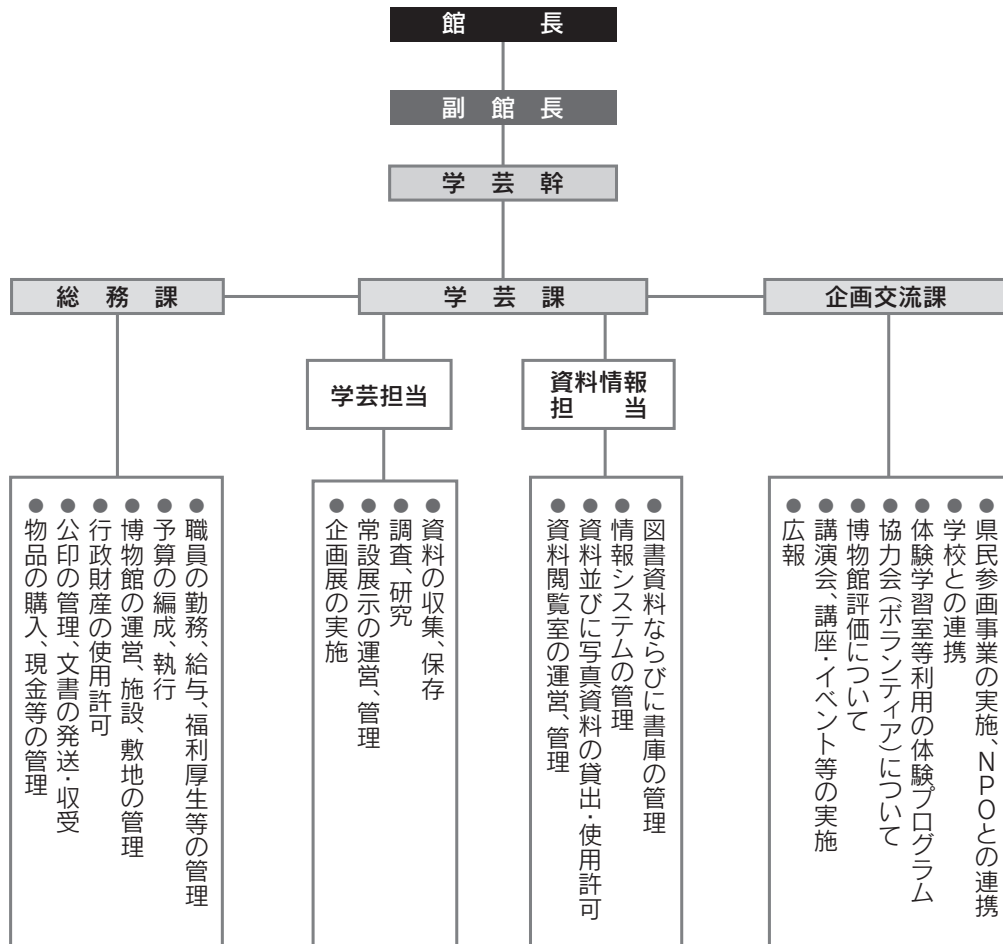
### ①ミュージアム甲斐・ネットワーク

ミュージアム甲斐・ネットワークで例年実施している「博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト」であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年アイメッセ山梨で実施していた合同プレゼンテーションは中止とした。なお、ミニブックの作成は行い、自宅にいてもミニブックが入手できるように、当館ホームページから作成館全館分のミニブックデータをダウンロードできるようにした（ダウンロード期間：令和3年7月22日（木・祝）～8月30日（月））。

# 第Ⅲ編 各種資料

## 1 組織・職員等名簿

### ■組織図



### ■関係委員会

#### ・運営委員会

- 博物館運営全般の専門的指導
- 企画展テーマ等に関する協議
- 共同調査、研究テーマ等に関する協議

#### ・資料・情報委員会

- 資料収集の適否の審議
- 資料・情報の収集方針の検討
- 資料・情報の活用計画検討

#### ・みんなで作る博物館協議会

- 利用者の立場からの博物館運営の検討
- 博物館評価制度の検討

■関係委員及び職員名簿

●山梨県立博物館運営委員会委員

第Ⅱ編第9章(2)参照

●山梨県立博物館資料・情報委員会委員

第Ⅱ編第3章(1)参照

●みんなでつくる博物館協議会

第Ⅱ編第9章(2)参照

●博物館職員 (R4.3.31現在)

館長	守屋 正彦
副館長	新井 達司
学芸幹事	森原 明廣
総務課	

課長	田邊 優子
副主査	横井 利幸
主事	深山 弘也
会計年度任用職員	齊籐 敏
会計年度任用職員	横小路恵李依
会計年度任用職員	小幡 理美
会計年度任用職員	古屋恵里佳
会計年度任用職員	松野 美波
会計年度任用職員	今福 一仁
会計年度任用職員	今宮 美香
会計年度任用職員	岩間しのぶ
会計年度任用職員	田口 美加
会計年度任用職員	長田 光香
会計年度任用職員	元谷 留美
会計年度任用職員	橋本 一騎
会計年度任用職員	樋口 昌弘
会計年度任用職員	宇佐美玲子
会計年度任用職員	丸茂 哲雄
会計年度任用職員	三枝 宏好
会計年度任用職員	河野 麻耶
会計年度任用職員	丸山 美香
会計年度任用職員	玉真香陽子
会計年度任用職員	米永 藍里

学芸課

課長(事務取扱) 森原 明廣 考古学

学芸担当

学芸員	近藤 暁子	美術
学芸員	小畑 茂雄	歴史
学芸員	海老沼真治	歴史
学芸員	中野 賢治	歴史
会計年度任用職員	井上智恵子	

資料情報担当

副主幹	込山たまき	
学芸員	西願 麻以	保存科学
会計年度任用職員	石原 宝	
会計年度任用職員	郷田 敦子	
会計年度任用職員	早川 美保	

企画交流課

課長	田口 明子	
主幹	乙黒 修	
副主幹	望月 大	
学芸員	丸尾 依子	民俗
学芸員	松田美沙子	美術
会計年度任用職員	村松 良子	

## 2 令和3年度当初予算額

単位：千円

事業名	予算額	事業内容
博物館事業費	64,759千円	企画展運営、調査・研究事業、運営委員会・みんつく運営経費
歴史資料等収集費	13,262千円	歴史資料等の収集・保存・管理・修復、図書資料の整備
博物館運営費	215,572千円	施設管理、常設展示機器管理、会計年度任用職員等人件費
合計	293,593千円	

※ 職員給与費を除く。

## 3 年間日誌

### ■主な出来事及び新聞記事から抄

- 令和3年4月14日（水） ヨゲンノトリ出現  
～笛吹高校が壁面アート 県立博物館エントランスロビー展示～  
(令和3年4月14日付「山梨日日新聞」)
- 令和3年4月15日（木） 「武田不動尊」間近に  
～信玄生涯展 後期展示が開幕  
(令和3年4月15日付「山梨日日新聞」)
- 令和3年4月24日（土） 信玄展 入館1万人突破  
～甲府の夫妻に記念品 県立図書館～  
(令和3年4月24日付「山梨日日新聞」)
- 令和3年4月28日（水） 「信玄公モデル」裏付け  
～恵林寺の不動明王坐像 県立博物館で特別展～  
(令和3年4月28日付「産経新聞」)
- 令和3年5月1日（土） 災害、疫病 先人に学ぶ  
～県立博物館「信玄堤」絵図など展示  
(令和3年5月1日付「読売新聞」)
- 令和3年5月2日（日） 県立博物館で武田家臣総選挙  
～菅助「推し武将」1位 城トップは高遠城～  
(令和3年5月2日付「山梨日日新聞」)
- 令和3年5月8日（土） 信玄展 入館1万5000人  
～県立博物館 甲府の夫妻に記念品～  
(令和3年5月8日付「山梨日日新聞」)
- 令和3年5月22日（土） 若尾逸平 等身大の姿  
～生誕200年 県立博物館でシンボル展～  
(令和3年5月22日付「山梨日日新聞」)
- 令和3年6月4日（金） 甲州財閥の中心の素顔  
～生誕200年 若尾逸平 28日まで 県立博物館～  
(令和3年6月4日付「山梨新報」)
- 令和3年6月22日（火） 「甲州財閥」若尾逸平の生涯 県立博物館企画展  
～行商出身 中央線延伸に寄与～  
(令和3年6月22日付「朝日新聞」)

- 令和3年7月23日(金) 世界を魅了した大怪獣 その裏側の情熱  
～特撮のDNA～ゴジラ、富士山にあらわる～  
(令和3年7月23日付「山梨新報」)
- 令和3年7月24日(土) ゴジラやモスラ 県立博物館に200点  
～特撮の世界 多角的に～  
(令和3年7月24日付「山梨日日新聞」)
- 令和3年8月2日(月) 県立博物館の企画展きっかけ  
～この夏、ゴジラで地域おこし～  
(令和3年8月2日付「産経新聞」)
- 令和3年8月9日(月) 美術館や博物館 臨時休館8日から  
～知らずに来館 相次ぐ～  
(令和3年8月9日付「山梨日日新聞」)
- 令和3年9月11日(土) 集客施設 通常営業へ  
～県内 13日から切り替え～  
(令和3年9月11日付「山梨日日新聞」)
- 令和3年9月24日(金) 下賜110年 写真や資料展示  
～恩賜林の歴史紹介～  
(令和3年9月24日付「山梨日日新聞」)
- 令和3年10月1日(金) 日蓮 法華文化の源流  
～県立博物館で生誕800年展～  
(令和3年11月2日付「山梨日日新聞」)
- 令和3年10月4日(月) 日蓮の配流 信仰を確立  
～笛吹で記念講演会～  
(令和3年10月4日付「山梨日日新聞」)
- 令和3年10月9日(土) 日蓮と法華文化  
～県立博物館企画展から～  
(令和3年10月9日付「山梨日日新聞」)
- 令和3年10月28日(木) 日蓮展を夜間鑑賞  
～来月5日、県立博物館～  
(令和3年10月28日付「山梨日日新聞」)
- 令和3年12月8日(水) 県立博物館で接種  
～17～19日 特典 観覧料無料に～  
(令和3年12月8日付「山梨日日新聞」)
- 令和4年1月1日(土) 神事彩る 広重の「幕絵」県立博物館  
～「招福! かいじあむのお正月」～  
(令和4年1月1日(土)付「山梨日日新聞」)
- 令和4年1月4日(火) 正月遊び 習ったよ  
～笛吹・県立博物館 家族連れ楽しむ～  
(令和4年1月4日(火)付「朝日新聞」)

- 令和4年1月24日（月） 曾我兄弟仇討ち 表情様々  
 ～県立博物館で屏風展～  
 （令和4年1月24日（月）付「読売新聞」）
- 令和4年2月4日（金） 屏風に見る曾我物語  
 ～県立博物館2組を比較、資料40点～  
 （令和4年2月4日（金）付「山梨日日新聞」）
- 令和4年2月11日（金） 富士巻狩と仇討ちを生き生きと描く  
 ～シンボル展「曾我物語図屏風」21日まで 県立博物館～  
 （令和4年2月11日（金）付「山梨新報」）
- 令和4年3月11日（金） 災害の記憶 どう伝えたのか  
 ～県立博物館 江戸期から戦前の資料165点～  
 （令和4年3月11日（金）付「山梨日日新聞」）
- 令和4年3月15日（火） 大災害歴史資料に学ぶ  
 ～県立博物館で企画展 震災の錦絵 噴火や疫病の文書～  
 （令和4年3月15日（火）付「朝日新聞」）



令和3年5月8日、「誕生500年 武田信玄の生涯」の入館15,000人目の観覧者となったお客様へ、守屋館長から記念品を贈呈。



---

---

令和3年度 山梨県立博物館年報

発行日 2023年3月31日  
編集・発行 山梨県立博物館  
〒406-0801  
山梨県笛吹市御坂町成田1501-1  
TEL 055 (261) 2631  
印刷 株式会社 少国民社

---

---